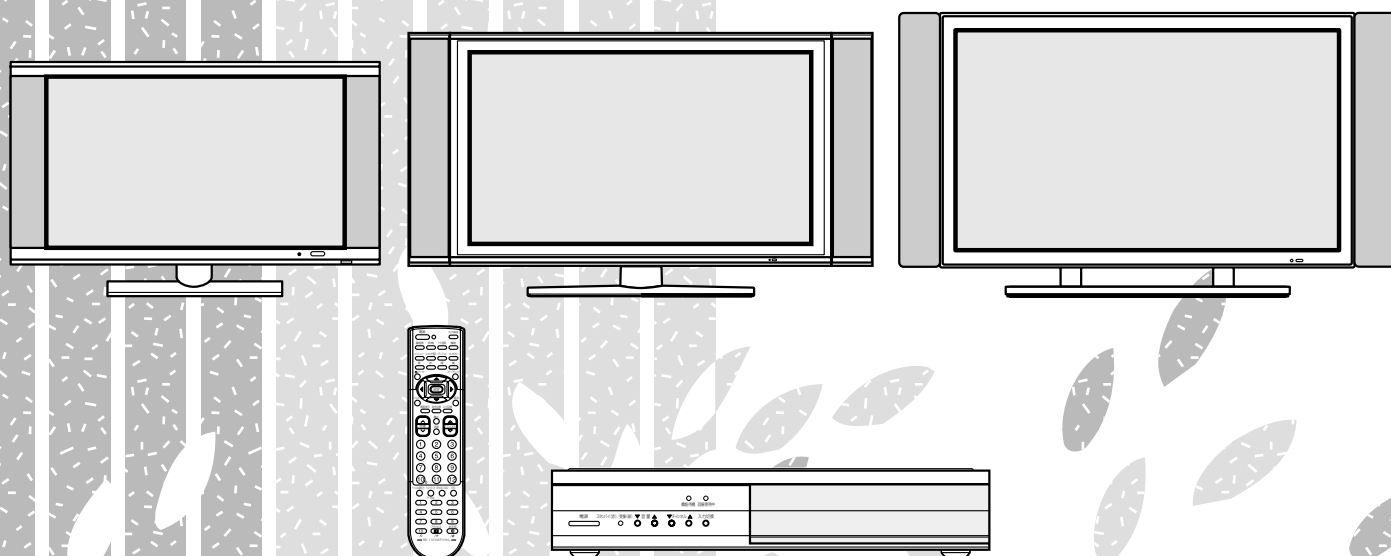
HITACHI

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビ

形名

W32-PDH2200
W37-PDH2200
W42-PDH2200

取扱説明書

このたびは日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビをお求めいただき、まことにありがとうございました。
この説明書は、3モデルの説明書となっています。それぞれの機種特有の取り扱いについてはW32-PDH2200、W37-PDH2200、W42-PDH2200と表記しています。仕様の相違については裏表紙をご覧ください。本文中のイラストは主として、W32-PDH2200で説明しています。

日立BS・110度CSデジタルハイビジョンプラズマテレビは下記の構成になっています。

W32-PDH2200：プラズマテレビモニター（W32-PDH2200（M））、プラズマテレビチューナー（W32-PDH2200（A））の2つで構成しております。
W37-PDH2200：プラズマテレビモニター（W37-PDH2200（M））、プラズマテレビチューナー（W37-PDH2200（A））とプラズマテレビスピーカーシステム（W37-PDH2200（SP））の3つで構成しております。
W42-PDH2200：プラズマテレビモニター（W42-PDH2200（M））、プラズマテレビチューナー（W42-PDH2200（A））とプラズマテレビスピーカーシステム（W42-PDH2200（SP））の3つで構成しております。

ご購入の際は、それぞれが別々の梱包となっております。ご確認願います。

最初に 「使用上のご注意」をお読みください。本体の取扱いは、この「取扱説明書」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。

豊かで深みのある低音が楽しめる新技術

TruBass by SRS ※

※ TruBass by SRS はSRS Labs, Inc.の商標です。

高精細ハイビジョン表示及び現行放送を高密度処理でハイビジョンと同じ走査線数に変換

1024プログレッシブ処理 ＆1024インターレース走査

BS・110度CSデジタル放送の立体音場を再現できる

TruSurround DIGITAL 5.1CH by SRS ※

※ TruSurround DIGITAL 5.1CH by SRS はSRS Labs, Inc.の商標です。

BSデジタル放送と、110度CSデジタル放送の鮮やかな高画質映像と多機能サービスが楽しめる

BS・110度CS デジタルハイビジョン チューナー内蔵

チューナー部とモニター部を分離
壁掛け設置も可能

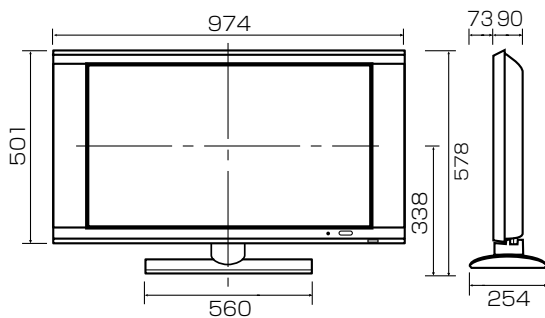
薄形軽量設置フリー

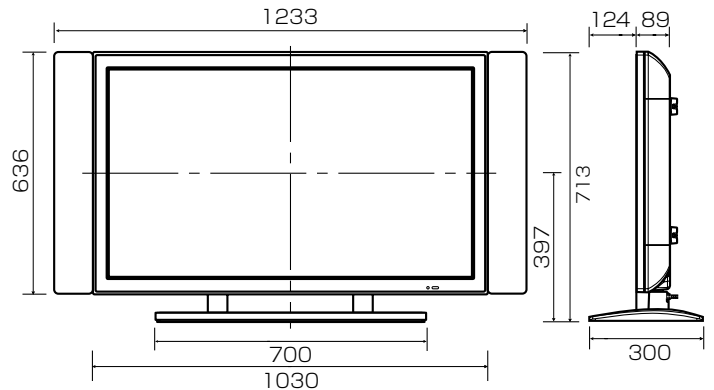
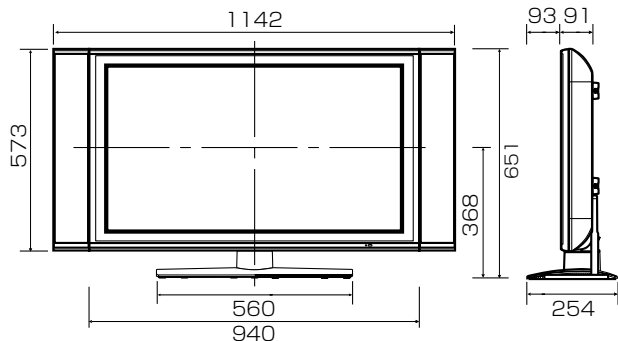
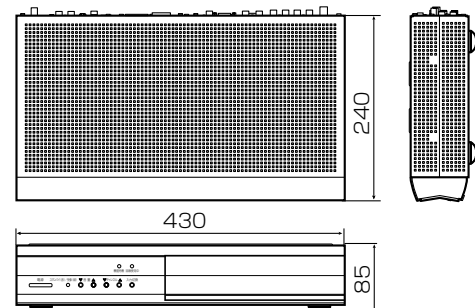
いつも見やすい位置から映像を楽しめる

スイーベル機構採用

(W32-PDH2200, W37-PDH2200)

モニター寸法図

W32-PDH2200

W42-PDH2200（スピーカーシステムをモニターに取り付けたとき）

1233
124 89
636
713
397
700
1030
300

W37-PDH2200（スピーカーシステムをモニターに取り付けたとき）

チューナー寸法図

商標について

●i.LINKとi.LINKロゴ "i" は、ソニー株式会社の商標です。
●D-VHSは、日本ビクター株式会社の登録商標です。

この説明書は、ほとんどが1ページまたは2ページの見開きで見るようになっています。
（※違うパターンもありますが、基本的には同じ説明方法です。）

操作上、守っていただきたいことを記載

⚠注意

安全上、守っていただきたいことを記載

お知らせ

操作上、知っておいていただきたいことを記載

タイトル

本体部

カーソルボタン

手順の説明

参照ページの記号

リモコン

カーソルボタンの記号

上下左右いずれかの操作

上下方向の操作

左右方向の操作

メ　モ

知っていると便利な操作・解説

イラストからの引出番号は操作する順番です

はじめに

基本の使いかた

映像・音声の設定

多機能の使いかた

BS・CSデジタル放送の楽しみかた

設　置

ご　参　考

ご使用のまえにこの「使用上のご注意」をよく
お読みのうえ、正しくお使いください。

絵表示について　製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

絵表示の意味

 気をつけなければならない。「注意」を示します。

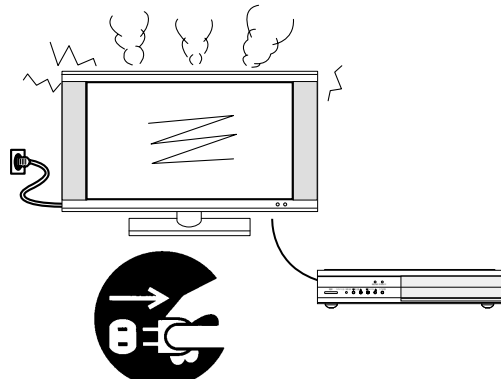
 感電に気をつけなければならない。「感電注意」を示します。

 してはいけない。「禁止」を示します。

 必ず行う。「強制」を示します。

安全上のご注意

⚠警告

■異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

異常、故障状態とは
- **煙が出ている、へんな臭いや音がする**
- **画が乱れる・映らない、音がでない**
- **本機の内部に異物(水、金属など)が入った**

など

異常、故障状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。

すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

●イラストはイメージであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

設置をするとき

⚠警告

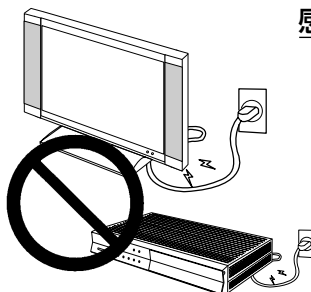
■ 不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

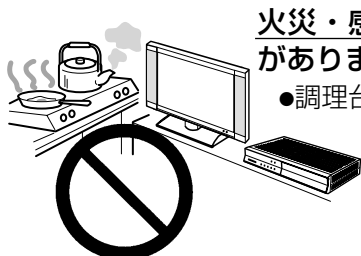
■ 持ち運ぶときは衝撃を与えない、本機を落とさない

破損したまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。

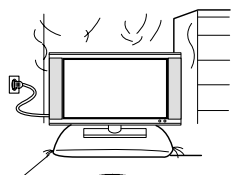
- プラズマディスプレイパネルはガラスでできていますので、万一割れたりするとケガの原因となります。

■ 電源コードを本機の下敷にしない

コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

⚠注意

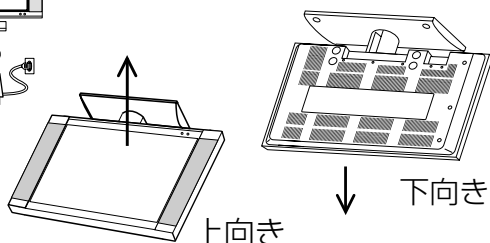
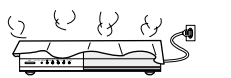
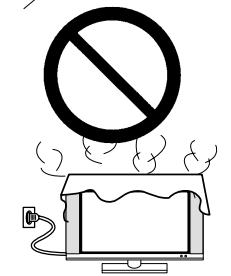
■ 湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たる場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど。

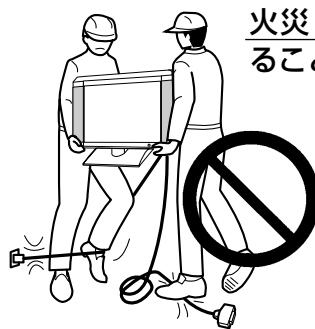
■ 通風孔をふさがない

火災の原因となることがあります。

通風孔を壁から10cm以上離して据えつけてください。（モニターを壁掛け設置する場合は除く）

特につぎのような使い方はしないでください。

- 本機をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- 風通しの悪い狭い所に置く。
- じゅうたんや布団の上に置く。
- テーブルクロスなどを掛ける。

■ 電源プラグをすぐに抜くことができるように本機を据え付ける

本機が異常や故障となったとき、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグ、アンテナ線などの外部の接続線や転倒防止の処置をしたまま移動させない

火災・感電・けがの原因となることがあります。

■ キャスター（車）止めをする

テレビ台にキャスター（車）がついている場合は、キャスター止めをする。

テレビが動いたり、倒れたりするとけがの原因となることがあります。

設置をするとき（つづき）

⚠注意

■転倒防止の処置を行う

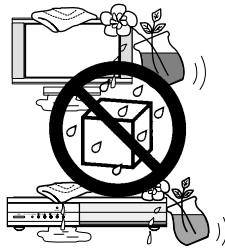
モニターが倒れると、けがの原因となることがあります。

■アンテナ工事には技術と経験が必要ですので販売店にご相談ください

- 送配電線から離れた場所に設置する。アンテナが倒れた場合、感電の原因となることがあります。
- 特にBS、CS放送受信用アンテナは強風の影響を受けやすいので堅固に取りつける。

使用するとき

⚠警告

■本機の上に花びんなどを置かない

水ぬれ禁止

本機の内部に水などが入ると火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

- 花びん、水槽、植木鉢、コップ、化粧品、薬品などを置かない。
- ペットが乗らない様、ご注意ください。

■本機に水をこぼしたり、ぬらしたりしない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

- 雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

■風呂場やシャワー室で使用しない

風呂場やシャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

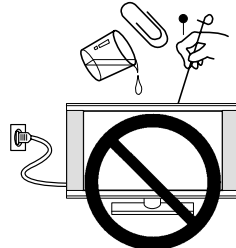
■指定の電源電圧で使用する

本体に表示された電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。

■雷が鳴り出したら、アンテナ線や本機には触れない

接触禁止

感電の原因となります。

■異物を入れない

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりすると、火災・感電の原因となります。

万一、入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

特にお子様にはご注意ください。

■裏ぶたやカバーをはずさない、本機を改造しない

分解禁止

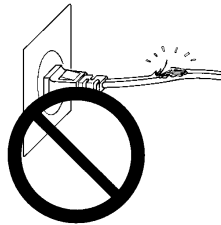
内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■電源プラグの刃や周辺に付着した埃や金属類を取り除く

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

お手入れは、電源プラグを抜いてから乾いた布で行ってください。

■電源コードを傷つけない

火災・感電の原因となります。

傷ついたら、電源プラグを抜いて販売店に交換をご依頼ください。

- 傷つける、破損させる、加工する、無理に曲げる、重いものをのせる、加熱する、引っ張るなどをしない。

⚠警告

■衝撃を与えない

万一、本機を落したり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

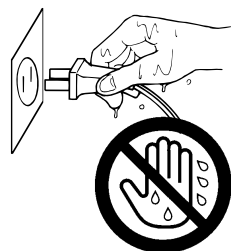
⚠注意

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと発熱し火災の原因となることがあります。
また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

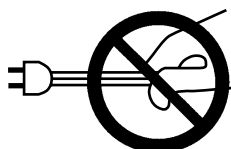
■電源プラグは、ゆるみのあるコンセントに差し込まない

発熱して火災の原因となることがあります。
ゆるみのある場合は、販売店に交換をご依頼ください。

■ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない

電源コードを引っ張ると電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

■本機に乗ったり、ぶら下がったりしない

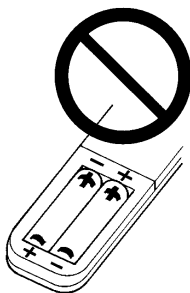
倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■本機の上に重いものを置かない

倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

■間違った電池の使い方をしない

電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
特に、次の使い方はしない。

- 本機で指定されていない電池の使用
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用
- 本機の極性表示（プラスとマイナスの向き）とは逆向きに電池を使用

■長期間ご使用にならないときは必ず電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

お手入れするとき

⚠注意

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜くこと

■ 年に一度は内部の掃除を販売店にご相談ください

本機の内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。内部の掃除費用については販売店にご相談ください。

お守りください

■ 高温になるところに置かないでください

キャビネットや部品に悪い影響を与えますのでご注意ください。

- 直射日光や熱器具の近くなど。

■ お部屋は適度の明るさで

暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。

■ 長時間連続して画面を見ていると目が疲れます

時々、画面から離れて目を休めてください。

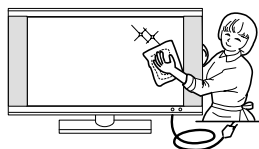
■ 適度な音量で

特に夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを利用したりして、隣り近所に対し十分の配慮をして、生活環境を守りましょう。

■ 本機および本機の破片、付属品を廃棄するときは

本機および本機の破片、付属品などを廃棄する際は、必ず、販売店にご相談ください。

■ パネルのお手入れについて

本機のパネル表面は，柔らかい布（綿・ネル等）で軽く乾拭きしてください。
硬い布で拭いたり，強く擦ったりしますと、パネルの表面が傷付きますのでご注意ください。
指紋など油脂類の汚れがひどい場合は，水で薄めた中性洗剤に布をひたし絞ってふき取ってから、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

■ キャビネットのお手入れについて

- キャビネットの表面をベンジン、シンナーなどでふいたり、殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。
  変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには、水で薄めた中性洗剤に布をひたしよく絞ってからふき取り、乾いた布で仕上げてください。
  特に、次の洗剤などは塗装を傷めますので使用しないでください。
  ・アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、みがき粉、粉石鹸、カーワックス類など

■ 搬送についてのご注意

- 引越しや修理などで本機を運搬する場合は、本機用の梱包箱とクッション材をご使用ください。

お知らせ

■電話回線の接続が必要です

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS)の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

■本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（1032MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

■本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、チューナーの電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（モニター主電源オフ／スタンバイ／機能待機）状態でも、自動的にBSデジタル放送および110度CSデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

■天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。
降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

■視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

■操作できなくなった場合は

受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、チューナー本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。

本製品には、ACCESS 社製BS・110度デジタル放送向けブラウザ NetFront for DTV を搭載しています。
Net Front は株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

お知らせ（つづき）

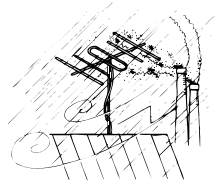
■面欠点について
プラズマパネルは、精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部に欠点（光らない点）や輝点（余計に光る点）が存在する場合があります。これは故障ではありません。

■残像について
静止画（画面表示、放送局側から送られる時刻表示など）を短時間（約1分程度）表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。故障ではありません。

■パネル表面について
プラズマパネルは、パネルの内部で放電を起こすことにより映像を表示しています。そのため、パネルの表面温度が高くなる場合があります。
また、プラズマパネルは、微細加工したガラスです。パネルの前面には強化ガラス製のフィルターを取り付けていますが、ガラスが破損する恐れがありますので強い衝撃は与えないでください。

■輸送時について
本体を横倒しにして輸送した場合、パネルガラスが破損する、または面欠点が増加する可能性がありますので、横倒しでの輸送はしないでください。

■ご覧になる位置は
画面のたての長さの3～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れにくくなります。

■アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。
特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

■ファンモーターについて
本機は、電源を入れるとチューナー部の温度を下げるためにファンモーターの動作音がするときがありますが、故障ではありません。

■焼き付きについて
静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、パソコンやゲーム機などの固定映像を長時間又は繰り返し表示したり、画面のワイドモードをノーマルモードで長時間ご覧になると、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
画面の焼き付きを避けるため、スクリーンセーバーの使用や、ワイドモードはノーマル以外のモードで使用することをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

留意点

■付属のB-CAS（ビーキャス）カードは、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

■万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。

■あなたがビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

■本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。

■本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。

■国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。

■この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。

■本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送は、それぞれ東経110度に位置する放送衛星および通信衛星を利用したデジタル放送です。本機では、110度CS対応BSデジタルアンテナを使用することで、両方の放送を受信することができます。これらのデジタル放送では、次のような特長があります。

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線1125本（有効1080本）飛び越し走査の1125i（1080i）と走査線750本（有効720本）順次走査の750p（720p）放送の2種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送と比較して多チャンネル放送がおこなえます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化のほかに、独立データ放送やデジタルラジオ放送もおこなわれます。

データ放送

文字や静止画によって必要な情報を選んで画面に表示させることができる新しい放送です。テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類のデータ放送があります。データ放送では、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります。

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術MPEG-2 AAC 方式の採用により、最大5.1チャンネルのサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声をお楽しみいただけます。ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくにはAAC方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。
[5.1チャンネル：5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル]

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、それぞれの放送に対する約1週間分の番組情報が送られてきます。本機では、この電子番組ガイドを利用し、画面上にそれぞれのデジタル放送の番組表を表示させ、番組表から番組を選んで詳細情報を表示させたり、視聴や録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

BSデジタル放送について

BSデジタル放送は、東経110度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心であり、無料放送が多いのも特長です。（一部有料放送もあります）
基本的に放送事業者ごとの放送となるため、視聴契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110度CSデジタル放送について

110度CSデジタル放送は、東経110度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BSデジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心であり、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です。（一部無料放送もあります）
110度CSデジタル放送では、視聴契約や登録などは個別の放送事業者ではなく、これらの放送事業者が属する放送プラットフォームへ申し込むこととなります。110度CSデジタル放送では、「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2」の2つのプラットフォームがあります（2002年3月現在）。これらプラットフォームごとに、ネットワークと呼ばれる放送チャンネル群を構成しております。本機では、「BSデジタル放送」「プラットワン」「スカイパーフェクTV!2」の切り換えは、リモコンのBS／CS1／CS2ボタンでおこないます。

プラットフォームとは

BSデジタル放送や110度CSデジタル放送では、従来のテレビ放送とは異なり、放送番組を制作・編集する委託放送事業者と、衛星を所有して放送波を送信する受託放送事業者が分離されています。さらに110度CSデジタル放送では、多チャンネル放送サービスを運営するために、多数の委託放送事業者による個々の番組（チャンネル）を統合する機能が必要なことやEPGなどの番組情報提供を含めた放送電波の送出および顧客管理やサービス普及のための広告宣伝のために、これらの業務を委託放送事業者と受託放送事業者の間で受け持つプラットフォーム事業者があります。
110度CSデジタル放送では、「プラットワン」と「スカイパーフェクTV!2」の2つのプラットフォーム事業者があり、それぞれのプラットフォームに属する委託放送事業者の顧客管理は各プラットフォームにておこなわれます（2002年3月現在）。個々のチャンネル視聴契約についてもそれぞれのプラットフォームのカスタマーセンターに申し込むことになります。

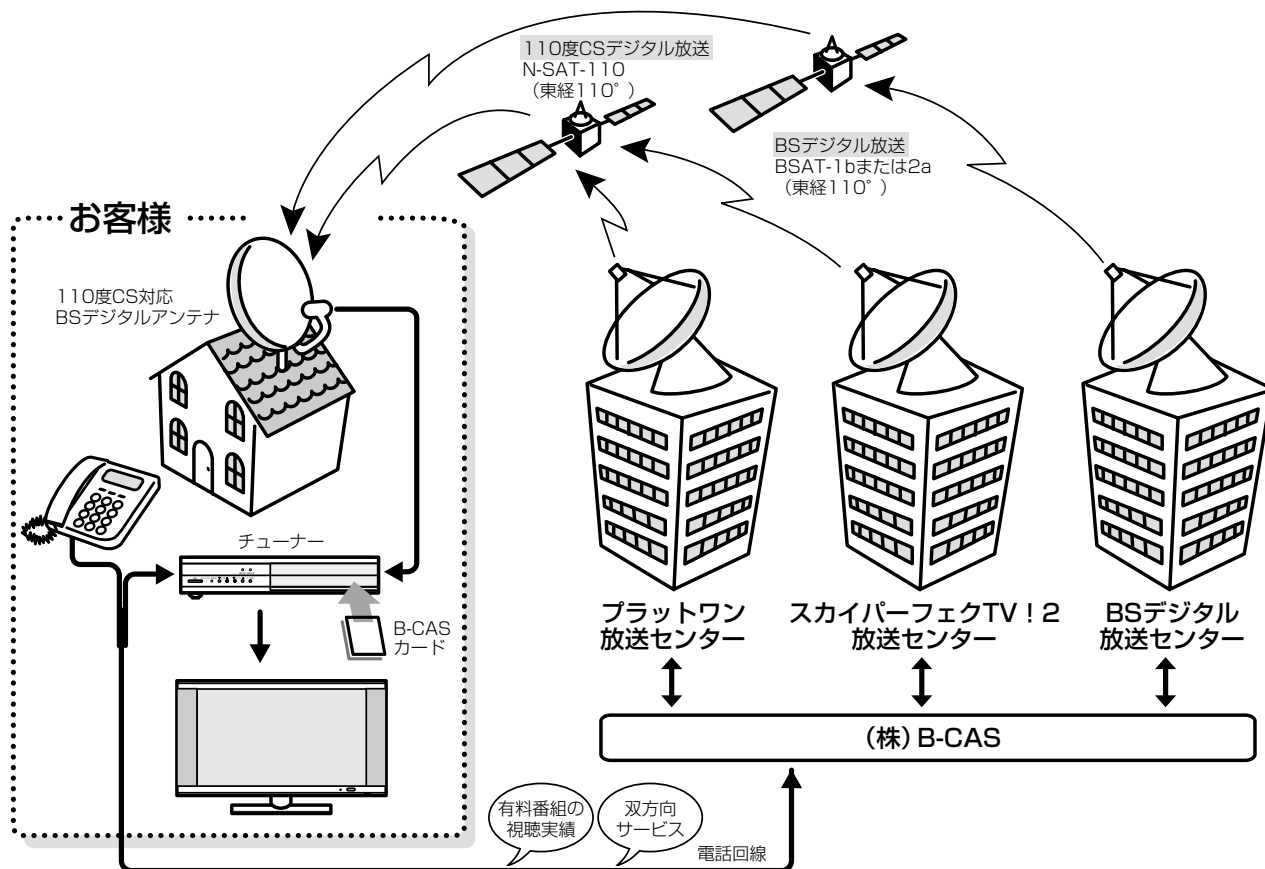
お知らせ

110度CSデジタル放送は、従来のCSデジタル放送　スカイパーフェクTV!（東経128度、124度のJSAT-3、JSAT-4を利用）とは異なる放送です。従来のスカイパーフェクTV!放送を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

B-CASカードによる限定受信システム（CAS）のしくみ

BSデジタル放送および110度CSデジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属のB-CASカードを挿入しておくと、有料番組の契約・購入状況や双方向サービスの情報がB-CASカードに記憶されます。その情報は電話回線を使って（株）B-CASへ自動送信され、管理されます。

限定受信システム（CAS：Conditional Access Systems）とは

限定受信システム（CAS）とは、有料放送の契約をした視聴者だけにスクランブル（放送内容をわからなくする技術）を解除して視聴できるようにする技術システムのことです。BSデジタル放送および110度CSデジタル放送ではスクランブルの解除以外に、データ放送の双方向サービスや放送局からのメッセージ送付にも利用しているので、有料放送を契約していない視聴者もB-CASカードの登録が必要です。

B-CASカードの登録

本機に付属のB-CASカードの台紙の一部がユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してポストに投かんし、B-CASカードを必ず登録してください。
（登録料は無料です）

お知らせ

一部の台紙で「BSデジタル放送用ICカード」と印刷され、また、B-CASカードの裏面に「このカードはBSデジタル放送用です」と印刷されている場合がありますが、このような場合でもB-CASカードは、BSデジタル放送および110度CSデジタル放送いずれにもご使用になれます。

BSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●WOWOW、スター・チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。
●有料放送を視聴するには、お客様の視聴したい番組を放送している放送局へ加入申し込みをして契約する必要があります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、ポストに投かんしてください。
●詳しくは、それぞれの有料放送を行う放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

2002年3月現在のBSデジタル放送局（ＮＨＫと有料放送局）の電話番号、ホームページアドレスおよびチャンネル番号は、次のようになっております。

BS放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス	BS放送局	お問い合わせ電話番号／ ホームページアドレス
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120−151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00〜20:00（年中無休） 03−3465−1111（代表） 受付時間　9:00〜23:00（平日） 9:00〜22:00（土日） http://www.nhk.or.jp	WOWOW （191、192、193ch）	0570−008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045−683−8080） 受付時間　9:00〜20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp
NHK衛星放送受信契約をされていない方は、NHKと衛星放送受信契約が必要です。		WOWOWはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。	
スター・チャンネルBS （200ch）	0570−010−110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、 045−339−1555） 受付時間　10:00〜20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star	セント・ギガ （333ch）	0120−336−765 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　10:00〜21:00（年中無休） http://www.stgiga.co.jp
スター・チャンネルBSはテレビ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。		セント・ギガはラジオ放送のみの視聴申し込みが必要な放送です。独立データ放送（633、636ch）は無料放送です。	

お知らせ

●NHKでは、BSデジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでにNHKと衛星放送受信契約されていても、本機に同梱されている「B-CASカードユーザー登録はがき」をお送りいただけない場合、または、はがきを送っても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CASカードを挿入して30日経過後、NHK−BSデジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへのご連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示されるNHKのフリーダイヤルにお電話いただき、B-CASカード番号、住所、お名前、電話番号などをお伝えいただければ、表示されなくなります。
●一部のデータ放送など、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送の有料放送視聴の手続きについて

●110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するためには、BSデジタル放送と異なり、個別のチャンネルの放送事業者毎ではなく、「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2」の2つのプラットフォームが、それぞれに属する放送チャンネル受信契約の代行を行うこととなります。
●「プラットワン」「スカイパーフェクTV！2」の対象チャンネルは、「プラットワン」が000～099chと700～999ch、「スカイパーフェクTV！2」が100～699chとなります。（すべてのチャンネルで放送しているわけではありません。）
●110度CSデジタル放送では、チャンネル毎の受信契約のほかに、個別に契約申込されるよりも視聴料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
●詳しくは、視聴したい有料放送チャンネルの該当するプラットフォームのカスタマーセンターへお問い合わせください。
●お問い合わせの際は、電話番号はお間違えのないようにお願いいたします。

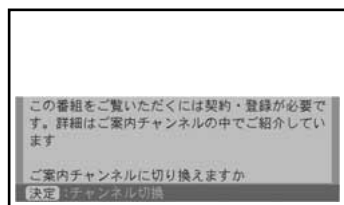
2002年3月現在の110度CSデジタル放送プラットフォームのカスタマーセンター電話番号とホームページアドレスは次のようになっております。

110度CSデジタル放送プラットフォーム	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス	運用開始予定日
プラットワン・カスタマーセンター	0570－001－012（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－227－6971） 受付　10:00～20:00（年中無休） http://www.plat-one.com	2002年3月1日
スカイパーフェクTV！2・カスタマーセンター	0570－088－222（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの方は、045－339－0002） 受付　10:00～20:00（年中無休） http://www.skyperfectv.co.jp	2002年4月1日

新しいサービスについて

110度CSデジタル放送の開始にともない新しいサービスが予定されています。サービス開始時期や内容に関しては放送事業者へご確認ください。

【ご案内チャンネル切り換え機能】

事前に申し込みが必要な契約チャンネルを選局したとき、お客様が契約されていない場合、ご案内チャンネルを簡単に選局するための機能です。画面表示にしたがって決定ボタンを押すと「ご案内チャンネル」が選局されます。
例）

【ブックマークサービス】

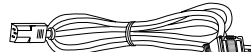
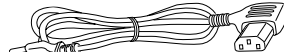
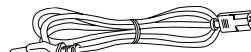
ブックマークサービスは放送局がデータ放送の機能を使って行うサービスで、お客様が関心を持った内容の関連情報を簡単に呼び出すことができる機能です。
　ブックマークサービスは次のような手順で利用することができます。
　番組を視聴しているときに、画面にブックマークを表すアイコンなどが表示されたら、リモコンの決定ボタン（サービスによって異なる場合があります。）などでブックマークを登録することができます。
　登録したブックマークから関連情報を呼び出すときは、ブックマーク表示（リスト）サービスを行っているチャンネルを選局します。登録したブックマークが表示されるので、ご覧になりたい項目を選択して選局することができます。（項目によっては選局できないこともあります。）

付属品をご確認ください。
万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。

■取扱説明書（本書）および保証書は、よくお読みになって内容をご理解の上、いつでも確認できるところへ大切に保管してください。

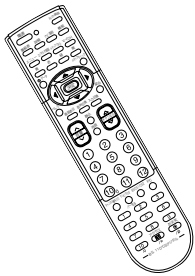
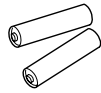
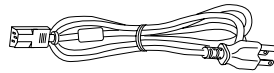
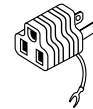
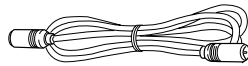
モニターの付属品

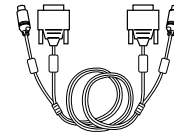
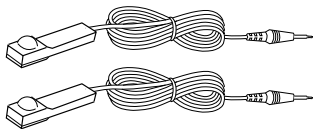
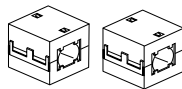
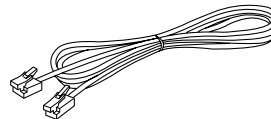
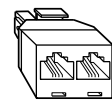
保証書 ……………………1冊

フェライトコア②（2個）117（W37-PDH2200）119（W42-PDH2200）

電源コード（黒色）19（W32-PDH2200）

電源コード（黒色）117（W37-PDH2200）

電源コード（黒色）119（W42-PDH2200）

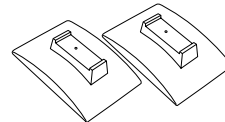
電源プラグアダプター 19

チューナーの付属品

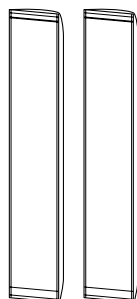
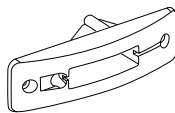
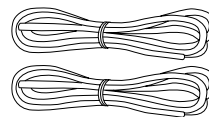
取扱説明書（本書）………1冊

リモコン送信機 20

単3形乾電池 26

電源コード（灰色）19

電源プラグアダプター 19

RFケーブル 120

中継接栓 120

専用接続ケーブル 19 117 119

ビデオコントローラー（1個）126
メディアコントローラー（1個）130

フェライトコア①（2個）121

モジュラーケーブル 125

モジュラー分配器 125（2分配用）

メ モ
付属品のビデオコントローラーとメディアコントローラーは同じものです。

B-CAS（ビーキャス）カード 124
（BS・110度CSデジタル放送用ICカード）

縦置き用スタンド 19（2個）

スタンド用取付けネジ 19（2本）

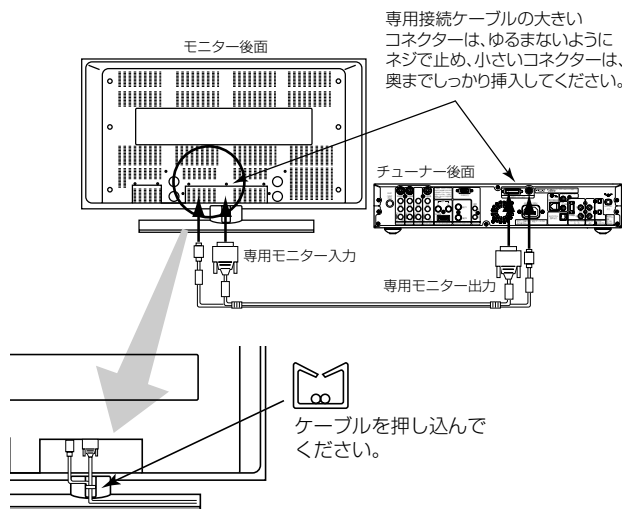
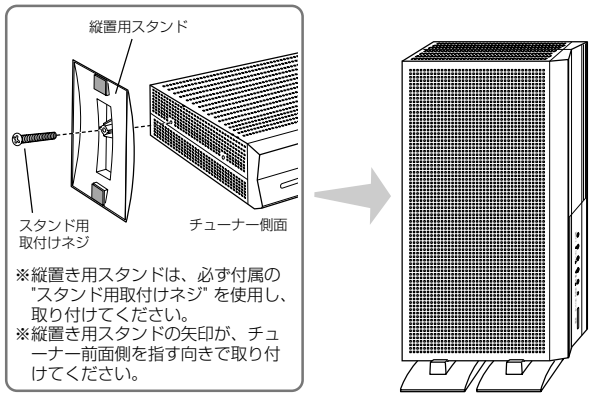
スピーカーシステムの付属品
（W37-PDH2200）
（W42-PDH2200）

スピーカー 116（L）（R）118

スピーカーホルダー 116（4個）118

スピーカー接続ケーブル 116（2本）118

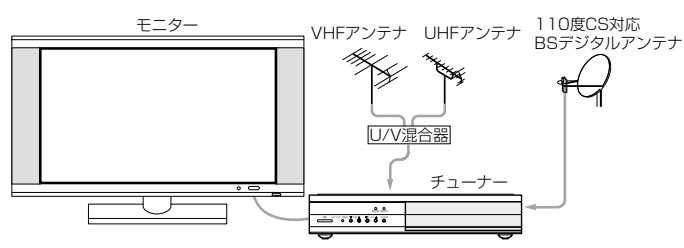
取付けネジ 116（8本）118

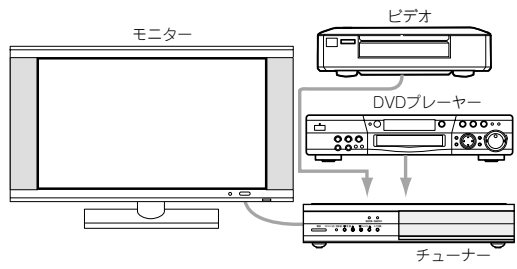
1 モニターとチューナーの接続（W37-PDH2200、W42-PDH2200は 116 118 をご覧ください。）

モニターとチューナーの接続は必ず付属の専用接続ケーブルを使って下図の要領で接続してください。このとき、モニター、チューナーとも必ず電源プラグを抜いた状態で接続（とりはずし）を行なってください。
（専用接続ケーブルをとりはずす時は、コネクターのネジをゆるめて、固定を解除してから引き抜いてください）

チューナーを縦置き設置する場合

※縦置き用スタンドは、必ず付属の"スタンド用取付けネジ" を使用し、取り付けてください。
※縦置き用スタンドの矢印が、チューナー前面側を指す向きで取り付けてください。

2 アンテナ線をつなぐ 120 ～ 123

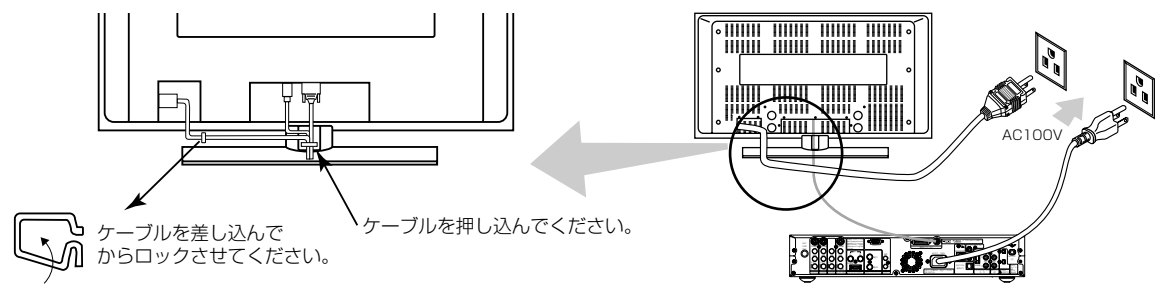
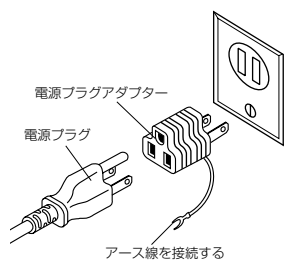
> ⚠ 注意
>
> アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

3 お手持ちの機器をつなぐ 127 ～ 129，171 ～ 179

後面部の豊富な端子群をフルにご活用ください。

4 リモコンに乾電池を入れる 26

付属の単3形乾電池をリモコンに入れます。

5 ① 電源コードのコネクター側をモニターとチューナーの後面にある電源コードコネクターに差し込む
② 電源プラグをコンセントに差し込む

●2つ穴タイプコンセントを使用の場合は付属の電源プラグアダプターをご使用ください。電源プラグアダプターをご使用の場合は、電波妨害防止のため、必ずアース線を接続してください。アース線の接続は、必ず電源プラグを電源に接続する前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は必ず電源プラグを電源からとりはずしてから行ってください。

電源プラグアダプター
電源プラグ
アース線を接続する

> ⚠ 警告
>
> 指定の電源電圧でご使用ください。表示された電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

> ⚠ 注意
>
> 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部のなまえ

リモコン

📖内の数字は、参照ページです。

リモコン操作表示ランプ
（ボタンを押すと点滅します。電池が消耗すると暗くなります。）

- 電源ボタン 27
- 詳細ボタン 82
- 番組表ボタン 78
- 2/マルチ画面ボタン 52
- メニューボタン 32
- 青ボタン 107
- 赤ボタン 107
- ⓓデータボタン 107
- カーソルボタン 30 , 32
- 決定ボタン 32
- べんりボタン 30
- 画面表示ボタン 41 , 81
- 音量アップダウンボタン 27 , 29
- 静止ボタン 60
- チャンネルボタン 27
- チャンネル番号入力ボタン 29
- テレビ/ラジオ/データ放送ボタン 29
- BS・CSチャンネルボタン 28

- 元の画面ボタン
- 85 ナビ選局ボタン
- 75 機能ボタン
- 58 メディアパネルボタン
- 83 マイCHボタン
- 107 緑ボタン
- 107 黄ボタン
- 57 メディアチェックボタン
- 30 , 32 戻るボタン
- 42 音声切換ボタン
- 33 入力切換ボタン
- 27 , 29 チャンネルアップダウンボタン
- 40 消音ボタン
- 29 BS/CS1/CS2ボタン
- 179 PCボタン

メ モ

PC入力時のリモコンボタンについて
静止ボタン、メディアチェックボタン、メディアパネルボタン、音声切換ボタンはPC入力時はご使用になれません。

元の画面ボタンについて
2画面やメニュー表示などの状態から、1画面に戻すのに使用できます。

W32-PDH2200モニター

前面

後面

サブウーハー出力

専用モニター入力

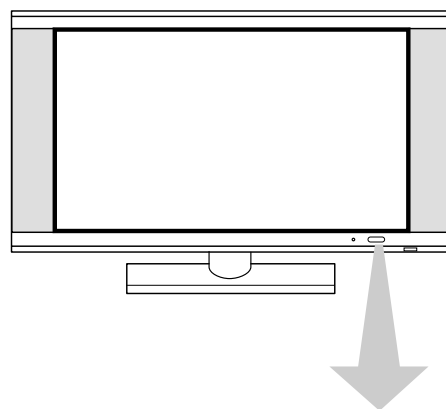
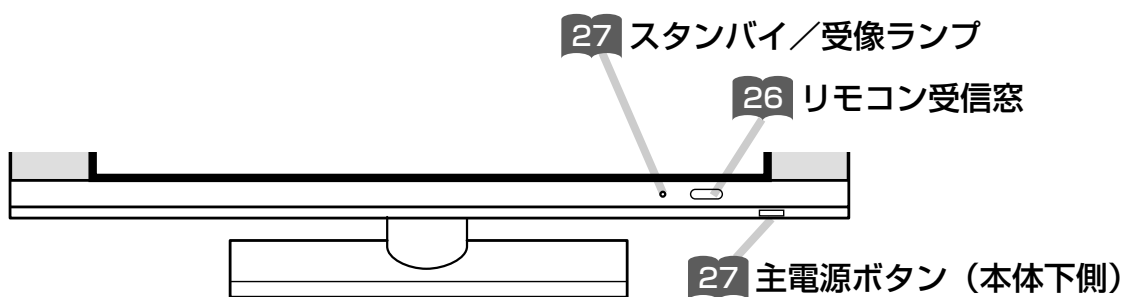
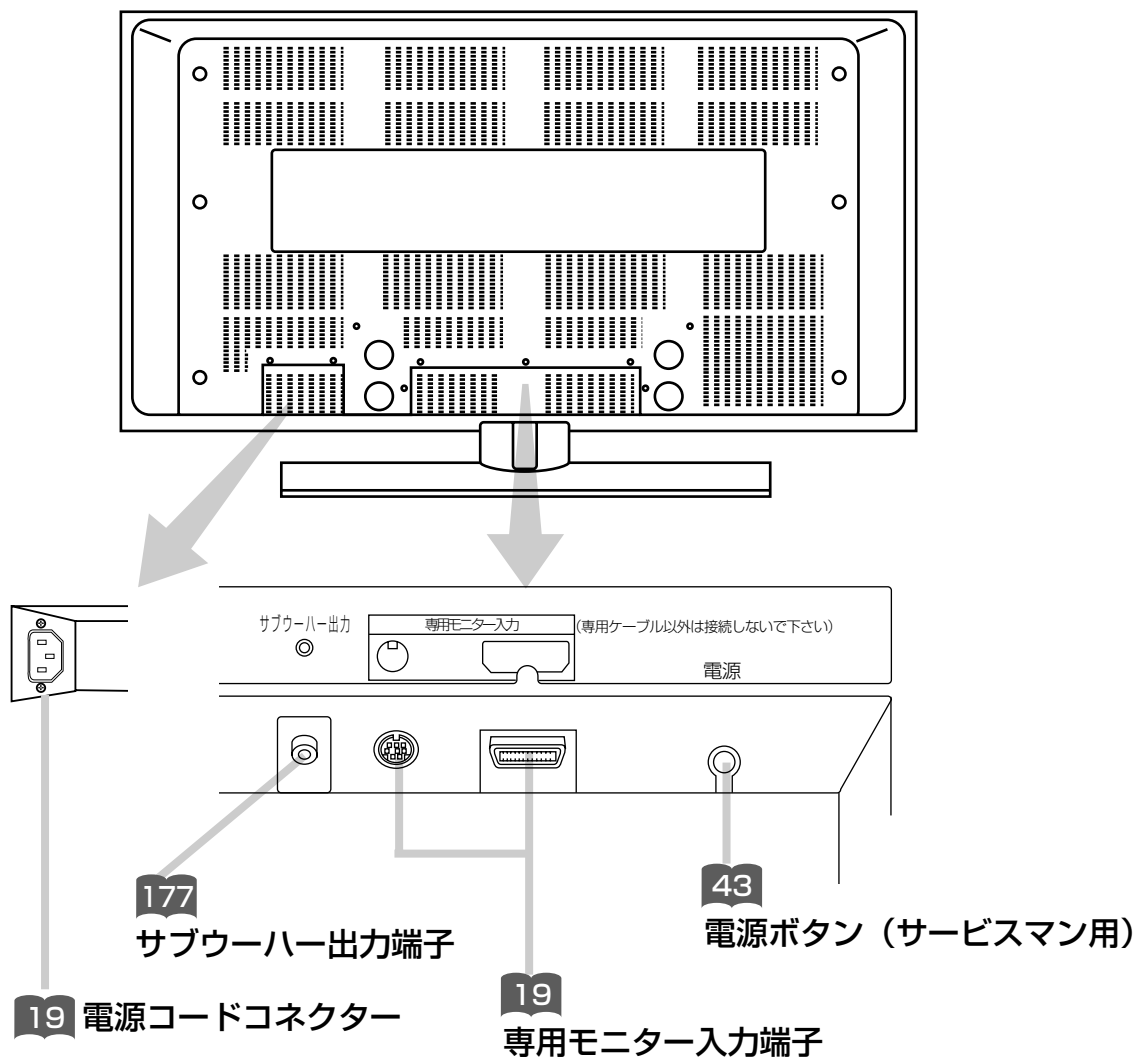
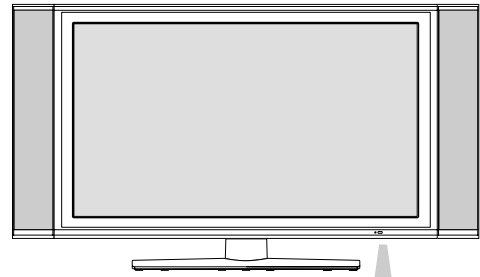
(専用ケーブル以外は接続しないで下さい)

電源

177 サブウーハー出力端子

43 電源ボタン（サービスマン用）

19 電源コードコネクター

19 専用モニター入力端子

W37-PDH2200モニター

前面

後面

27 主電源ボタン

スピーカー端子（右）
(6Ω12W)
－ ＋

(専用ケーブル以外は接続しないで下さい)
サブウーハー出力
専用モニター入力
電源

スピーカー端子（左）
(6Ω12W)
－ ＋

116 スピーカー端子（右）

177 サブウーハー出力端子

43 電源ボタン（サービスマン用）

116 スピーカー端子（左）

117 専用モニター入力端子

117 電源コードコネクター

W42-PDH2200モニター

前面

後面

118 スピーカー端子（右）

118 スピーカー端子（左）

27 主電源ボタン

（専用ケーブル以外は接続しないで下さい）

サブウーハー出力

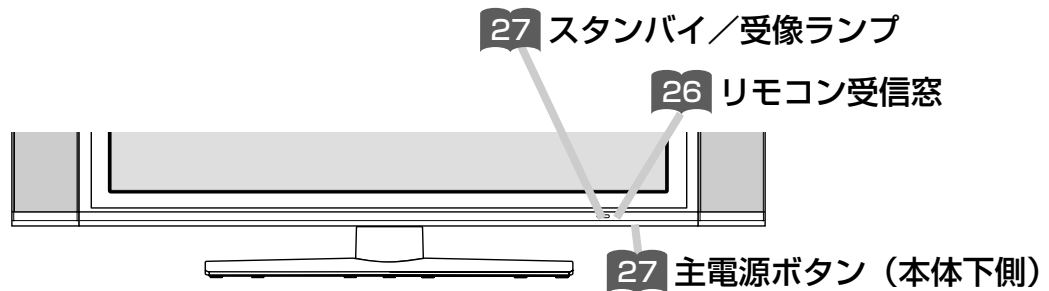
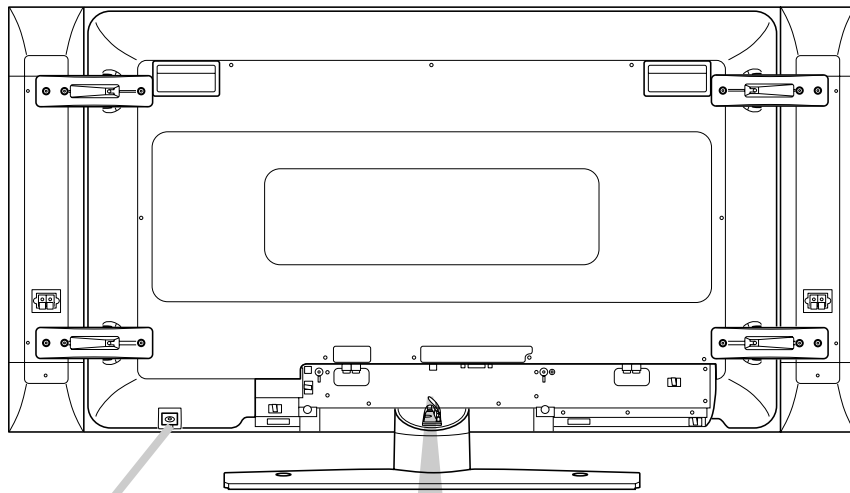
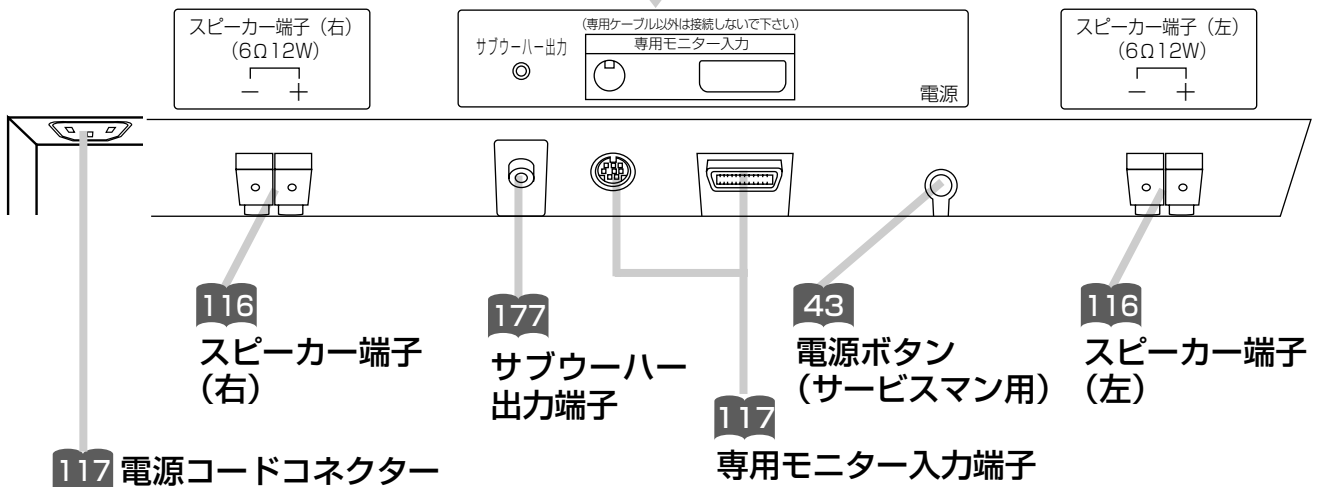
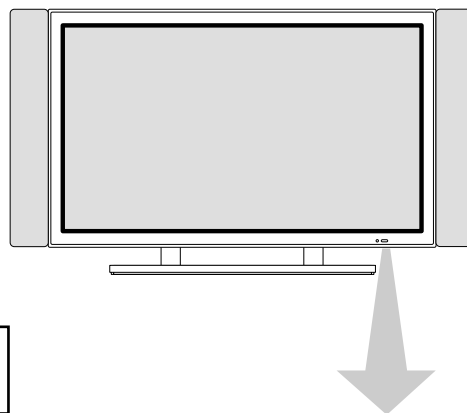
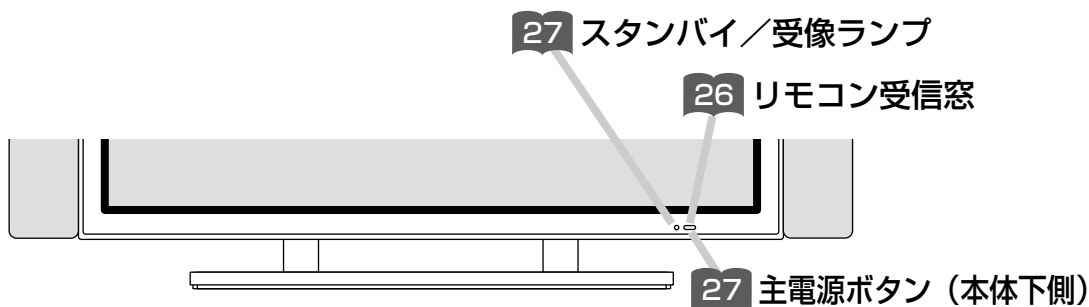
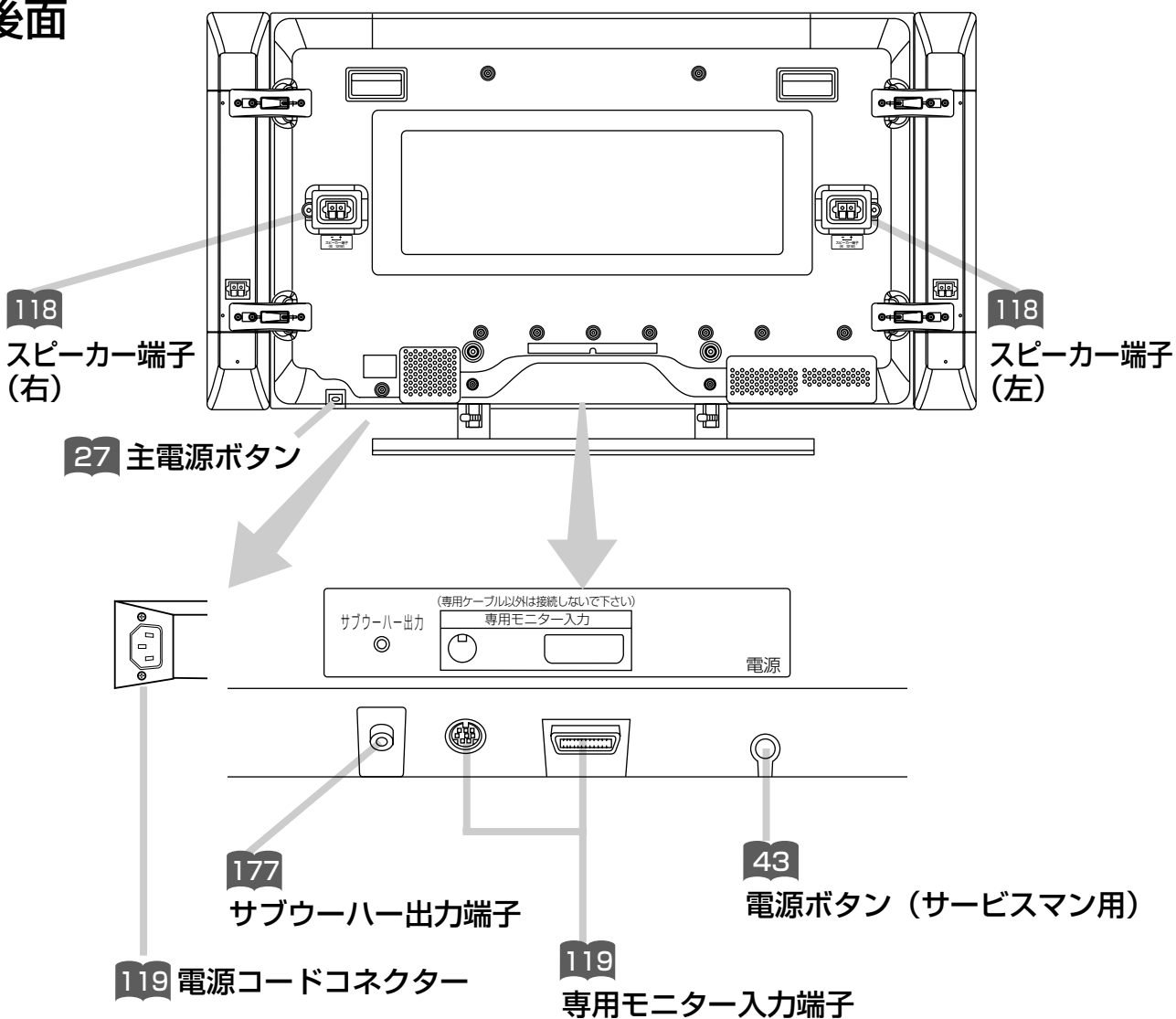
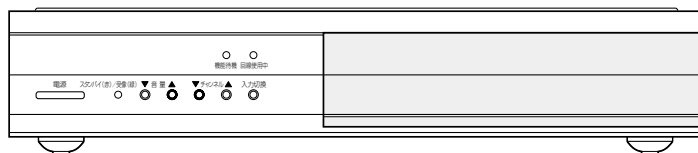
専用モニター入力

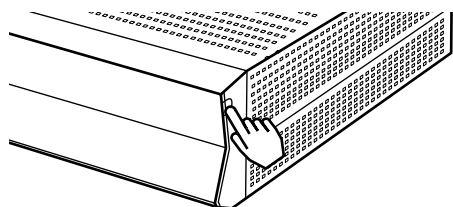
電源

177 サブウーハー出力端子

43 電源ボタン（サービスマン用）

119 電源コードコネクター

119 専用モニター入力端子

チューナー前面

前面とびらの開けかた

とびらの横の部分に指を引っかけ、とびらを開けます。

24 機能待機ランプ

リモコンで電源を「切」にしたとき、次の場合に点灯します。

・BS・CSch固定「入」（録画予約）にしているとき 73
・i.LINK待機を「する」にしているとき 169
・ダウンロードしているとき 162
・有料放送の契約・購入状況などの情報を取得するとき 92

125 回線使用中ランプ

電話回線に接続したときに点灯します。

リモコン受信窓 26

124 B-CASカード挿入口

43 入力切換ボタン

43 チャンネルボタン

43 音量ボタン

43 スタンバイ／受像ランプ

43 電源ボタン

172 175 ビデオ4（コンポーネント1）入力端子

ヘッドホン(ミニ)端子

別売りのミニプラグのヘッドホンをつなぐ端子です。
ヘッドホンの音量を設定することができます。 50

カード挿入口（サービスマン用）

お知らせ

機能待機ランプについて

リモコンやチューナーの電源またはモニターの主電源ボタンで電源を「切」にしたとき、BS・CSデジタルチューナーの電源処理のためにしばらく点灯します。

操作ができなくなった場合は

BS・CSデジタル放送の受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、チューナー本体の電源ボタンを5秒以上押して、機能待機ランプ消灯後、再度電源ボタンを押してください。（BS・CSリセット）

チューナー後面

120 UHF/VHF混合アンテナ端子

127 ビデオ1〜3入力端子

127 BS・CS/モニター出力端子

127 コンポーネント2(ビデオ5)入力端子

179 PC(RGB)入力端子

19 117 119 専用モニター出力端子

125 通信端末用アース端子

126 ビデオコントローラー端子

127 AV-BUSⅢ端子(BS・CS録画予約専用)

123 BS/CS-IF入力端子

メディアコントローラー端子 130

PC音声入力端子 179

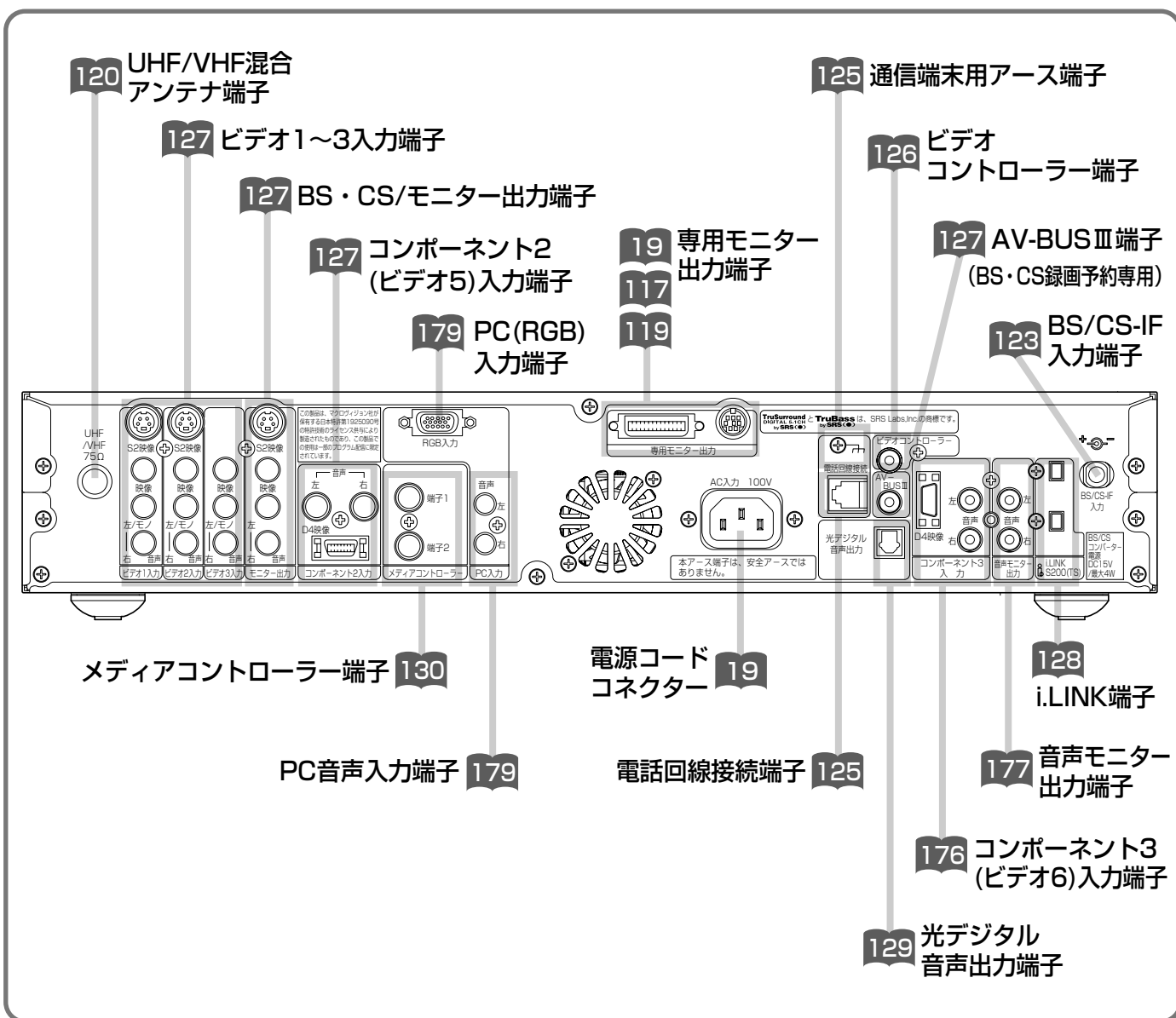
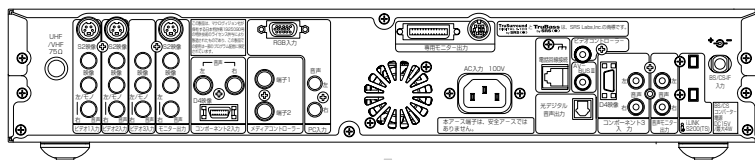
電源コードコネクター 19

電話回線接続端子 125

128 i.LINK端子

177 音声モニター出力端子

176 コンポーネント3(ビデオ6)入力端子

129 光デジタル音声出力端子

将来発売予定の機器との接続

テレビ関連機器の中には、現在開発中で数年後に実用化されると思われる機器がいくつかあり、システムアップが可能となります。使い方など、詳しくは各接続機器の取扱説明書をご覧ください。

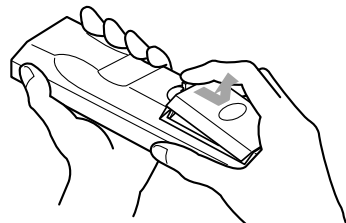
⚠ 注意

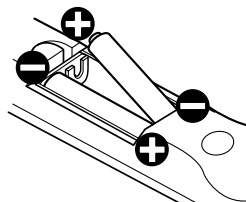
乾電池の使用上のご注意

●本機で指定されていない電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがの原因となることがあります。

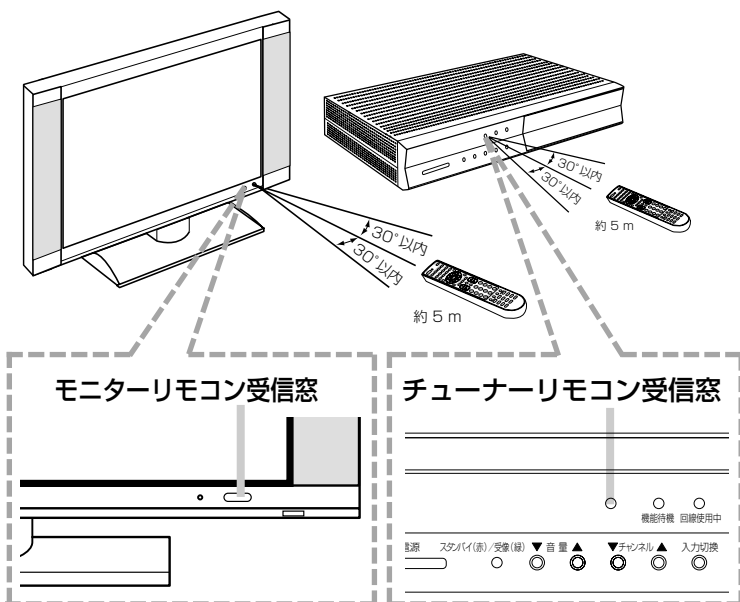
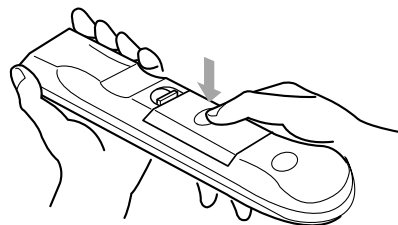
●電池を機器内に挿入する場合、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

1 電池ぶたをはずす

電池ぶたのつまみを引き寄せながら、矢印の方向に引いて開けます。

2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を ⊕、⊖ の表示どおりに入れます。

3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押して戻します。

30°以内
30°以内
約５m
モニターリモコン受信窓
チューナーリモコン受信窓
機能待機　回線使用中
電源　スタンバイ(赤)／受像(緑)　▼音量▲　▼チャンネル▲　入力切換

●リモコンは、モニターのリモコン受信窓またはチューナーのリモコン受信窓、どちらに向かっても操作することができます。
●リモコンは、それぞれのリモコン受信窓の正面から約5メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。
●メディア操作機能 63 を使用して外部機器を操作するときは、本機のモニターのリモコン受信窓に向けて操作します。
リモコン送信機はメディア操作モードにより
・メディアパネル機能 58 使用時：本機に付属のリモコン送信機で操作します。
・リモコンスルー機能 59 使用時：外部機器専用のリモコン送信機で操作します。
●メディア操作機能を使用しないで外部機器を操作するときは、外部機器専用のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作します。

お守りください　リモコンの使用上のご注意

●リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
●リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因になります。
●長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
●リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
●リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると動作しなくなることがあります。光が直接当たらないようにテレビの向きを変えてください。

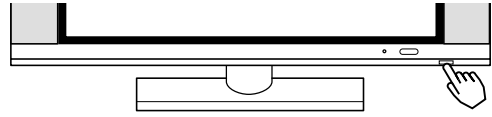
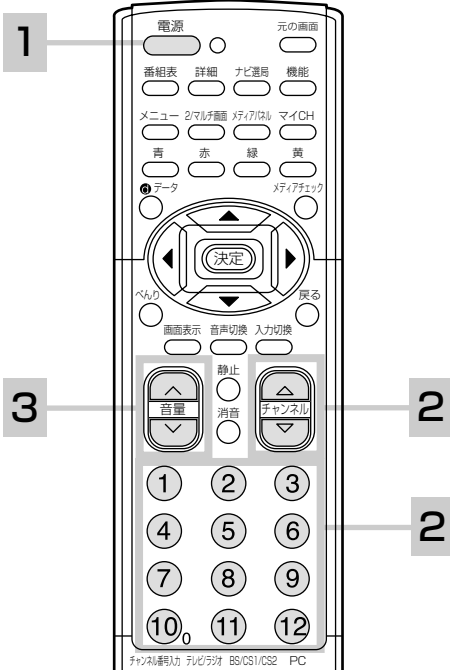
準備（主電源ボタン操作）

モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

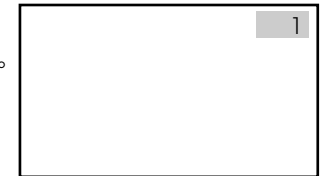
モニターのスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

スタンバイ（赤）
受　像（緑）

6

2 チャンネルを選ぶ（1～12）

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示は約6秒で自動的に消えます。

1

チャンネルアップダウンボタン を使ってチャンネルを順送りで選ぶこともできます。

3 音量を調節する

音量の大きさが数字と !!!!!!!!!...... で画面に表示されます。

《最大》

《最小》

お守りください

動作中に停電になったときのご注意

テレビが動作中に停電になった場合、停電の回復とともに電源が入ります。テレビから離れるときはモニターとチューナーの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2／マルチ画面ボタンで､お好みのマルチ画面を見ることができます。52

メディアチェックで選びたいとき

テレビ放送、BS・CSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。57

メ　モ

リモコンの操作は

スタンバイ/受像ランプが点灯しているときにのみ、リモコンの操作は可能です。
リモコンの電源ボタンを押して電源を切っておくと、次回から電源の「入・切」もリモコンでできます。

本体操作で電源を入れるには

スタンバイ/受像ランプが赤く点灯しているときに、チューナーの電源ボタンを押すと電源が入ります。43

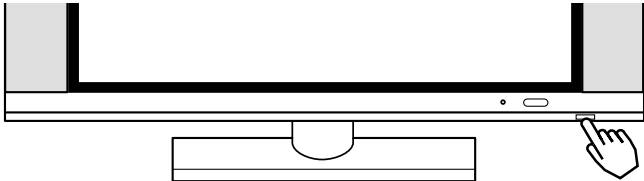
スタンバイ／受像ランプについて

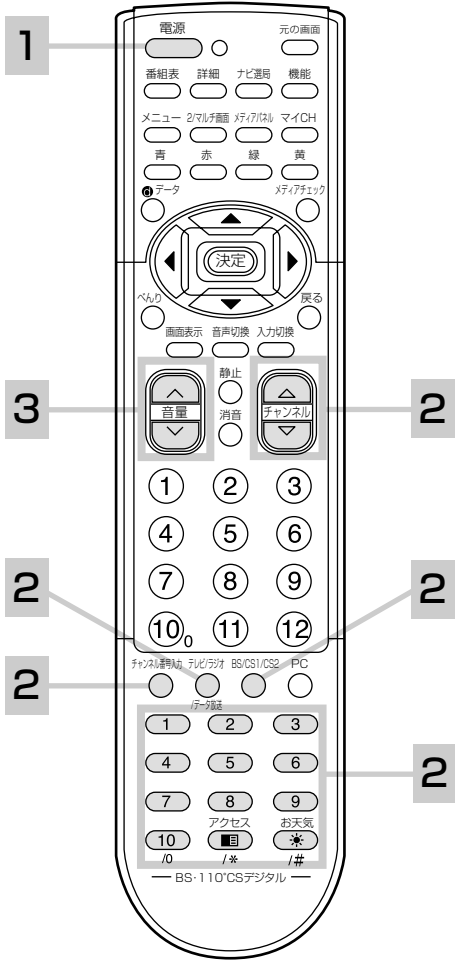
- ●スタンバイ／受像ランプの状態は、チューナーでも確認することができます。
- ●スタンバイ／受像ランプが橙色に点灯しているときは、パワーセービング状態になっています。66 、188

①手順 1 で電源ボタンを押すとランプが赤に点灯し、電源が切れます。もう一度電源ボタンを押すと、ランプが緑に点灯し、電源が入ります。
②パワーセービング状態のときは、手順 2 のチャンネルを選んだり、入力切換ボタンを押すことにより電源を入れることもできます。

- ●モニターのスタンバイ／受像ランプが橙色に点滅しているときは電源プラグをコンセントから抜いたうえで、モニターとチューナーの専用接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。19 116 118

お買い上げ時のチャンネル設定

- ●お買い上げ時は、VHF1～12チャンネルの12局が設定されています。
  チャンネルの設定を変更することもできます。132
- ●空きチャンネルの飛び越し選局 146 の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルをすばやく選局することができます。

準備（主電源ボタン操作）

モニターのスタンバイ／受像ランプが消えているときは、リモコンでは電源が入りません。
まずモニターの主電源ボタンを押してください。スタンバイ／受像ランプが赤に点灯します。

1 電源ボタンを押す

本体のスタンバイ／受像ランプが緑に点灯し、前に見ていたチャンネルが現れます。
電源を切るときは、もう一度押します。

6

2 ワンタッチ選局

本機では、あらかじめ 1～10/0、アクセス/*、お天気/#ボタンにBSチャンネルを設定（プリセット）しています。直接 1～10/0、アクセス/*、お天気/# ボタンを押すと、設定されているチャンネルを簡単に選局できます。

チャンネルを選ぶ

画面右上に選んだチャンネルが表示されます。
表示を消すこともできます。81

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- ●有料番組を選んだとき 92
- ●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 105

お買上げ時のプリセット設定について

お買上げ時のプリセット設定は、下表の通りです。
プリセットされているチャンネルは変更ができます。157

ボタン	チャンネル	放送局	ボタン	チャンネル	放送局
1	（101チャンネル）	NHK1 (NHK BS1)	7	（171チャンネル）	BSジャパン
2	（102チャンネル）	NHK2 (NHK BS2)	8	（181チャンネル）	BSフジ
3	（103チャンネル）	NHKh (NHKハイビジョン)	9	（191チャンネル）	WOWOW
4	（141チャンネル）	BS日テレ	10 /0	（200チャンネル）	スター・チャンネルBS
5	（151チャンネル）	BS朝日	アクセス /*	（755チャンネル）	BS朝日データ
6	（161チャンネル）	BS-i	お天気 /#	（910チャンネル）	ウェザーニュース

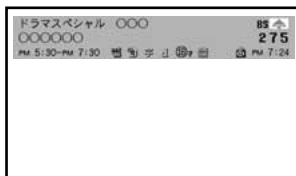
2 番号で直接選ぶ（番号入力選局）

選局したいチャンネル番号があらかじめ分かっている場合は、3桁のチャンネル番号を入力して選局できます。

①チャンネル番号入力ボタンを押す

チャンネル番号入力画面が表示されます。

②ご覧になりたいチャンネル番号を入力する

例：チャンネル番号275を選局する場合

BS放送を受信しているときに、CS放送をチャンネル番号選局する場合、数字ボタンでチャンネル番号を入力している状態で、BS/CS1/CS2ボタンを押してください。

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき 92
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき 105

BS・CS放送を切り換える場合

BS/CS1/CS2ボタンを押す

ボタンを押すごとに、BS、CS1（プラットワン）、CS2（SKY PerfecTV! 2)で最後に見ていたチャンネルを順送りに選局します。

アップダウン選局

デジタル放送には、テレビ（BS・CS）放送、ラジオ放送、データ放送の3つのサービスがあります。チャンネルボタンを押すと、受信できるサービス（例えばテレビ放送のサービス）のチャンネルをBS、CS順逆送りに選局します。

①テレビ／ラジオ／データ放送ボタンを押して、サービスを選ぶ

- テレビ／ラジオ／データ放送ボタン：
  テレビ（BS・CS）放送、ラジオ放送、データ放送で最後にご覧になっていたチャンネルを順送りに選局します。

②チャンネルアップダウンボタンを押す

チャンネルを順逆送りで選局することができます。

選んだ番組によって、以降の操作が異なります。
- 有料番組を選んだとき 92
- 視聴制限の対象になる番組を選んだとき 105

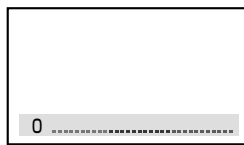
機能メニュー画面でもサービスを切り換えることができます。91

3 音量を調節する

音量の大きさが数字と▮▮▮▮▮▮▮▮......で画面に表示されます。

大きくなる

小さくなる

《最大》

《最小》

メモ

番号入力選局について

チャンネル番号を正しく入力しなかったときや約5秒以内に次の番号を押さなかったときは、選局動作をしません。

アップダウン選局について

「BS・CSメニュー」画面のチャンネルスキップ設定 158 により順送りするチャンネルが異なります。なお、チャンネルの設定については 157 をご覧ください。

お知らせ

電源を切るときに、最後にご覧になっていたチャンネルがBS・CSデジタル放送の場合、再度電源を入れたときは、画面が出画するまで10秒程度の時間がかかることがあります。

マルチ画面を見たいとき

リモコンの2／マルチ画面ボタンで、お好みのマルチ画面を見ることができます。ただし、BS・CSチャンネルを同時に2画面で見ることはできません。52

メディアチェックで選びたいとき

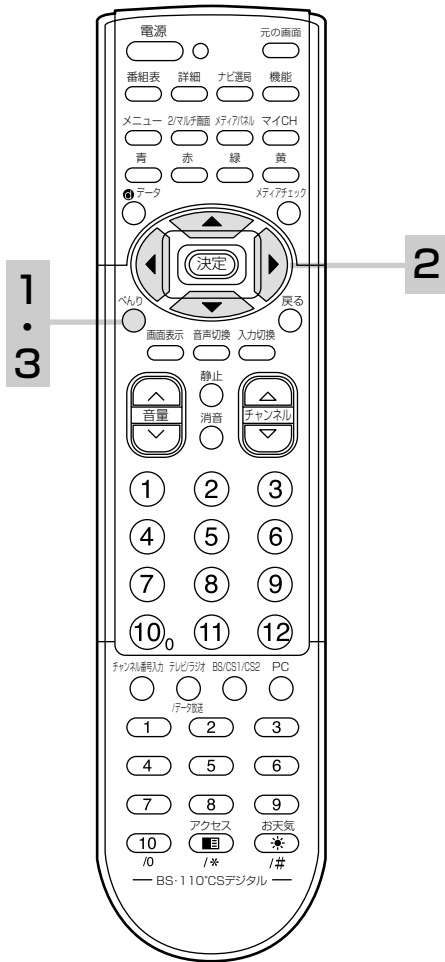
テレビ放送、BS・CSデジタル放送および外部入力映像を画面で選ぶことができます。57

マイCHで選びたいとき

BS・CSデジタル放送を画面で選ぶことができます。83

お知らせ

ラジオ放送には映像のない番組があります。この時は、画面には何も表示されませんので、本機の電源の切り忘れ等にご注意ください。

べんり機能を使うと見ている画面に応じてお好みの設定にすることができます。
これらの設定項目は上下左右方向に矢印（▲）のついたカーソルボタンを使って機能の設定ができます。

べんり機能の項目の選びかた

1 べんりボタンを押す

べんり

べんり画面（1/2ページ目）が現れます。
べんりボタンを押すたびに下記のように切り換わります。

1/2ページ目→2/2ページ目→通常画面

2 （▲▼）で項目を選び、（◀▶）で設定する

べんり		ページ1／2
ワイド切換	◀	スムーズ ▶
画面位置	:	0
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	スタンダード
（▲▼）選択 （◀▶）設定		（戻る）終了

3 設定が終わったらべんりボタンを1〜2回押す

●元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。
●「▼」の表示があるときは、べんりボタンまたは（▼）を押すと、 次のページが表示されます。
●「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは（▲）を押すと前のページが表示されます。

メ モ

リモコンの戻るボタンについて
べんり機能やメニュー 32 の設定画面のとき戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

べんり機能で設定できる項目について

■通常のテレビ放送／BS・CSデジタル放送／ビデオ入力時

1ページ目

べんり		ページ1／2
ワイド切換	◀	映画1字幕 ▶
画面位置	:	+10
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	スタンダード
選択　設定		戻る終了

- 34 画面のワイドモードを選ぶことができます。
- 37 画面の位置を上下に移動することができます。
- 44 映像の自動調整モード（映像モード）を選ぶことができます。
- 51 音声モードを設定することができます。

2ページ目

べんり		ページ2／2
▲TRUBASS	◀	強 ▶
サラウンド	:	切
GRT	:	入1
オフタイマー	:	切
選択　設定		戻る前画面

- 51 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。
- 51 音声のサラウンドモードを設定することができます。
- 39 テレビ放送のゴースト妨害を低減することができます。
メニュー画面の「GRT設定」で設定することもできます。
ビデオ入力時、PC入力、BS・CS受信時は「GRT」の設定はできません。"入／切"表示が"－"表示になりGRTを選択すると"切換できません"の表示がでます。
- 61 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■PC（パソコン）信号入力時

1ページ目

べんり		ページ1／2
自動調節		
垂直位置	◀	＋１０ ▶
水平位置	:	0
クロック	:	－３１
位　相	:	６３
▼標　準		
選択　設定		戻る終了

- 181 垂直位置、水平位置、クロック、位相を自動調節します。
- 182 画面の垂直位置を調節します。
- 182 画面の水平位置を調節します。
- 182 縦方向の大きな縞がなくなるように調節します。
- 182 横方向の縞や文字のにじみが最小になるように調節します。
- 182 お買上げ時の設定に戻します。

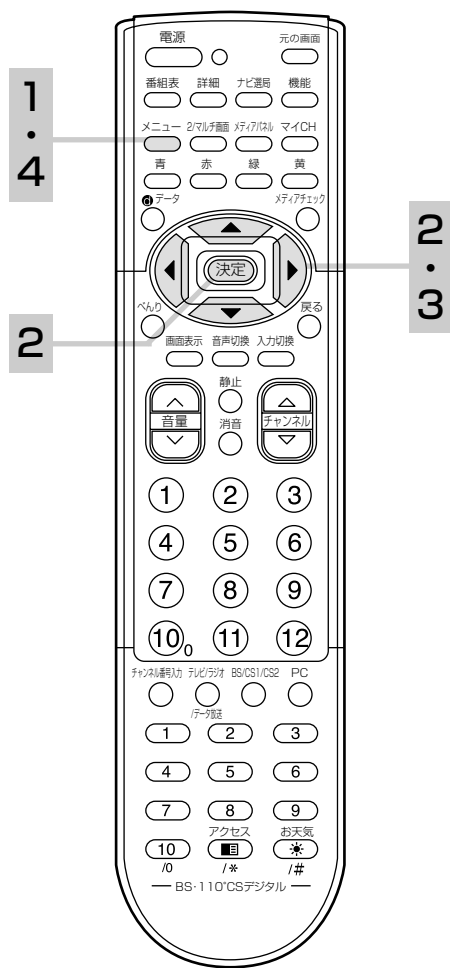
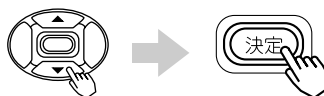
2ページ目

べんり		ページ2／2
▲ワイド切換	◀	フル ▶
音声モード	:	スタンダード
ＴＲＵＢＡＳＳ	:	強
サラウンド	:	切
オフタイマー	:	切
選択　設定		戻る前画面

- 34 画面のワイドモードを選ぶことができます。
- 51 音声モードを設定することができます。
- 51 音声のTruBass機能を強/中/弱/切することができます。
- 51 音声のサラウンドモードを設定することができます。
- 61 自動的にテレビの電源を切ることができます。

■2画面/マルチ画面時

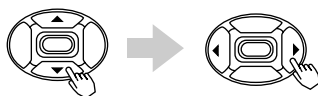
- 52 2画面に切り換えます。
- 52 マルチ画面に切り換えます。
- 54 56 2画面/マルチ画面でBS・CSデジタル放送のデータ放送を操作するときに切り換えます。（BS・CSデジタル放送を選択しているときに表示されます。）

メニューボタンを押すと画面にメニューが表示され、カーソルボタンを使って、ほとんどの機能の設定ができます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 で項目を選び、決定ボタンを押す

3 で設定する

で項目を選んで、 で設定（または選択、調節）します。

〈映像設定を選んだときの設定画面表示の例〉

- 「▼」の表示があるときは、 を押すと、 次のページが表示されます。
- 「▲」の表示があるときは、戻るボタンまたは を押すと前のページが表示されます。

4 設定が終了したらメニューボタンを1～2回押す

画面表示が消えて、設定が完了します。

●元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メ モ

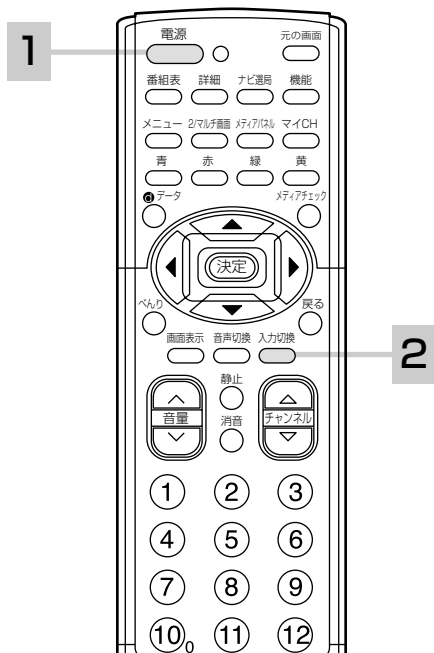
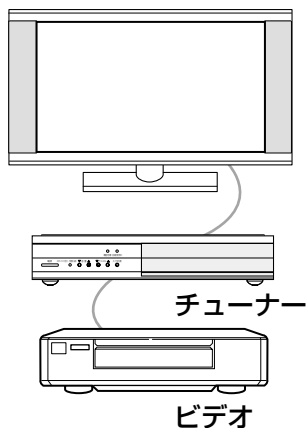
リモコンの戻るボタンについて

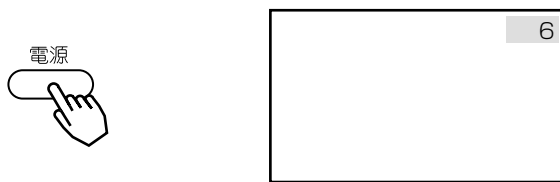
戻るボタンを押すと、前の設定画面に戻したり、設定画面を終了させることができます。

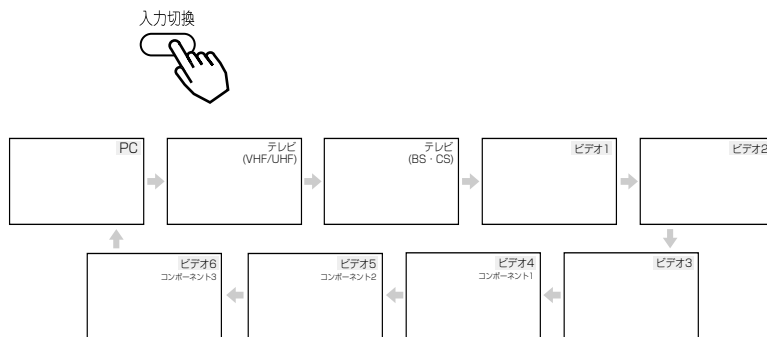
準　備

お手持ちのビデオを本機の入力端子に接続します。
接続についての詳しい説明をご参照ください。127

基本の使いかた

D-VHSビデオデッキを使用するときは 112 をご覧ください。

1 電源ボタンを押す

前に見ていたチャンネルが現れます。
（前にビデオを見ていたときは、ビデオ1などのビデオ画面になります。）

2 入力切換ボタンを押して、ビデオ画面を選ぶ

押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）
お手持ちの機器が接続されているビデオ入力を選びます。

3 ビデオを再生する

メ モ

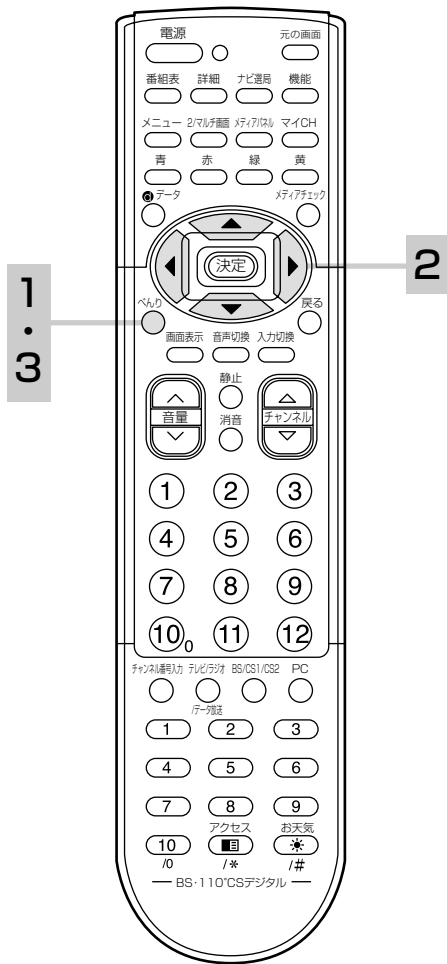
ビデオの再生中にテレビを見るには
途中でテレビを見るときは、入力切換ボタンまたは、ご希望のチャンネルボタンを押してください。

ビデオ4、5、6について
ビデオ4、5、6入力端子はコンポーネント映像信号の入力端子（D4映像端子）です。D1～D4映像のいずれかの出力端子のある映像機器を接続します。
D4映像端子に接続すると「コンポーネント1」「コンポーネント2」または「コンポーネント3」の表示がでます。174 ～ 176

入力スキップ設定について
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。68

ビデオ入力表示の書き換えについて
外部機器の設定をすると接続する機器に合わせてビデオ入力やコンポーネント入力の表示を書き換えることができます。68

ビデオ入力画質について
映像がギラギラしていたり、ノイズが目立つ場合は、「映像設定」で「ビデオ入力画質」をクリアにしてご覧ください。46

本機は横長のワイド画面を採用していますので、現行テレビ放送の映像も、映画など横長サイズの映像も、ワイド機能を使って画面一杯に拡大してお楽しみいただけます。
さらに映像を上下に移動させて見やすい位置にすることもできます。

ワイドモードの選びかた

1 べんりボタンを押す

べんり機能の設定画面（1ページ目）が表示されます。

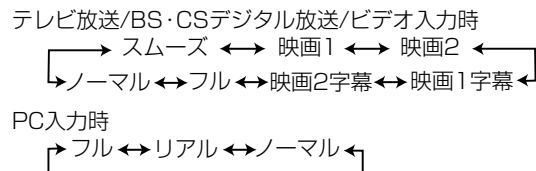
2 で「ワイド切換」を選び、でワイドモードを設定する

を押すたびにワイドモードは次のように変わります。

テレビ放送/BS･CSデジタル放送/ビデオ入力時

→スムーズ ↔ 映画1 ↔ 映画2 ←
→ノーマル ↔ フル ↔ 映画2字幕 ↔ 映画1字幕 ←

PC入力時

→フル ↔ リアル ↔ ノーマル←

- ●BS・CSデジタル放送では、標準放送の525i(480i)で4:3映像のときにワイド切り換えすることができます。
- ●PC入力時のリアルモードは入力信号がVGAのときのみ選択できます。
- ●お買い上げ時は、テレビ放送、BS・CSデジタル放送、ビデオ入力時は「スムーズ」、PC入力時は「フル」が設定されています。
- ●ワイドモードは、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6およびPC入力の各モード毎に設定することができます。
- ●設定したワイドモードは電源を切っても記憶されています。
- ●ラジオ放送などの映像のない番組や受信途中で映像情報を取得できない場合は、正しく切り換えできないことがあります。

3 設定が終了したらべんりボタンを2回押す

2回押す

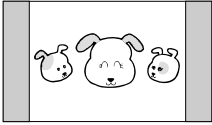
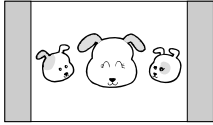
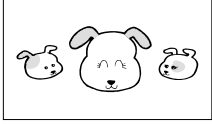
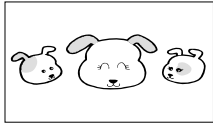
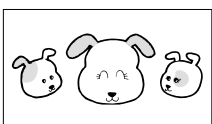
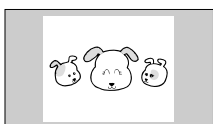
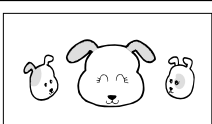
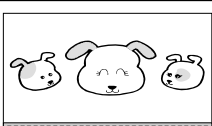
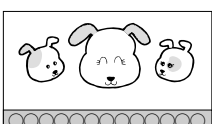
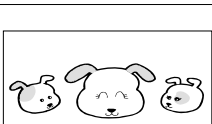
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

- ●このテレビは、各種の画面モード切り換え機能を備えています。テレビ番組等ソフトの映像比率と異なるモードを選びますと、オリジナルの映像とは見えかたに差が出ます。この点にご留意のうえ、画面モードをお選びください。
- ●このテレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において、ワイド機能を使った拡大状態で使用されますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- ●ワイド映像でない従来（通常）の4：3の映像をスムーズモードを利用して、ワイドテレビの画面いっぱいに表示してご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、ノーマルモードでご覧になれます。
- ●本機は、フルモード制御信号の入った映像がビデオ1,2,4のS2映像入力に入力されると自動的にワイド画面一杯に表示します。
- ●BS・CSデジタル放送のハイビジョン放送1125i(1080i)、750p(720p)や標準放送の525p(480p)を受信すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切換はできません。
  また、標準放送の525i(480i)を受信したとき、フルモード制御信号やレターボックス制御信号を検出すると、自動的にフルモードまたは映画1モードに固定され、ワイド切換はできません。
- ●ビデオ4,5,6のコンポーネント入力端子に、1125i（1080i）,750p(720p)の信号を入力すると、ワイドモードは自動的にフルモードに固定され、ワイド切り換えはできません。

メ モ

コンポーネント入力時のワイドモードについて

- ●ビデオ4，5，6のコンポーネント入力端子にD端子ケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、アスペクト比制御信号を検出して、自動的にワイドモードを切り換えます。
- ●ビデオ4，5，6のコンポーネント入力端子にD端子ピンケーブルで525i（480i），525P（480P）信号を入力したときは、525i (480i) 信号では最後にご覧になっていたワイドモードに、525P（480P）信号では、フルモードに自動的に切り換わります。

PC入力時のワイド切換について

- ●PC入力時のワイドモード表示は、入力信号を圧縮・拡大などの処理を行って表示しているため、入力信号を忠実に再現できない場合があります。

ワイドクリアビジョン放送識別について

- ●ワイドクリアビジョン放送は、現行のテレビ放送方式と両立性を保ちながら、放送信号にワイドクリアビジョン放送識別信号と画質向上信号を付加し、ワイド画面化と画質向上を図ろうとする放送方式です。
  本機は上記ワイドクリアビジョン放送識別信号に対応して、現行方式かワイドクリアビジョン放送かを識別し、ワイドクリアビジョン放送であれば自動的に最適サイズに切り換える回路を搭載しています。
- ●ワイドクリアビジョン放送識別は「EDTVⅡ識別」の設定が「する」の場合のみ有効です。62
- ●ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときのみ ワイド が表示されます。
- ●ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画して再生する場合や電波受信状態（ゴースト、弱電界など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は、「EDTVⅡ識別」の設定を「しない」にしてお好みのワイドモードに設定してください。

ワイドモードについて

TV/BS・CS/ビデオ入力時		PC入力時	
	ノーマル（通常の状態） 通常のテレビ放送の映像は中央に映ります。		**ノーマル** 入力信号と同じアスペクト比になるように圧縮・拡大処理して表示します。 （入力信号が4：3のときは、表示も4：3表示）
	スムーズ 4：3の映像を画面中央の真円度を保ち、水平方向に不自然にならないように画面一杯にし、垂直方向に10%拡大します。ドラマなどのスタジオ番組に最適です。		**フル** 入力信号の解像度、アスペクト比によらず縦、横一杯になるように圧縮・拡大処理して表示します。
	映画1 ビスタサイズの映画などを水平・垂直両方向に約30%拡大します。上下に黒帯の入った映像で放送されている映画などを迫力の画面で楽しめます。		**リアル** 入力信号がVGA（640×480の解像度）の時だけ、入力信号の1画素をモニターの1画素に対応させて表示します。圧縮・拡大処理をしないため、くっきりした画像を表示します。
	映画2 シネスコサイズの映画などの両側を少し縮小し、画面一杯に拡大します。上下に黒い部分がなくなり迫力の画面で楽しめます。		
	映画1字幕 字幕付のビスタサイズの映像に最適です。		
	映画2字幕 字幕付のシネスコサイズの映像に最適です。 （お買い上げ時の画面位置は＋10に設定されています。）		
	フル 横方向を圧縮して記録された映像（スクィーズ映像）を横方向に画面一杯まで拡大します。ハイビジョン番組を楽しむときなどに使います。		

メモ

PC入力時のリアルモードを選んでいるとき、VGA（640×480の解像度）より解像度の高い信号が入力されると画面が自動的にフルモードに切り換わります。

お知らせ

ノーマルモードで長時間ご覧になると、中央の映像部分（両側の帯以外の部分）が焼き付く場合があります。
焼き付きを防ぐには、ノーマルモード以外のモードで使用することをおすすめします。
ノーマルモードでご覧になる場合には背景色をグレーに設定する65ことをおすすめします。
焼き付きが軽度のときは白パターンを表示する65、動画を映すことにより目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

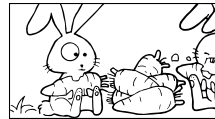
メモ　TV／BS・CS／ビデオ入力時のワイド機能の上手な使いかた

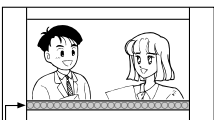
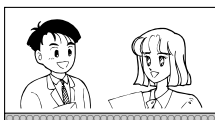
通常のテレビ放送

「ノーマル」

「スムーズ」にして楽しむ

上下に黒帯のある映像

「ノーマル」

「映画1」または「映画2」にして楽しむ

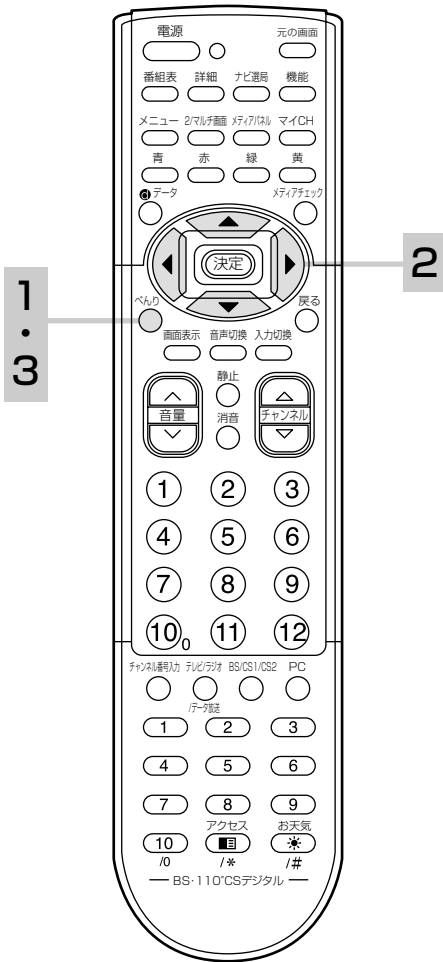
上下に黒帯があり字幕のある映像

「ノーマル」
字幕部

「映画1字幕」または
「映画2字幕」にして楽しむ

スクィーズ映像(横圧縮映像)

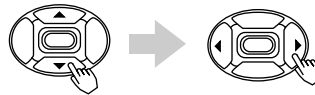
「ノーマル」

「フル」にして楽しむ

画面位置を調節したいとき

「ノーマル」、「フル」、「リアル」（PC VGA入力時のべんり機能使用時）以外のワイドモード時は、画面を上下に移動することができます。
「映画1」「映画2」モード時に字幕が消えてしまうようなときにお使いになると便利です。
●PC入力時の画面位置調節は 181、182をご覧ください。

1 べんりボタンを押す

べんり機能の設定画面（1ページ目）が表示されます。

2 で「画面位置」を選び、でお好みの位置に調節する

べんり		ページ1／2
ワイド切換	:	映画１字幕
画面位置	◀	＋12 ▶
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	スタンダード
選択	設定	戻る前画面

スムーズ、映画1字幕は±12、映画1、映画2、映画2字幕は±31の範囲で画面位置調節ができます。

画面位置－5　　画面位置0　　画面位置＋5

3 設定が終了したらべんりボタンを2回押す

2回押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

●BS・CSデジタル放送では、画面位置は調節できません。
●画面位置の設定は、一度電源を「切」にすると「0」に戻ります。

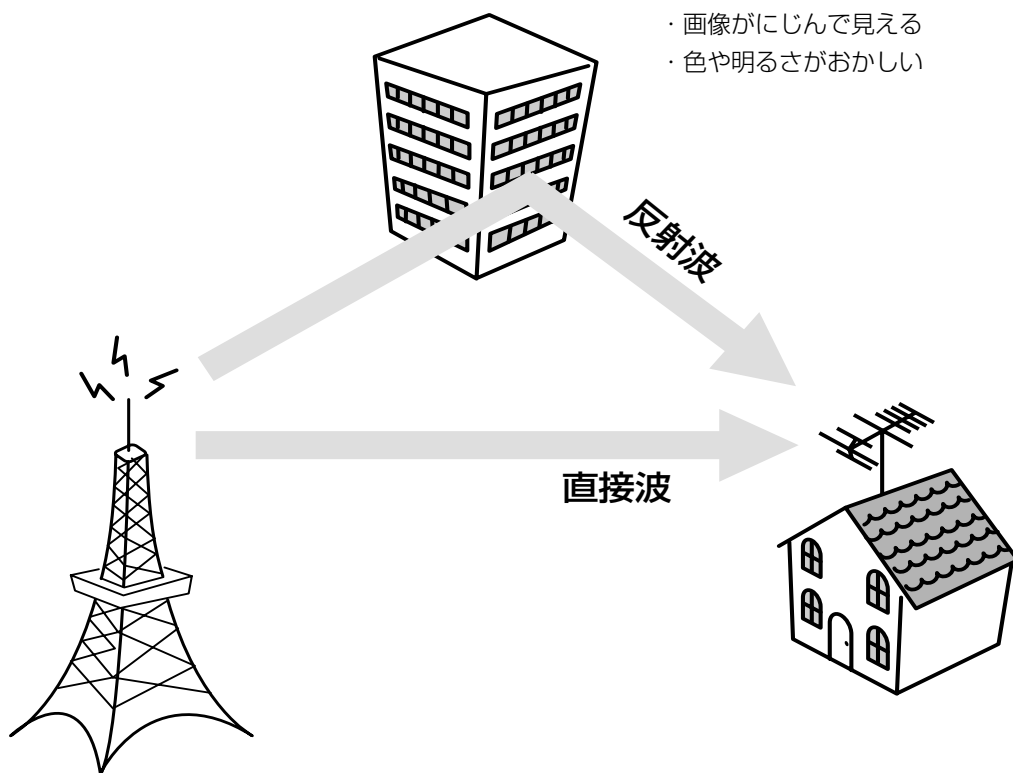
本機は、ゴースト妨害を低減するゴースト・リダクション・チューナー（GRT）を搭載しています。テレビ放送のゴースト妨害を低減した映像を楽しめます。

ゴースト妨害とは

放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、二重三重の画像になります。この現象をゴースト妨害といいます。

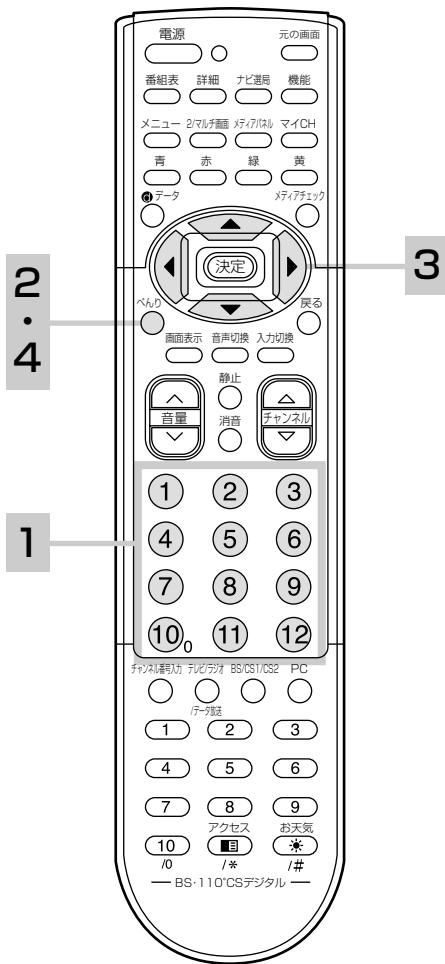
反射波によって、受信中の画像が次のように見えます。
・画像が二重三重に見える
・画像がにじんで見える
・色や明るさがおかしい

反射波

直接波

お知らせ

●ゴースト低減は、放送局から送られてくる信号の中にあるゴースト除去基準信号（GCR信号）に基づいて行います。このGCR信号がないときは、ゴーストは低減できません。
●ゴーストリダクションは、テレビ放送をご覧になっているときに働きます。BS・CSデジタル放送受信時、ビデオ入力、およびPC入力端子に入力した映像に対しては働きません。
●テレビ放送をご覧になっているときでも、次のような場合はゴーストリダクションが働かなかったり、ゴーストが残ることがあります。
　・受信状態が良くないとき
　　UHF/VHFアンテナの向きが合っていない場合やアンテナ線の接続が正しくない場合など 120
　・ゴースト妨害が大きいとき
　・飛行機など動きのあるものに反射してゴーストが引き起こされたとき
　・ゴーストの数が多いとき
●付属のRFケーブルをUHF/VHF混合アンテナ端子に接続する場合は、フェライトコアを巻き付けて接続することをおすすめします（ 121 をご覧ください)。よりきれいな信号を受信することができます。

ゴーストを低減したいとき

テレビ放送をご覧になっているとき、ゴーストが気になるときはGRT設定を行います。
GRT設定は、各チャンネルごとに設定することができます。
複数のチャンネルのGRT設定をまとめて行いたいときは、メニュー画面で設定することもできます。144

1 チャンネルボタンを押す

ゴーストが気になるチャンネルを選びます。

2 べんりボタンを2回押す

べんり機能の設定画面（2ページ目）が表示されます。

3 で「GRT」を選び、でお好みに設定する

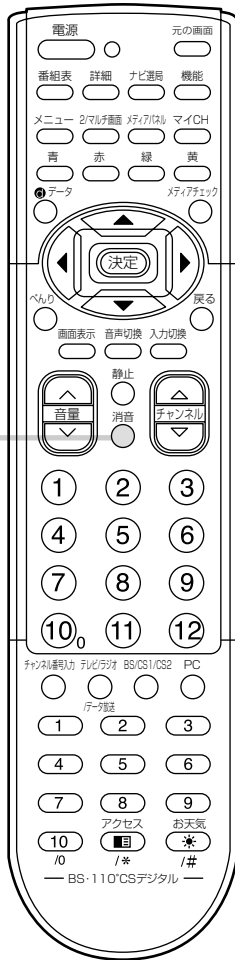
「入1」：通常はこの位置で使用します。
お買い上げ時は「入1」が設定されています。
「入2」：「入1」でゴースト低減の効果が小さいときに選びます。
「切」：ゴーストリダクション機能は働きません。
「入1」や「入2」のときよりも「切」のほうが見やすいときは「切」にしてください。

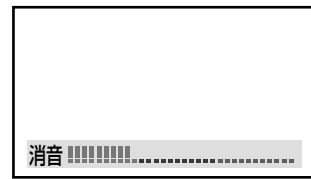
4 設定が終了したらべんりボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

お知らせ

- ●ゴーストの無い地域では、GRT設定を「切」にしてお使いになることをおすすめします。
- ●ゴーストの状態によっては、「入1」または「入2」の設定でも、ゴーストが取り切れない場合があります。
- ●BS・CSデジタル放送またはビデオ入力、PC入力端子から入力した画面を見ているときのGRT設定は「－－」と表示され設定することができません。
- ●チャンネル合わせ（地域番号）で地域番号を変更したり 132、チャンネル合わせ（マニュアル）でチャンネル設定を変更する 140 と、GRT設定は自動的に「入1」が設定されます。必要に応じてもう一度設定してください。
- ●ゴースト低減された信号をモニター出力端子から出力することはできません。
- ●2／マルチ画面や静止画でご覧になっているときは、ゴーストリダクション機能は働きません。
- ●ゴーストリダクション機能は、テレビの電源を入れたとき、またはテレビチャンネルを選んだときに働きます。
- ●ゴーストリダクション機能が働くときに画面がガタつくことがありますが、故障ではありません。
- ●VHF/UHFアンテナの設置や調整を行うときは、GRT設定を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。
- ●ビデオのアンテナ出力を1chまたは2chにしてテレビと接続しているときは、GRT設定を「切」にしてください。

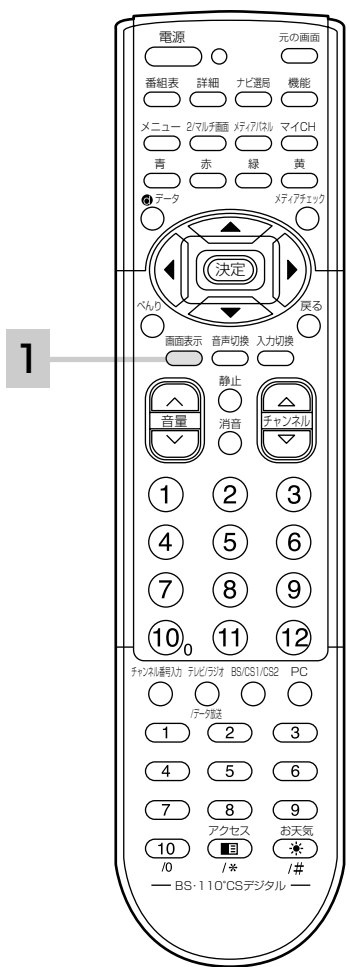
電話がかかってきたとき、来客のときなど便利です。

1 消音ボタンを押す

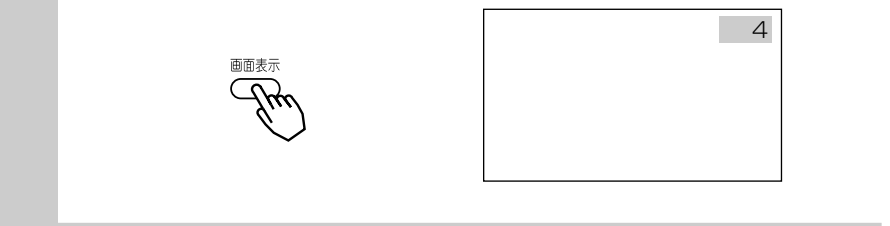
音が消えて、画面に図のような表示が出ます。
もう一度押すともとの音量に戻ります。

押した瞬間

メ モ

消音時でも小さな音を出しておきたいとき

●消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。
ミュート音量の設定をしてください。50

●消音にしたままでも音量 ∨ ボタンを押すことにより、音量の設定を変えることができます。音を出すときは、もう一度消音ボタンを押すか、音量 ∧ ボタンを押してください。

1 画面表示ボタンを押す

ご覧のチャンネルの番号が画面に表示されます。表示は約6秒で自動的に消えます。

ワイド マークについて

このマークは、ワイドクリアビジョン放送を識別した際に出るマークです。35

お知らせ

BS・CSデジタル放送のときは

BS・CSデジタル放送のときは、番組タイトル、開始時刻、終了時刻などが表示されます。
詳しくは、「見ている番組のタイトルなどを表示する」81 をご覧ください。

ビデオのときは

ビデオのときは、入力端子に接続した機器に合わせて表示を書き換えることもできます。68

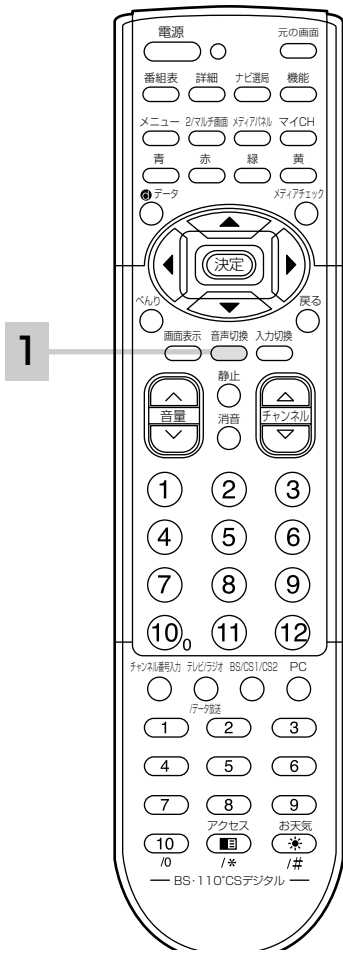
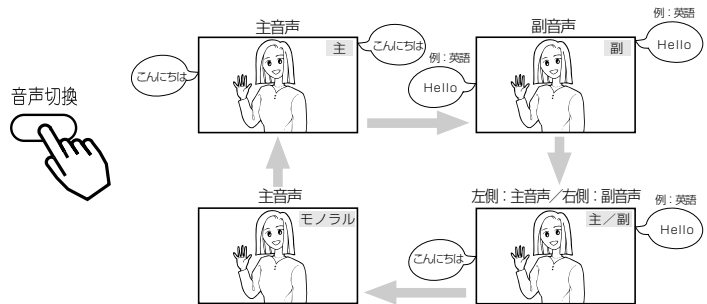
画面表示

●テレビ放送のとき	●ビデオのとき	●PCのとき
4　モノラル放送時（**緑で表示**）	**ビデオ1** －ビデオ入力番号 ビデオ4，5，6にコンポーネント信号を入力したときは以下のように表示されます。 **ビデオ4** コンポーネント1 **ビデオ5** コンポーネント2 **ビデオ6** コンポーネント3	PC ↓（3秒間） 水平（H）と垂直（V）の周波数表示を表示 例：H:48.4kHz,V:60.0Hz ↓（3秒間） 消える ●周波数表示を出さないようにすることもできます。自動周波数表示の設定をしてください。182
4 モノラル　モノラル指定時（**緑で表示**）		
4 主　二重音声放送時（**赤で表示**） 例）主音声		
4　ステレオ放送時（**黄で表示**）		

二重音声放送およびステレオ放送のときには、2ヵ国語（二重）音声、ステレオ音声など音声内容を選ぶことができます。

二重音声放送のとき

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

ステレオ放送のとき

ステレオ放送が始まると自動的にステレオ音声になります。
（「主」「副」「主／副」のいずれかに設定しているとき）

●テレビ放送時、電波が弱いとか雑音が多いなどステレオ音声が聞きづらいときは「モノラル」にすると聞きやすくなることがあります。

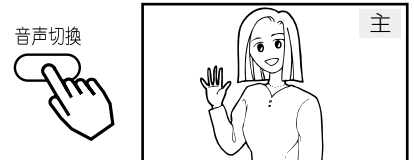
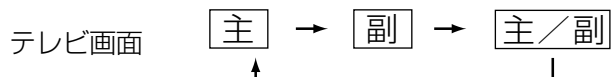
BS・CSデジタル放送の音声信号を切り換えるとき

二重音声の番組を見ているとき、お好みに合わせて聞きたい音声を選ぶことができます。

1 音声切換ボタンを押す

音声切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。

●二重音声番組の場合

テレビ画面

●ステレオ番組のとき

ステレオ

●モノラル番組のとき

モノラル

お知らせ

●ステレオ番組やモノラル番組のときは、音声切換ボタンを押しても、音声は切り換わりません。

メ モ

BS・CSデジタル放送の二重音声について

二重音声には2種類あります。

●ニヵ国語放送

主音声（日本語）と副音声（外国語）を選んで聞ける情報（主音声で外国語、副音声で日本語が送信されている場合もあります。）

●音声多重放送

主音声とは別の音声（副音声）を選んで聞ける情報

お手近にリモコンがないときは、本体での操作もできます。

1 電源を入れる

モニターの主電源を押してスタンバイ/受像ランプが赤く点灯している場合は、チューナーの電源ボタンを押すと電源が入り、スタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。モニター後面の電源ボタンでも同様に電源を入れることができますが、このボタンはサービスマン用ですので通常使う必要はありません。電源を切るときは、もう一度主電源ボタンを押します。

スタンバイ/受像ランプが緑に点灯しているときに主電源ボタンを切にした場合、次に主電源ボタンを入にすると、電源が入りスタンバイ/受像ランプが緑に点灯します。

2 入力切換ボタンで「テレビ」を選ぶ

入力切換ボタンを押すごとに、図のように切り換わります。（お買い上げ時）

3 チャンネルを選ぶ

ボタンを押すごとに、チャンネルを順逆送りで選局することができます。

BS・CSデジタル放送は選んだ番組によって、以降の操作が異なります。

●有料番組を選んだとき 92
●視聴制限の対象になる番組を選んだとき 105

4 音量を調節する

音量の大きさが数字と ▮▮▮▮▮▮▮▮▮...... で画面に表示されます。

《最小》　《最大》

メモ

入力スキップ設定について

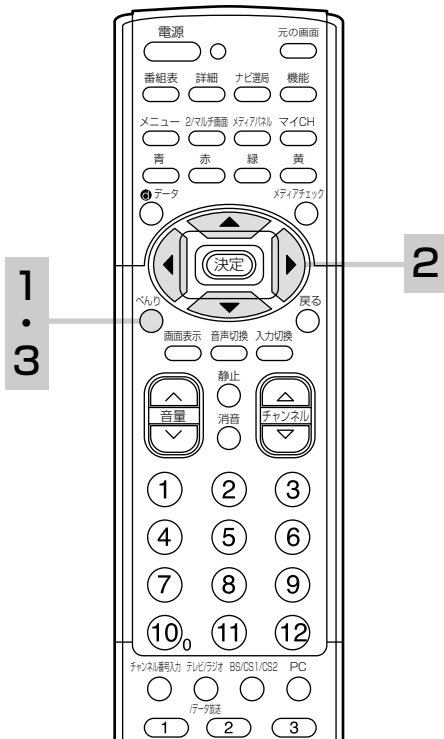
ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したとき飛越し（スキップ）させることができます。68

チャンネルアップダウン選局について

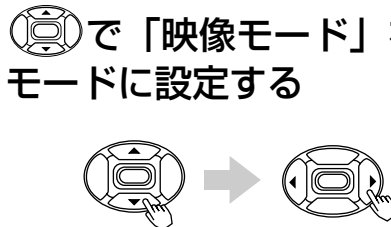
空きチャンネルの飛び越し選局の設定をすると、空きチャンネルを飛び越して放送されているチャンネルを早く選局することができます。

●テレビ放送のとき 146
●BS・CSデジタル放送のとき 158

設置場所や映像ソフトに合わせて「スーパー」、「ナチュラル」、「クリエイト」の3つからお好みの映像を選ぶことができます。

●映像の自動調整モードはテレビ放送、BS・CSデジタル放送、ビデオ入力の時にご使用できます。

映像モードの選びかた

1 べんりボタンを押す

2 で「映像モード」を選び、でお好みのモードに設定する

モードは下図のように切り換わります。

スーパー ←→ ナチュラル ←→ クリエイト

3 設定が終了したらべんりボタンを2回を押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

●映像モードは、メニューの「映像設定」画面で選ぶこともできます。45

●PC入力をご覧になっているときは、映像モードの切り換えはできません。

各機能について

スーパー

●鮮明でコントラストのある画像に調整します。

●明るい部屋で、メリハリのある画像を楽しむときに適したモードです。

クリエイト

●黒補正、LTI、CTIなど、お好みに合わせてより細かな設定ができます。46 47

●お買い上げ時は、映画館のスクリーンを見るような感覚で映画を楽しむときや、電球色などの落ちついた照明を採用したリビングなどでの長時間視聴に適した設定となっています。

ナチュラル

●ご家庭で通常のテレビ番組、ビデオの再生などを楽しむときに適したモードです。

●お買い上げ時は、映像を白つぶれのない自然な明るさに自動調整するオートコントラスト機能が動作します（「コントラスト」46 オート）。

メ モ

映像モードについて

●映像モードはテレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。45

●各映像モードについて、明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は、お好みの画像に設定できます。

●ご家庭でご覧になる場合は、映像を自然な明るさに自動調整する「ナチュラル」をお勧めします。

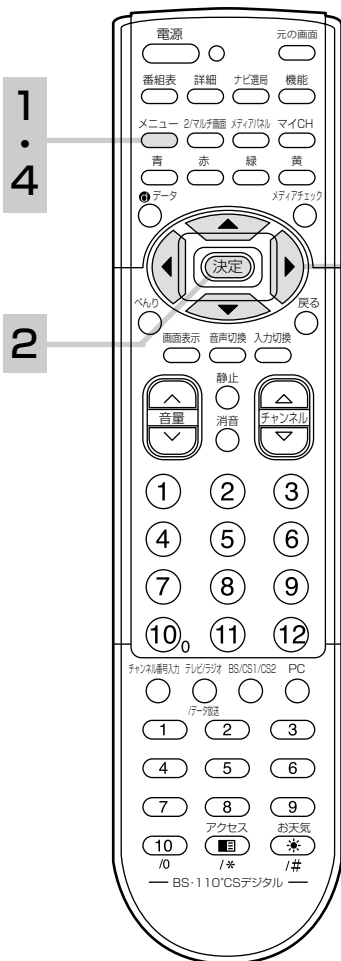
映像モードごとにお好みに合わせて明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度の設定ができます。

●PC入力時の映像設定は 180 をご覧ください。

明るさ、黒レベルなどの設定

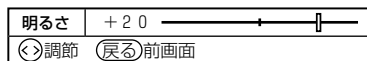
1 メニューボタンを押す

メニュー画面が現れます。

2 で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で設定したい項目を選び、 で調節する

（例）明るさを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

明るさ ＋２０
調節 戻る前画面

映像設定 項目	◀	▶	設定のポイント
映像モード	スーパー⟷ナチュラル⟷クリエイト		設置場所や映像ソースに合わせて設定します。
明るさ	暗くなる	明るくなる	周囲の明るさに合わせて、見やすく
黒レベル	暗い部分がより暗くなる	暗い部分が明るめになる	黒髪の濃さに合わせて、見やすく
色の濃さ	色が淡くなる	色が濃くなる	お好みの濃さに（ややうす目の方が自然です。）
色あい	赤っぽくなる	緑っぽくなる	肌色がきれいに見えるように
画質	やわらかな画質になる	くっきりとした画質になる	ふだんは中央で柔らかい感じにしたいときには一側へ
色温度	オート⟷低⟷中⟷高		「オート」は入力モードに応じて色温度が切り換ります。室内照明などによる影響から色調を補正するときは「高」「中」「低」のいずれかに設定します。
標準	――		決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●映像モードは、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1～ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。
●明るさ、黒レベル、色の濃さ、色あい、画質、色温度は映像モードごとに設定することができます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

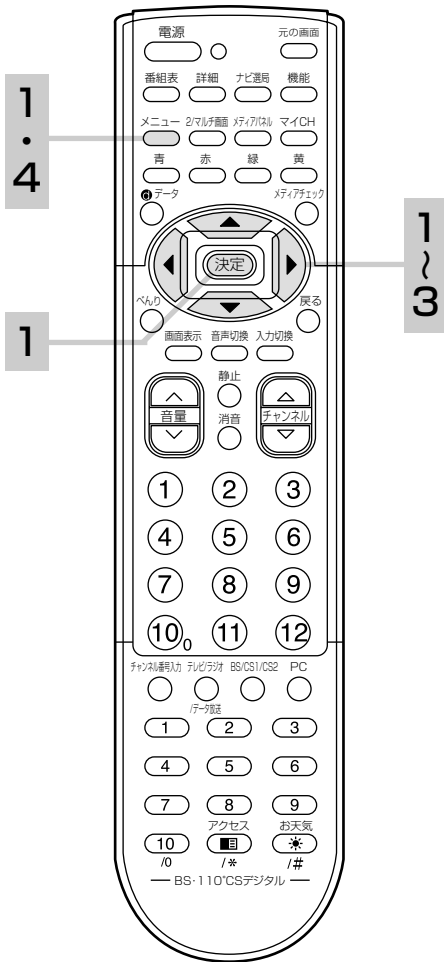
●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●設定後は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

お知らせ

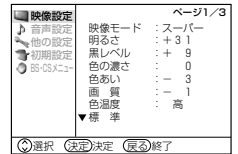
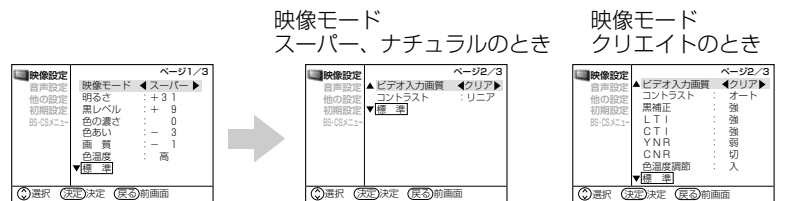
ビデオ、ビデオディスクプレーヤー、テレビゲーム機器およびパーソナルコンピュータ等の静止した画像を長時間画面に表示しますとパネルに映像が焼き付く現象が出る場合があります。また、短時間でも静止した映像を表示するときは明るさおよび黒レベルの調節で画面を極力暗くしてご使用ください。焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する 64 、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

ビデオ入力画質、コントラストなどの設定

お好みに合わせてビデオ入力画質、コントラストの設定ができます。さらに映像モードで「クリエイト」を選んでいるときは、黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR、色温度調節の設定ができます。

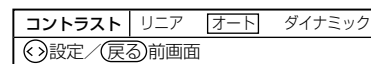
●この映像設定は、PC入力時ご使用になれません。

1 メニューボタンを押し、◎で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 ◎で2ページ目の「映像設定」を表示させる

映像モード スーパー、ナチュラルのとき　　映像モード クリエイトのとき

3 ◎で設定したい項目を選び、◎で選択する

（例）コントラストを設定する場合

◎で設定します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

コントラスト	リニア	オート	ダイナミック
◎設定／戻る前画面			

映像設定 項目		設定のポイント
ビデオ入力画質	クリア↔標準	ビデオ、DVDなどで映像がギラギラしたり、ノイズが目立つ場合は「クリア」にします。通常は「標準」でご使用ください。
コントラスト	リニア↔オート↔ダイナミック	「リニア」：映像の階調をできるだけ忠実に再現します。 「オート」：映像の明るい部分を検知して白つぶれのない自然な明るさに自動調節します。 「ダイナミック」：映像の階調にメリハリを付けて、コントラスト感を向上させます。
黒補正	切↔弱↔中↔強	黒レベル補正を調節できます。
LTI	切↔弱↔中↔強	輝度信号の鮮鋭度を調節できます。
CTI	切↔弱↔中↔強	色信号の鮮鋭度を調節できます。
YNR	切↔弱↔強	輝度信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
CNR	切↔弱↔強	色信号のノイズリダクションです。強くするとノイズが目立たなくなります。
色温度調節	切↔入	色温度調節機能の入／切を選択します。「入」のときはお好みに合わせて色温度を調節できます。47
標準	—	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

●テレビ放送や、BS・CSデジタル放送、ビデオ1〜ビデオ6の各入力モードごとに設定することができます。
●黒補正、LTI、CTI、YNR、CNR、色温度調節は、映像モードの設定が「クリエイト」のときに設定できます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

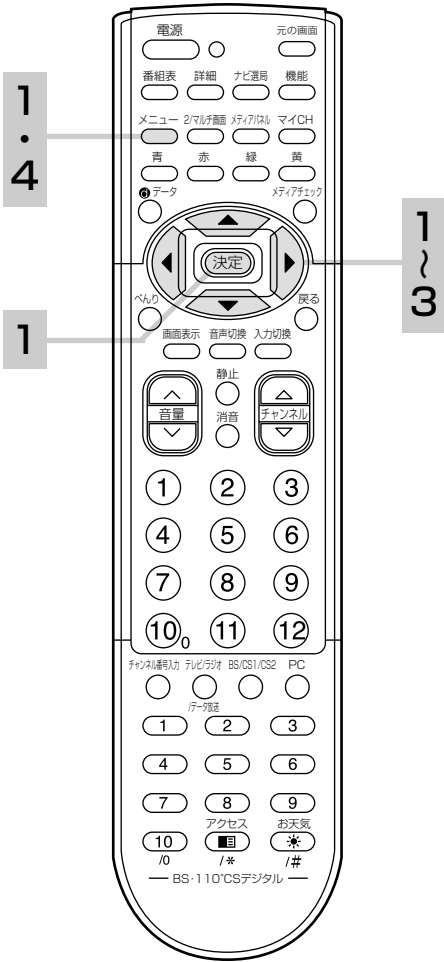
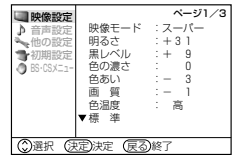
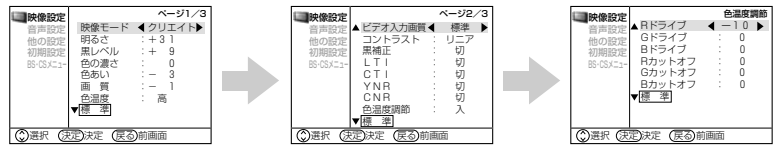
●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

メモ

ビデオ入力画質について
テレビ放送やBS・CSデジタル放送をご覧になっているときは設定できません。

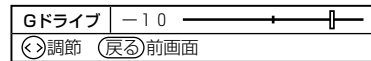
色温度の調節

映像モードで「クリエイト」を選んで色温度調節「入」46 のときは、お好みに合わせて色温度を調節することができます。

●この色温度調節はPC入力時ご使用になれません。

1 メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で「色温度調節」画面を表示させる

●色温度調節画面は、2ページ目と3ページ目の間に表示されます。

3 で設定したい項目を選び、で選択する

（例）Rドライブを調節する場合

で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

映像設定 項目				調節のポイント
Rドライブ	明るい部分の赤がおさえられる	−63↔0	調節しない	明るい部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gドライブ	明るい部分の緑がおさえられる	−63↔0	調節しない	
Bドライブ	明るい部分の青がおさえられる	−63↔0	調節しない	
Rカットオフ	暗い部分の赤がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が赤っぽくなる	暗い部分の色調をお好みに合わせて調節します。
Gカットオフ	暗い部分の緑がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が緑っぽくなる	
Bカットオフ	暗い部分の青がおさえられる	−31↔ +31	暗い部分が青っぽくなる	
標準		——		決定ボタンを押すと、調節量が0に戻ります。

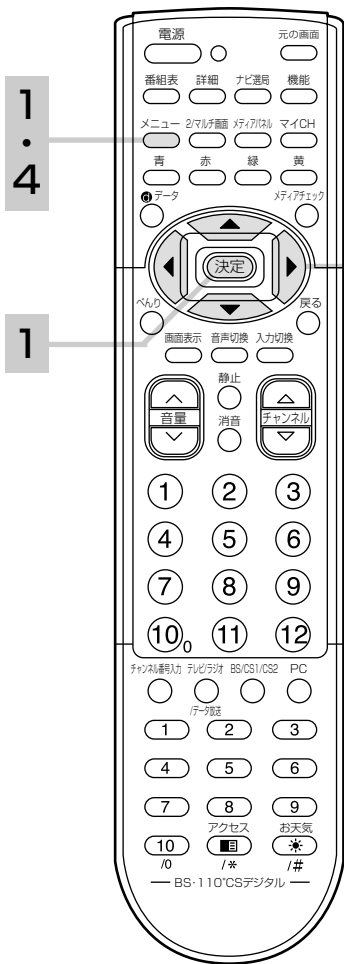
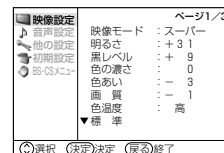
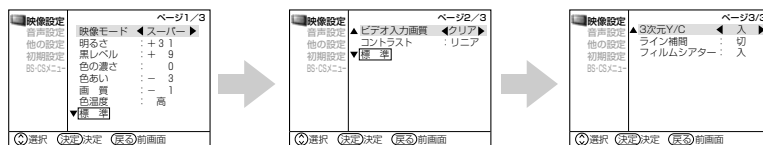
●色温度調節は 45 で選んだ色温度「高、中、低」のモード毎に調節できます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●設定後は、チャンネル切換や電源を切っても記憶されます。

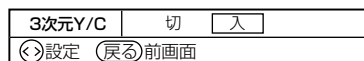
3次元Y/C、ライン補間などの設定

ご覧になる映像ソースに合わせて、3次元Y/C、ライン補間、フィルムシアターの設定ができます。

●この設定をPC入力時に使用することはできません。

1 メニューボタンを押し、で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で3ページ目の「映像設定」を表示させる

●映像モードが「クリエイト」で色温度調節「入」のとき 46 、3ページ目の映像設定は、色温度調節画面の次に表示されます。

3 で設定したい項目を選び、で選択する

(例)3次元Y/Cを設定する場合

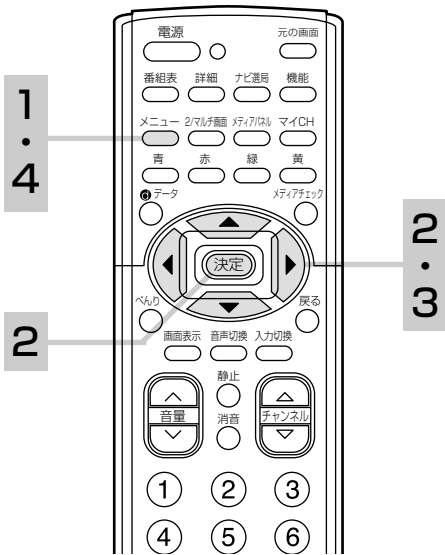
で調節します。戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

3次元Y/C	切 入
設定 戻る前画面	

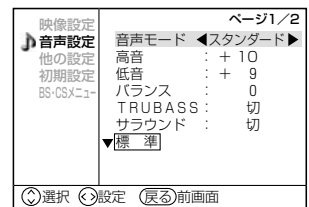
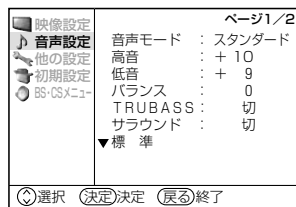
映像設定 項目		調節のポイント
3次元Y/C	切↔入	ビデオなどの映像が自然に見えないときは「切」にします。通常は「入」でご使用ください。
ライン補間	切↔入	「入」:立体ビデオディスクをご使用の場合に設定します。一度電源を切ると「切」になります。 「切」:通常
フィルムシアター	切↔入	「入」:映画フィルム素材を自動的に検知して、元のフィルム映像に忠実に再現します。通常は「入」でご使用ください。 「切」:映像の切替り時が自然に見えないときは「切」にします。

●映像設定は、テレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ1〜ビデオ6の各入力モード毎に設定することができます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。
●3次元Y/C、フィルムシアターの設定は、チャンネル切り換えや電源を切っても記憶されます。

TruBassは人間の聴覚が2つの音の差成分の音（周波数）を強く認識することを利用し、実際には再生されていない周波数の低音（差成分）が聞こえているように体験できる再生システムです。
また、音声モード、高音、低音、バランス、サラウンドなどの設定ができます。

1 メニューボタンを押す

2 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で設定したい項目を選び、で選択、または調節する

音声設定 項 目		設定のポイント
音声モード	スタンダード ⟷ ミュージック └ スポーツ ⟷ シアター ┘	映像ソースに合わせて設定します。
高　音	高音がおさえられる⟷高音が強調される	高音、低音、バランスはそれぞれ－10〜＋10までの設定ができます。 お好みに合わせて設定してください。 一度設定すると、そのまま記憶されます。
低　音	低音がおさえられる⟷低音が強調される	
バランス	左スピーカーの音が強調される（－） ⟷ 右スピーカーの音が強調される（＋）	
TRUBASS（TruBass）	切⟷弱⟷中⟷強	低音を強調する効果量を調節できます。 お好みの設定にします。
サラウンド	切 ⟷ 入	「入」にすると、臨場感のある音声を再生することができます。
標　準	――	決定ボタンを押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

音声設定の効果について

●TRUBASS（TruBass）
TruBassの効果を切換えることにより、映画の臨場感、音楽のハーモニー感など好みの設定を選択することができます。

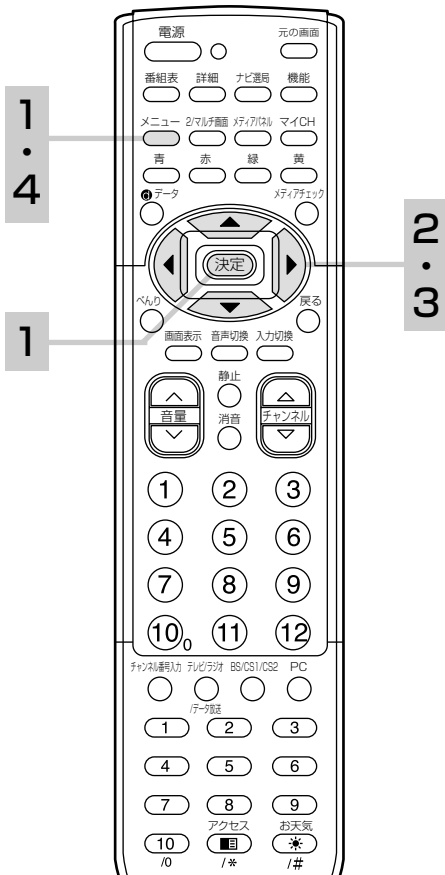
●サラウンド：入
臨場感のある音声を楽しむことができます。
BS・CSデジタル放送、ビデオ入力、PC入力のモノラル音声のときや、音声切換を「モノラル」の設定にしているとき 42 は、サラウンドの効果はありません。ステレオ放送で雑音が多いとき、サラウンドを「入」にすると雑音が強調されて聞こえる場合があります。このようなときには音声設定で高音を－側にするか、またはサラウンドを「切」にしてください。
BS・CSデジタル放送は、TruSurround出力の設定 111 が優先されます。

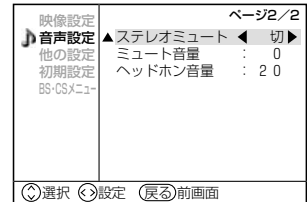
音声モードのお買い上げ時の設定について
- ●ミュージックは高音、低音を強調しており、音楽放送に適しています。
- ●シアターは中音を強調した設定になっており、映画放送に適しています。
- ●スポーツは高音を強調した設定になっており、スポーツ番組に適しています。

音声モードについて
各音声モードについて、高音、低音、バランス、TRUBASS、サラウンドはお好みの音声に設定できます。

お知らせ

- ●音声モードおよびTRUBASS（TruBass）とサラウンドは、べんり機能で設定することもできます。51
- ●音量が大きいときにTrubassにより低音が歪む場合があります。その場合にはTrubassの効果を弱めてください。
- ●サブウーハーをご使用する場合にはTRUBASS（TruBass）の設定を「切」にすることを推奨致します。

ステレオミュート（コマーシャル音などを小さくする）、ミュート音量（消音時の音量調節）、ヘッドホン音量などの設定ができます。

1 メニューボタンを押し、 で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で2ページ目の「音声設定」を表示させる

3 で設定したい項目を選び、 で選択、または調節する

音声設定 項目		設定のポイント
ステレオミュート	切←→入	「入」にすると、テレビ放送のコマーシャル音（ステレオ放送）などを小さくすることができます。
ミュート音量	音量が小さくなる←→音量が大きくなる 最小〔0〕 最大はミュート前の音量	消音ボタンを押したときの音量が変わります。 40
ヘッドホン音量	音量が小さくなる←→音量が大きくなる 最小〔0〕 最大〔63〕	お好みの音量に合わせます。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

メ モ

音声設定の効果について

●ステレオミュート：入

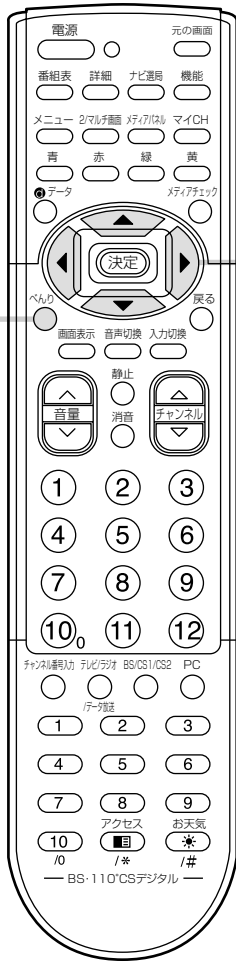
テレビ放送のドラマや映画番組の途中で入るコマーシャル（ステレオの場合）音を小さくすることができます。ただし、ステレオ放送の番組の場合、番組の音も小さくなります。

●ミュート音量

消音ボタンを押したときに、完全に音を消さずに小さな音を出しておくことができます。

●ヘッドホン音量

ヘッドホンの音量を調節できます。
ヘッドホンを差し込んでもスピーカーの音は消えません。
スピーカーからの音を小さくしたいときは、音量ボタンで調節してください。

音声モードとTRUBASS(TruBass)、サラウンドは、べんり機能でも設定することができます。

1

べんりボタンを押す

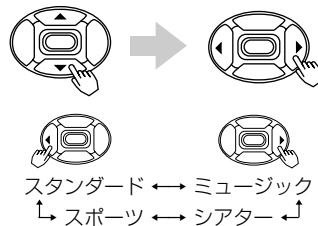
PC入力をご覧になっているときは、べんりボタンを2回押してください。

2

で「音声モード」を選び、　でお好みのモードに設定する

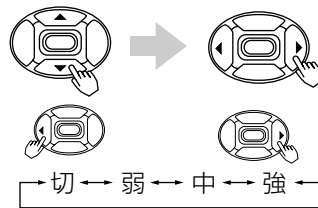
べんり		ページ1／2
ワイド切換	:	スムーズ
画面位置	:	0
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	◀スタンダード▶
◇選択 ◇設定		戻る終了

スタンダード ⟷ ミュージック
└→ スポーツ ⟷ シアター ←┘

3

で2ページ目の「べんり」画面を表示させる

べんり		ページ1／2
ワイド切換	:	◀ スムーズ ▶
画面位置	:	0
映像モード	:	スーパー
▼音声モード	:	スタンダード
◇選択 ◇設定		戻る終了

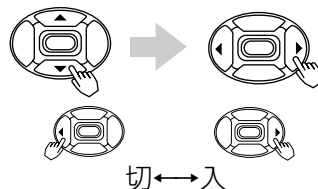
べんり		ページ2／2
▲TRUBASS	◀	切 ▶
サラウンド	:	切
GRT	:	入1
オフタイマー	:	切
◇選択 ◇設定		戻る前画面

4

で「TRUBASS」を選び、　でお好みの設定にする

べんり		ページ2／2
▲TRUBASS	◀	強 ▶
サラウンド	:	切
GRT	:	入1
オフタイマー	:	切
◇選択 ◇設定		戻る終了

┌切 ←→ 弱 ←→ 中 ←→ 強 ←┐

5

で「サラウンド」を選び、　でお好みの設定にする

べんり		ページ2／2
▲TRUBASS	:	強
サラウンド	◀	入 ▶
GRT	:	入1
オフタイマー	:	切
◇選択 ◇設定		戻る終了

切 ⟷ 入

6

設定が終了したらべんりボタンを2回を押す

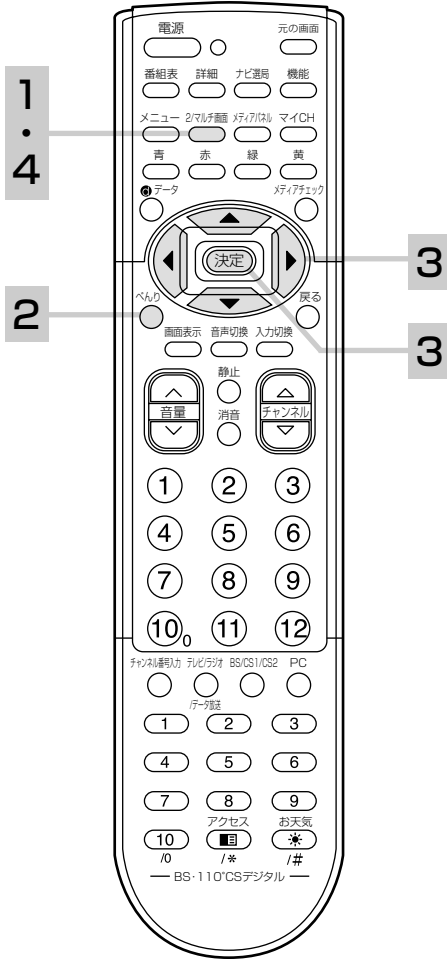
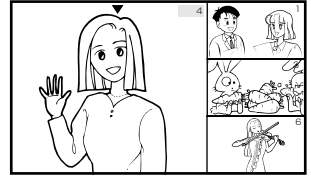
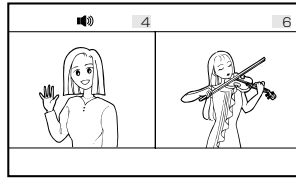
●元の画面ボタンを押しても設定画面が消えます。

気になる裏番組のチェックや何かおもしろい番組はないかといったときに、簡単な操作で番組の検索をすることができます。

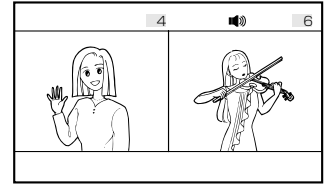
2／マルチ画面モードについて

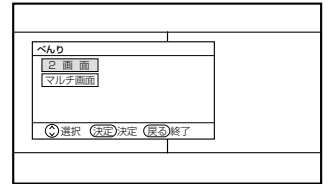
2／マルチ画面モードには2画面モードとマルチ画面モードの2種類があります。

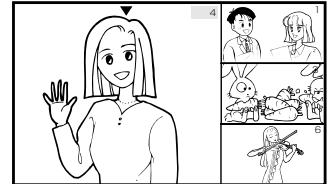
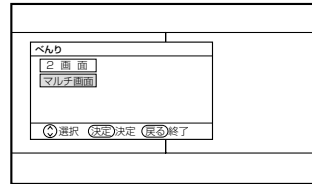
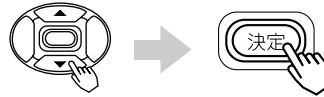
2画面モード：
同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利なモードです。53

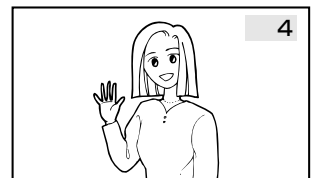
マルチ画面モード：
裏番組のチェックに便利なモードです。
よくご覧になる番組をあらかじめ設定しておきます。55

2／マルチ画面モードの選びかた

1 2／マルチ画面ボタンを押す

最後に見ていたモードが表示されます。
お買い上げ時は、2画面モードが表示されます。

2 べんりボタンを押す

2／マルチ画面モードの選択画面が表示されます。

3 でマルチ画面モードを選び、決定ボタンを押す

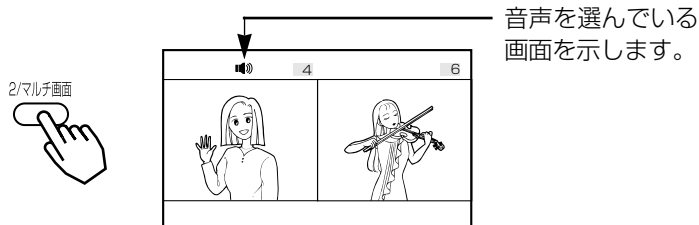
2画面またはマルチ画面のうち表示させたいモードを選びます。
決定ボタンを押すと、選択画面が消えてマルチ画面モードに切り換わります。

4 2／マルチ画面ボタンを押す

マルチ画面が終了します。

- 2画面のときは、1回押すと拡大表示になります。2画面を終了するときは、さらにもう1回押してください。
- 2／マルチ画面モードは、リモコンの戻るボタンで終了することもできます。

2画面を楽しみたいとき

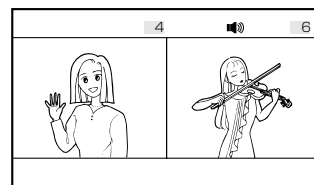
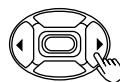
同時に2つの番組をお楽しみになりたいときなどに便利な機能です。

1 2／マルチ画面ボタンを押す

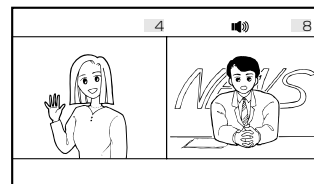
音声を選んでいる画面を示します。

- 2画面が表示されないときは、べんりボタンを押して2画面を選んでください。52
- 右画面と左画面は、同じチャンネル、または同じビデオモードは選べません。
- BS・CSチャンネルやi.LINK端子に接続したD-VHS画面は、同時に2画面で見ることはできません。
- PC入力をご覧になっているとき、2/マルチ画面ボタンを押すと、PC画面内にテレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ入力を子画面表示することができます。2画面をご覧になっているときは、PC入力を選ぶことはできません。183

2 画面切り換え

で左画面と右画面を切り換える

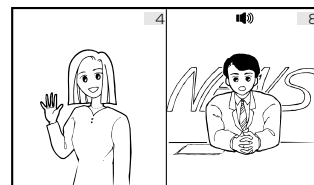
表示が選ばれた画面を示します。

3 チャンネル切り換え

でチャンネルを切り換える

が表示している画面のチャンネルが切り換えられます。

- 左画面を選んでいる場合も同様に、チャンネルを切り換えることができます。
- チャンネルボタンでも選べます。
- ビデオ1～ビデオ6に切り換えるときは、入力切換ボタンで切り換えてください。

4 2画面の拡大

2／マルチ画面ボタンを押す

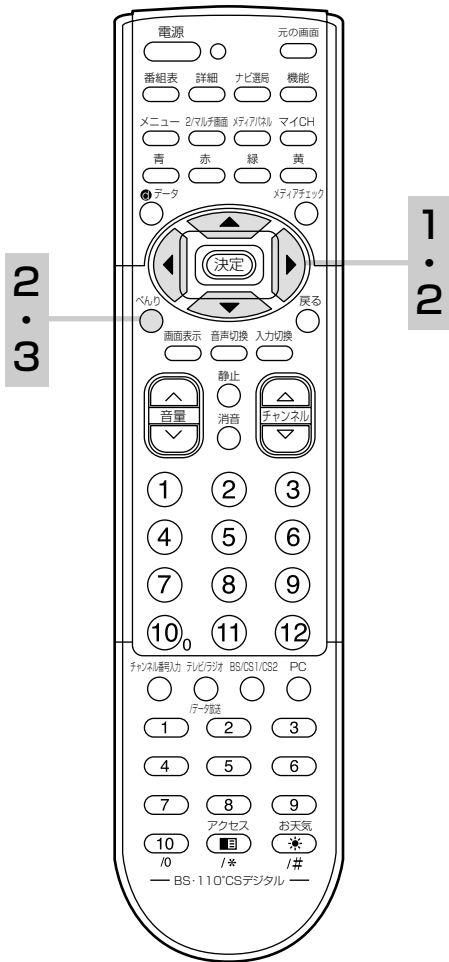
画面が大きくなります。

- 2、3 と同様に画面切り換え、チャンネル切り換えができます。

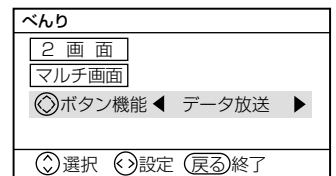
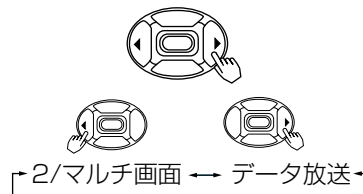
5 もう一度2／マルチ画面ボタンを押すと表示の画面が1画面となって2画面を終了します

2/マルチ画面

- リモコンの戻るボタンを押して、2画面モードを終了することもできます。

マルチ画面を楽しみたいとき（つづき）

2画面時にBS・CSデータ放送の画面を操作するには

1 でBS・CSデータ放送の画面を選択する

2 べんりボタンを押し、で「ボタン機能」を選び、で「データ放送」を選択する

3 設定が終了したらべんりボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

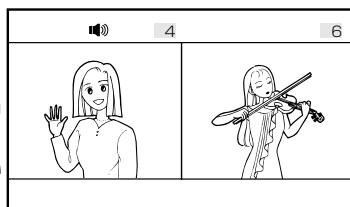
4 BS・CSデータ放送をみる

BS・CSデジタル放送の画面操作のしかたは 107 をご覧ください。

5 2画面の操作に戻すときは、2 で「2/マルチ画面」を選択します。

メ モ

2画面について

2画面のときの音声出力、モニター出力は、下記のようになっています。

	選んでいる画面	
	左画面	右画面
スピーカー	左画面の音声	右画面の音声
ヘッドホン	右画面の音声	右画面の音声
モニター出力	左画面の映像、音声	右画面の映像、音声

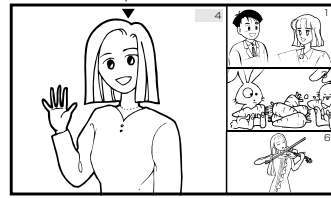
2画面時のモニター出力について

●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。
モニター出力端子からは選んでいる画面の映像と音声が出力されます。
BS・CSch固定「入」のとき（録画予約を実行しているとき）は、BS・CSデジタル放送の映像と音声が出力されます。

●ビデオ4，5，6入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。

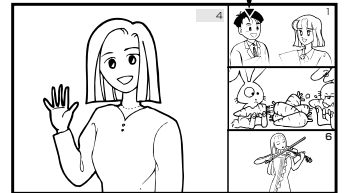
●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力（ビデオ1）」を「する」に設定してください。67

マルチ画面を楽しみたいとき

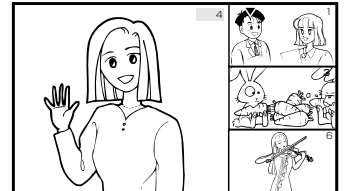
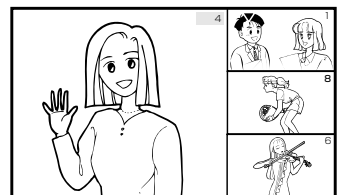
1 2／マルチ画面ボタンを押す

●マルチ画面が表示されないときは、べんりボタンを押してマルチ画面を選んでください。52
●PC入力をご覧になっているとき、2／マルチ画面ボタンを押すと、PC画面内にテレビ放送やBS・CSデジタル放送、ビデオ入力を子画面表示することができます。183
●マルチ画面をご覧になっているときはPC入力を選択できません。

2 画面切り換え

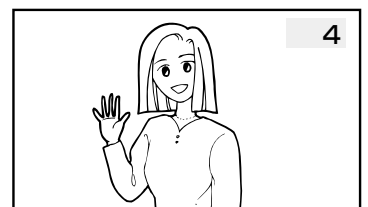
▼表示が選んでいる画面を示します。

選んでいる画面を示します。

3 チャンネル切り換え

で子画面を選ぶ

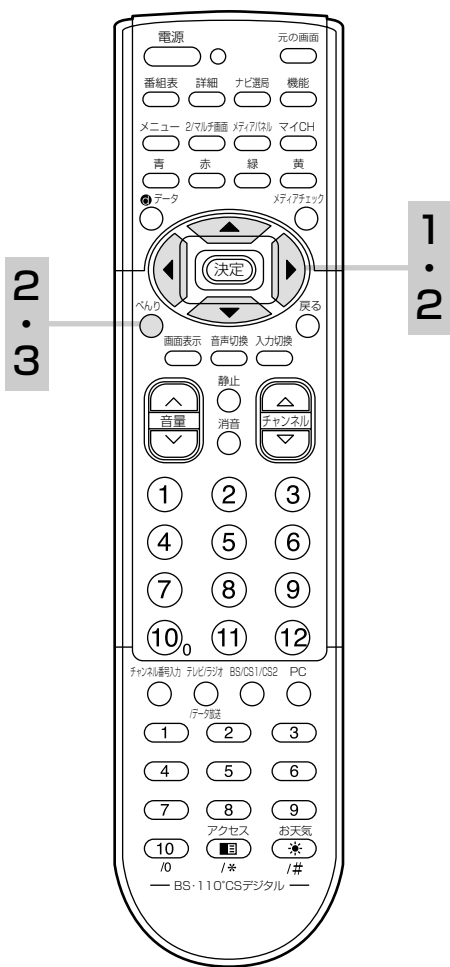
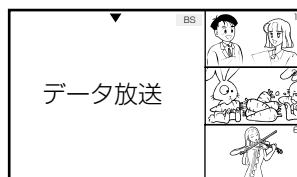
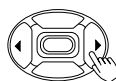
選んでいる子画面の表示色が緑色になります。

4 チャンネルボタンで選局する

●入力切換ボタンでビデオモードを選ぶこともできます。
①子画面を選択したときは、でお好みの子画面を選ぶと、選んだ画面（表示色が緑色）が動画で表示されます。
他の子画面は、静止画で表示されます。
何も操作しないときは、自動的に番組内容を更新します。
②決定ボタンを押すと、選んでいた子画面を選択して4画面を終了します。
●操作画面が子画面のときは、BS・CSデジタル放送は選局できません。
●操作画面が親画面のときは、、チャンネルボタンまたは入力切換ボタンで切り換えることができます。また、入力切換ボタンでコンポーネント入力を選択することもできます。

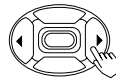
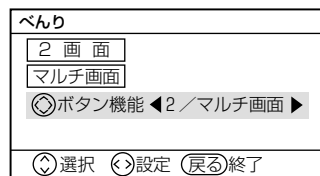
5 もう一度2／マルチ画面ボタンを押すと終了する

リモコンの戻るボタンを押して、
マルチ画面を終了することもできます。

お知らせ

マルチ画面時の画面切り換えについて
●マルチ画面をご覧になっているとき、PC入力を選択することはできません。
●子画面は、BS・CSデジタル放送およびビデオ4～6入力を選択することはできません。

マルチ画面時の音声についてのご注意
マルチ画面時は、スピーカー、ヘッドホン共に親画面の音声が出力されます。子画面の音声は出力されません。

マルチ画面時にBS・CSデータ放送の画面を操作するには

1 でBS・CSデータ放送の画面を選択する

2 べんりボタンを押し、で「ボタン機能」を選び、で「データ放送」を選択する

3 設定が終了したらべんりボタンを押す

戻るボタンを押しても設定画面が消えます。

4 BS・CSデジタル放送をみる

BS・CSデジタル放送の画面操作のしかたは 107 をご覧ください。

5 マルチ画面の操作に戻すときは
2 で「2/マルチ画面」を選択します。

メ モ

マルチ画面のモニター出力について

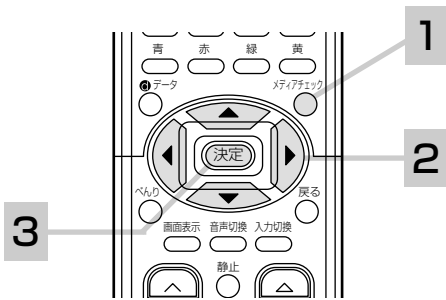
●モニター出力端子からは、マルチ画面の映像は出力されません。モニター出力端子からは親画面の映像と音声が出力されます。BS・CSch固定「入」のとき(録画予約を実行しているとき)は、BS・CSデジタル放送の映像と音声が出力されます。

●ビデオ4〜ビデオ6入力端子に入力されたコンポーネント映像と音声はモニター出力端子からは出力されません。

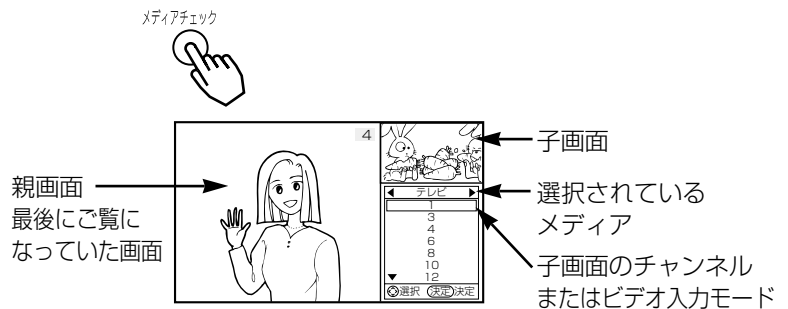
●ビデオ1入力の映像および音声をモニター出力するときは、メニューの「初期設定」「外部機器接続設定」の「モニター出力(ビデオ1)」を「する」に設定してください。67

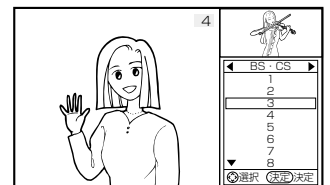
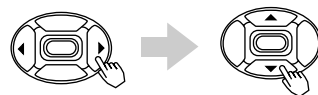
チャンネル合わせでチャンネル設定を変更したいときは

引越しなどにより、チャンネル合わせ(地域番号)で地域番号を変更したり、受信設定でCHボタンの設定を10キー(CATV)に変更したときは、マルチ画面のチャンネルが自動的に更新されます。必要に応じて、もう一度設定してください。

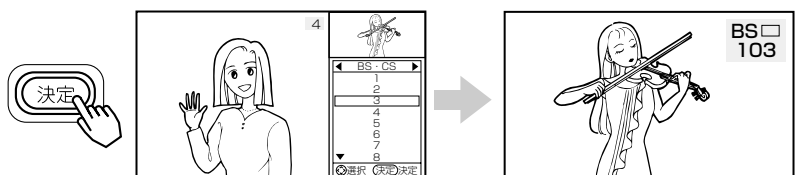
テレビ（地上波）放送、BS・CSデジタル放送、外部機器からのビデオ入力映像をメディアの違いを気にすることなく、気軽に画面で選ぶことができます。

メ モ

- ●メディア「テレビ」は、空きチャンネルを表示しないようにできます。（CHスキップ設定で「スキップする」に設定した場合 146 ）
- ●メディア「BS・CS」は、リモコンのBS・CSチャンネルボタン（1～10、アクセス（＊）、お天気（#））の番号を表示したものです（チャンネル番号ではありません）。
- ●リモコンのBS・CSチャンネルボタンは、お買い上げ時 76 のBSデジタル放送が設定されています。
  メディア「BS・CS」で子画面に表示されるBS・CSデジタル放送を変更したいときは、BS・CSチャンネルの設定（ワンタッチ選局を設定する）157 にしたがって設定しなおしてください。
- ●メディア「外部機器」は、使用しない入力を表示しないようにできます。（メディア操作設定で「スキップする」に設定した場合 69 ）
- ●CHスキップ設定 146 でテレビ放送のすべてのチャンネルが「スキップする」設定のときは、メディアチェック画面は操作できません。
- ●メディア操作設定 69 で、すべての入力が「スキップする」に設定されている場合は、メディア「外部機器」は選択できません。
- ●親画面でBS・CSチャンネルまたはi.LINK接続によるD-VHS入力をご覧になっているときは、子画面でメディア「BS・CS」は選択できません。
- ●BS・CSch固定「入」のとき（録画予約が実行中のとき）は、メディア「BS・CS」は選択できません。
- ●メディア「外部機器」は、i.LINK接続によるD-VHS入力およびPC入力は表示できません。

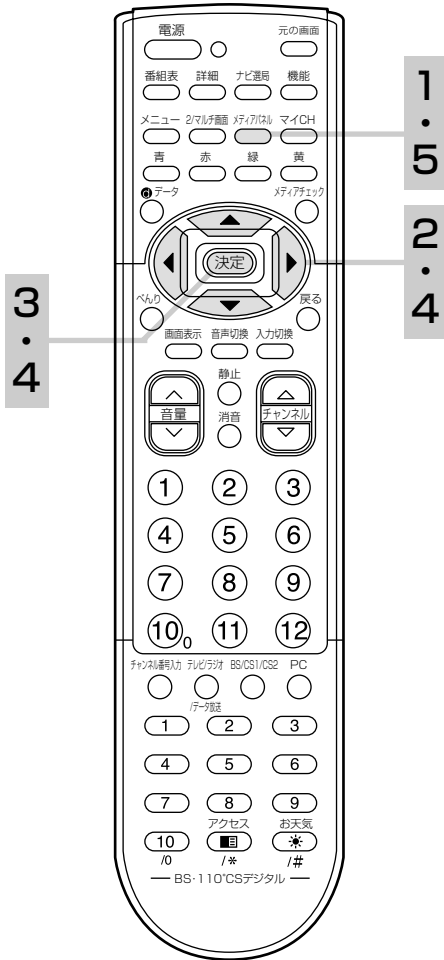
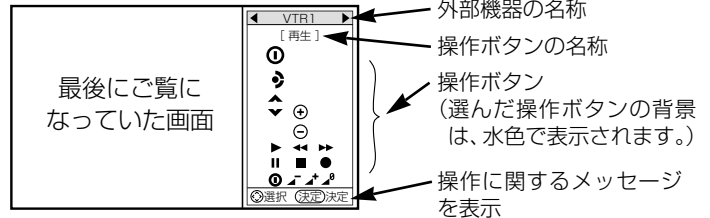
1 メディアチェックボタンを押す

- ●BS・CSチャンネルおよびi.LINK接続によるD-VHS入力は、同時に2画面で見ることはできません。
- ●PC入力をご覧になっているときは、メディアチェック画面にすることはできません。またメディアチェック画面のときにPC入力を選ぶことはできません。

2 でメディア（テレビ放送、BS・CSデジタル放送、外部機器）を選択し、 でチャンネルまたはビデオ入力を選ぶ

- ●メディアはテレビが最初に選択されます。
- ●メディアを切り換えたときは、最上段のチャンネルまたはビデオ入力モードが選択されます。
- ●「▼」の表示があるときは、 を押すと次のページが表示されます。
- ●「▲」の表示があるときは、 を押すと前のページが表示されます。
- ●親画面はチャンネルまたは入力切換ボタンで選ぶことができます。

3 決定ボタンを押す

子画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードが選択され、メディアチェック画面を終了します。

- ●もう一度、メディアチェックボタンを押すか、または元の画面ボタンを押しても終了することができます。この場合は親画面で選んでいたチャンネルまたは入力モードのまま、メディアチェック画面を終了します。

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
操作できる外部機器とメーカーについては、70 をご覧ください。

メディアパネル画面の説明

操作ボタン一覧

⏻	：電源	▶	：再生	⊕	：チャンネルアップ
	：テープナビ（日立製VTRのみ）	❚❚	：一時停止	⊖	：チャンネルダウン
	：ナビ/メニュー	■	：停止		：衛星切換
▲▼◀▶	：カーソル	●	：録画	⓪~⑨	：チャンネル番号
○	：決定	◀◀	：巻戻し/早戻し	⏻	：アンプ電源（AVアンプ）
		▶▶	：早送り		：音量アップ（AVアンプ）
		⏮	：一つ前へスキップ		：音量ダウン（AVアンプ）
		⏭	：一つ先へスキップ		：消音（AVアンプ）

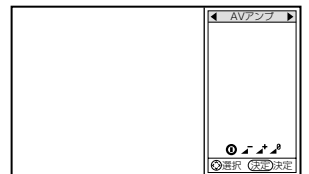
メディアパネル画面の使いかた

準備

①あらかじめ接続する外部機器をメディア操作設定画面で登録します。68
②メディア操作モードを設定する。63

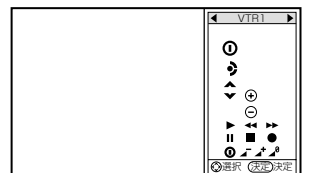
1 メディアパネルボタンを押す

メディアパネル画面が表示されます。

（テレビにAVアンプが設定されている場合）

●PC入力画面をご覧になっているときには操作できません。

2 で操作する外部機器を選ぶ

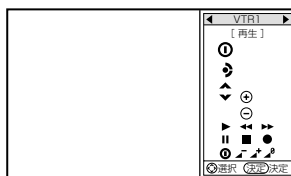
を押すごとに、下記の入力端子に接続した外部機器が選択できます。

テレビ ⟷ ビデオ1・・・ビデオ6

●メディア操作設定で各入力端子に設定した外部機器の名称が表示されます。右図はビデオ1入力端子に外部機器VTR1を設定したときの例です。
●テレビは、テレビ放送とBS・CSデジタル放送を意味します。
●入力スキップを設定したビデオ入力は選ぶことができません。
●メディアパネル画面の外部機器にPC入力を選ぶことはできません。

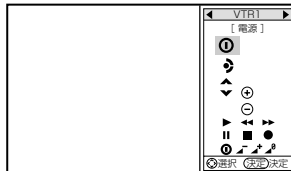
お知らせ

●メディアパネル機能をご使用になるにはメディア操作設定 68 で、ご使用になる外部機器とメーカーを設定してください。
●メディアパネル機能で操作できる外部機器とメーカーは 70 をご覧ください。
●BS・CSデジタル放送を予約録画実行中（BS・CSch固定が「入」）のときは、メディアパネル機能をご使用になれません。
●手順4で決定ボタンは長押ししないでください。リモコン送信機とメディアコントローラーからのリモコン信号が干渉しやすくなり、外部機器が正常に動作しにくくなることがあります。

3 決定ボタンを押す

操作する外部機器の映像をご覧になりたいときに押します。

●操作する外部機器が接続されたビデオ入力が選択されます。

4 を押し で操作ボタンを選び、決定ボタンを押す

を押すと、カーソルが操作ボタンに移ります。
決定ボタンを押すとメディアコントローラーのリモコン発光部から外部機器を制御する信号が送信されます。

5 メディアパネルボタンを押す

●メディアパネル画面が解除されます。
●チャンネルボタン、チャンネルアップボタン、入力切換ボタンを押すと、メディアパネル画面は解除されます。
●元の画面ボタンを押した場合もメディアパネル画面が解除されます。

メ モ

●入力端子「テレビ」で外部機器に「AVアンプ」を設定すると、入力端子「ビデオ1」〜「ビデオ6」でも共通で使用することができます。71
●操作ボタンのチャンネルアップダウン（⊕、⊖）、音量アップ/ダウン（◢⁺、◢⁻）は、決定ボタンを押す毎に1チャンネルまたは1ステップずつ変化します。
●操作ボタンの巻戻し（早戻し）/早送り（◀◀、▶▶）、スキップ（|◀◀、▶▶|）は、決定ボタンの長押しによる連続操作に対応していないため、外部機器付属のリモコン送信機と同じ操作ができないことがあります。
●選択された外部機器または操作ボタンは、チャンネルまたは入力の切り換えを行うと、外部機器は「テレビ」に戻ります。

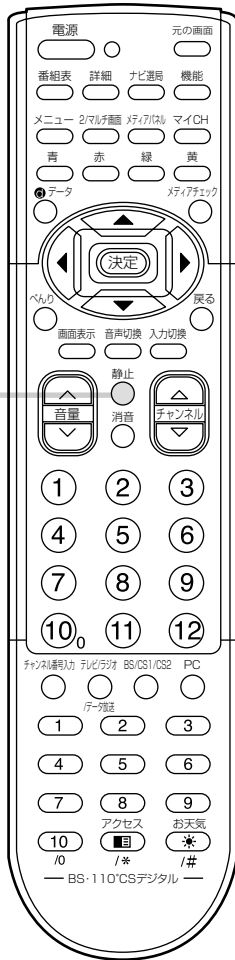
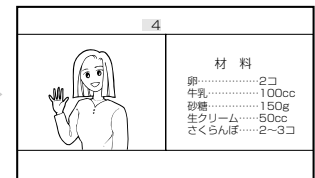
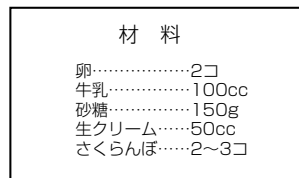
リモコンスルー機能で操作する

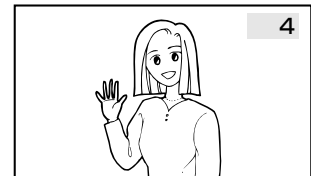
本機のモニター部とチューナー部に接続した外部機器を離れた場所に設置したときに、画面を見ながら外部機器を操作したいときに、外部機器付属のリモコン送信機を、本機のモニターのリモコン受信窓に向かって操作します。
本機能をご使用になるときは、「メディア操作」の設定を「2」に設定します。63

お知らせ

●ご使用の外部機器によっては、リモコンスルー機能で操作できないことがあります。ことようなときは、外部機器のリモコン受信窓に向かって操作してください。
●BS・CSデジタル放送を予約録画実行中（BS・CSch固定「入」）のときは、リモコンスルー機能をご使用になれません。
●本機のモニター部とチューナー部に接続した外部機器が近い位置に設置したときなどに、本機に向かって操作したリモコン信号がメディアコントローラーからのリモコン信号とが干渉して正常に動作しないことがあります。このようなときは、「メディア操作」の設定を「1」にして63、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。
●リモコンスルー機能は、モニターのリモコン受信窓でのみ動作します。チューナーのリモコン受信窓では動作しません。

テレビ画面を一時的に止めて見たいときに便利な機能です。

静止画にしたいとき

1 静止ボタンを押す

2 もう一度静止ボタンを押すと終了する

お知らせ

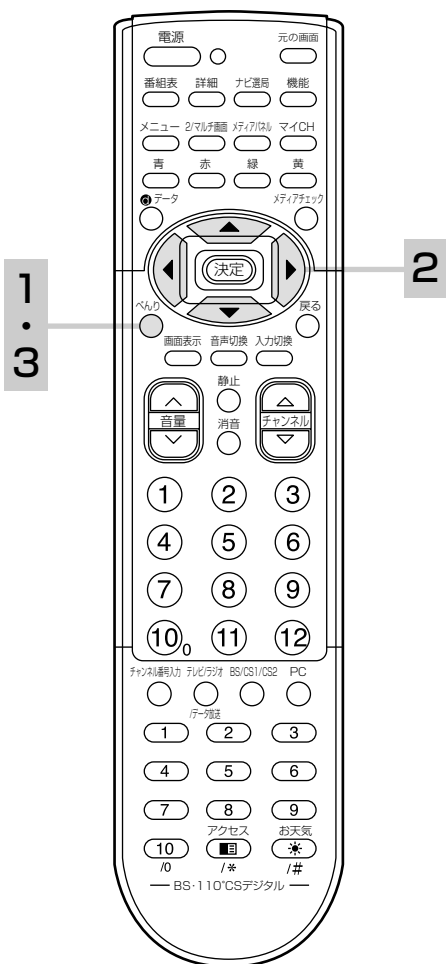
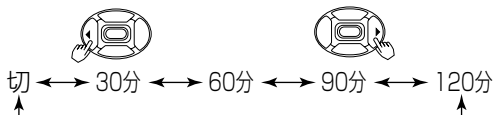
●PC入力をご覧になっているときは、静止画にすることはできません。
●2画面、4画面を表示中は、静止ボタンで静止画にすることはできません。
●静止画面で2/マルチ画面ボタンを押すと、静止画は解除されます。
●テレビ放送とBS・CSデジタル放送の静止画を表示しているときは、 やチャンネルボタンで左側の画面（動画）のチャンネルを選ぶことができます。ビデオ入力信号の静止画を表示しているときは、左側の画面（動画）を切り換えることはできません。
●コンポーネント入力信号の静止画は、次のような場合は解除されます。
・入力信号が切り換わったとき
（例えは525iから1125iに切り換わったときなど）
・コンポーネント入力端子に接続した機器の電源を切ったときなど

指定した時間が経つと、自動的に電源を切ることができます。
お休みのときなどにご利用ください。

1 べんりボタンを2回押す

2 (ボタン)で「オフタイマー」を選び、(ボタン)でお好みの時間を設定する

べんり		ページ2／2
▲TRUBASS	:	強
サラウンド	:	切
G R T	:	入1
オフタイマー	◀	切 ▶

(ボタン)選択 (ボタン)設定 戻る前画面

(ボタン)ボタンを押すごとに下図のように切り換わります。

●オフタイマーの設定時間は30分間隔で最大120分までです。
●時間を設定したときからタイマー動作が始まります。

3 設定が終了したらべんりボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

オフタイマーを確認・解除したいとき

① 1 の操作を行います。
　オフタイマーの残量時間が1分間隔で確認できます。
②オフタイマーを解除するときは、2 の操作で「切」に設定します。
③ 3 の操作で画面表示を消します。

4 電源が切れる

設定した時間になると電源が切れます。

お知らせ

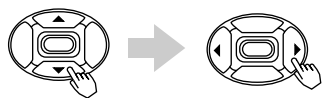
●電源を切るとオフタイマーは解除されます。
●オフタイマーは多少の誤差が生じることがあります。
●オフタイマー動作中に停電になりますと、停電が復帰しても、安全のためテレビはオフになります。

ワイドクリアビジョン放送の識別信号受信設定

ワイドクリアビジョン放送を受信したとき、自動的に最適画面サイズに換えることができます。

1 メニューボタンを押す

2 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「EDTVⅡ識別」を選び、で設定する

設定項目		設定のポイント
EDTVⅡ識別	する⟷しない	「する」： ワイドクリアビジョン放送のとき、画面サイズを自動的に切換えます。 「しない」： 電波受信状態などにより正しく動作しない場合は「しない」にします。

4 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

- ワイドクリアビジョン放送受信中に画面表示ボタンを押したとき、またはチャンネル切り換え、入力切り換えをしてワイドクリアビジョン放送を受信したときは ワイド が表示されます。
- ワイドクリアビジョン放送をビデオに録画し再生する場合や、電波受信状態（ゴースト、弱電波など）によっては、ワイドクリアビジョン放送識別がうまく動作しない場合があります。このような場合は「しない」に設定して、お好みのワイドモードに設定してください。34

メディア操作機能をご使用になるには

ビデオデッキやDVDプレーヤーなど、本機と接続したお手持ちの外部機器のリモコン操作を、本機のリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機のモニター部とチューナー部を離れた場所に設置したときなど、画面を見ながら操作したいときに便利です。
メディア操作機能を使用して外部機器を操作するには、あらかじめメディアコントローラーの接続と取り付け 130 が必要です。

メディア操作機能について

メディアパネル機能 58

お手持ちの外部機器の基本的な機能を、本機のリモコン送信機で本機のリモコン受信窓に向かって操作できます。
あらかじめ接続する外部機器をメディア操作設定画面で登録しておく必要があります。68

リモコンスルー機能 59

お手持ちの外部機器を外部機器付属のリモコンで本機のリモコン受信窓に向かって操作することができます。
本機のモニター部とチューナー部に接続した外部機器を離れた場所に設置したときなどに使用します。

メディア操作モードを切り換える

1 メニューボタンを押す

2 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「メディア操作」を選び、でお好みのモードを選ぶ

で次のようにモードが切り換わります。

「1」：メディアパネル機能のみご使用になれます。
「2」：メディアパネル機能とリモコンスルー機能が併用できます。
●本機のモニター部から離れたところにある外部機器を操作したいときは、「2」に設定します。
●お買い上げ時のメディア操作モードは、「1」が設定されています。

4 メニューボタンを押す

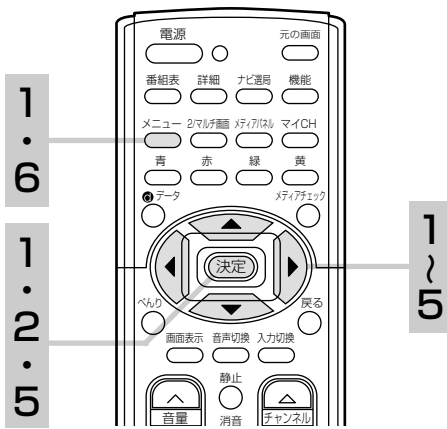
元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

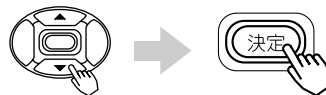
お知らせ

- ●メディア操作機能をご使用になるには、130 のメディアコントローラーの接続と取り付けが必要です。
- ●ご使用になる外部機器によっては、メディア操作機能を使って操作できないこともあります。このようなときは、ご使用の外部機器付属のリモコン送信機を外部機器のリモコン受信窓に向けて操作してください。
- ●BS・CSデジタル放送を予約録画実行中（BS・CSch固定が「入」）のときは、メディア操作機能をご使用になれません。
- ●リモコンスルー機能はモニターのリモコン受信窓でのみ動作します。チューナーのリモコン受信窓では動作しません。

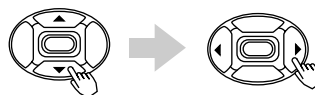
多機能の使いかた

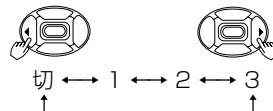
スクリーンセーバーをご使用になるには

BS・CSデータ放送、PC入力の時、ゲーム機など長時間同じ画像（動きの少ない画像）をご覧になる、または繰り返し表示させた場合、焼き付き現象が出る場合があります。この場合、このスクリーンセーバーをご使用になると低減することができます。

1 メニューボタンを押し、◎で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

2 ◎で「スクリーンセーバー」を選び、決定ボタンを押す

3 焼き付き現象が生じにくくする場合

焼き付き現象を生じにくくするために、画面を2画素ずつ移動させます。
動きの少ない画像（特にPC入力時）のときは「1」を選択してください。

◎で「画面移動」を選び、◎で設定する

◎で次のようにモードが切り換わります。

切 ⟷ 1 ⟷ 2 ⟷ 3

「切」：画面移動しない
「1」：20分おきに移動する
「2」：40分おきに移動する
「3」：60分おきに移動する

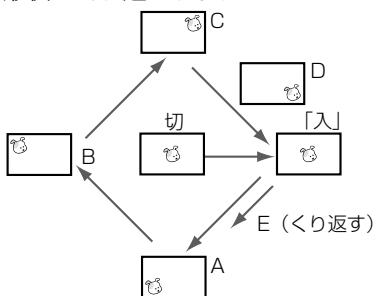
お買い上げ時は「1」に設定されています。

お知らせ

焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは、完全には消えません。

メモ

1.画面移動について

画面移動は1回の移動につき2画素ずつ移動します。移動する方向は「切」から「1」（又は「2」、「3」）を選択したときは右へ、順次選択した時間がたつごとに左下A→左上B→右上C→右下Dと移動し、ひし形状にくり返します。

2.背景色について

- ノーマルワイドの画面、2画面、PC入力画面の背景には、通常、映像部分との明るさの差が少ない「グレー」を選ぶことにより、焼き付きを低減します。背景色を「黒」にした画面でご覧になると背景以外の映像部分のみが焼き付いてしまうことがあります。背景色は極力「グレー」でお使いになることをおすすめします。
- ビスタサイズやシネスコサイズの映像のように、送り側の信号に付加された黒帯の明るさは変えられません。

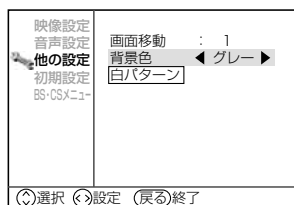
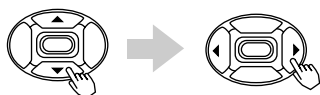
3.白パターンについて

焼き付き現象が生じた場合は、「白パターン」を選択して画面全体を白くします。この状態で10分間以上継続してください。まだ残っている場合は時間を延長してください。

4 ノーマルワイド時やPC入力時の焼き付きが生じにくくする場合

ノーマルワイドでご覧になるときの左右の背景（画像のない部分）や2画面の上下の背景、PC入力などをご覧になるときの背景の明るさを選択します。
お買い上げ時は「グレー」が選択されていて、設定しなおす必要はありません。

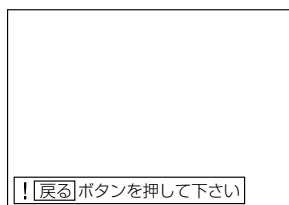
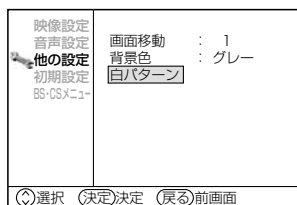
で「背景色」を選び、で設定する

映像設定
音声設定
他の設定
初期設定
BS･CSメニュー
画面移動　：　1
背景色　◀ グレー ▶
白パターン
選択　設定　戻る終了

で次のようにモードが切り換わります。

黒 ⟷ グレー

「黒」　：暗い部屋で映像を楽しむときなど
背景部分が明るく感じるときに選びます。この設定で長時間ご覧になると、映像部分のみが焼き付いてしまうことがあるのでご注意ください。
「グレー」：通常はこの設定でご使用ください。

5 焼き付き現象が生じた場合

で「白パターン」を選び、決定ボタンを押す

リモコンの戻るボタンを押すと前の画面に戻ります。

6 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

静止画（画面表示、放送局から送られる時刻表示など）や、パソコンやゲーム機などの固定映像を長時間または繰り返し表示させた場合、ノーマルワイドで長時間ご覧になった場合は、プラズマパネルが焼き付く場合があります。
焼き付きを避けるためには、下記をおすすめします。
①同じ絵柄を長時間または繰り返し表示させないようにする。
②スクリーンセーバーを使用する。
③ノーマルワイドでご使用の際には、背景色をグレーに設定する。
焼き付きが軽度のときは、白パターンを表示する、または動画を映すことにより、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

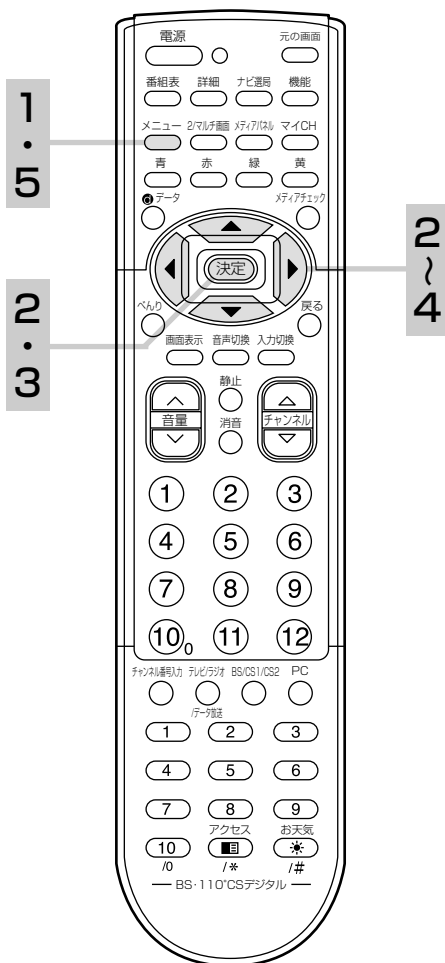
ご使用になる外部機器や接続方法に合わせて設定することができます。

モニター出力（ビデオ1） 67 ……ビデオ1入力端子に接続した映像および音声をモニター出力端子から出力したいときに設定します。

ゲームモード（ビデオ4） 67 ……チューナー前面のビデオ4入力端子に接続したテレビゲームの映像を検出して、自動的にテレビゲーム画面（ビデオ4）に切り換え、映像モードも自動的に選択することができます。

ビデオパワーセーブ設定 67 ……ビデオ入力信号がなくなった時に本機を省電力モードにする設定ができます。

メディア操作設定 68 ……メディアパネル 58 で操作するための、外部機器とメーカーを設定します。また入力切換ボタンを押したときに、空き入力端子を飛び越しする入力スキップ設定、画面表示ボタンを押したときのビデオ入力表示を設定することもできます。

コンポーネント設定 72 ……コンポーネント1（ビデオ4）～コンポーネント3（ビデオ6）に接続する機器を設定します。

モニター出力、ゲームモード、ビデオパワーセーブの設定

1 メニューボタンを押す

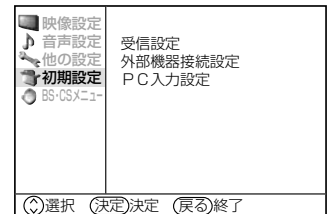
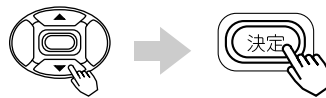
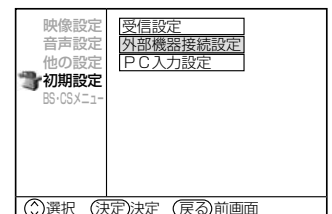
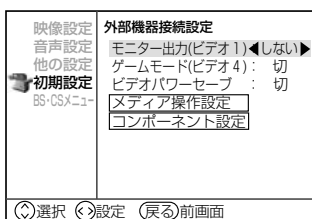
2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

4 で設定したい項目を選び、で設定する

設定項目		設定のポイント
モニター出力（ビデオ1）	する←→しない	ビデオ1の映像と音声をモニター出力端子から出力するときは「する」を選択します。
ゲームモード（ビデオ4）	切←→入	ビデオ4に入力した映像信号を検出して自動的にビデオ4に切り換え、映像モードを「ナチュラル」にします。（「入」設定時）175
ビデオパワーセーブ	切←→入	ビデオ入力信号が無い状態が約10秒間続くと、パワーセービングシステムが働き、本機の消費電力を節減することができます。（「入」設定時）188

5 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

「モニター出力（ビデオ1）：する」の場合、1台のビデオに本機の「BS・CS/モニター出力」と「ビデオ1入力」を同時に接続すると、発振によるノイズが生じることがあります。このような接続の場合は、「しない」に設定してください。

メディア操作設定について

メディアパネル機能 58 をご使用になると、本機に接続したお手持ちの外部機器を、本機のリモコンで本機の画面に向かって操作することができます。
このメディアパネル機能をご使用になるには、外部機器とメーカーを登録する必要があります。また、空き入力端子の飛び越し（入力スキップ）設定や、ビデオ入力表示の書き換えをすることもできます。

メディア操作設定画面で設定できる機能

入力スキップの設定

ご使用にならない入力端子がある場合、入力切換ボタンを押したときに飛び越し（スキップ）させることができます。

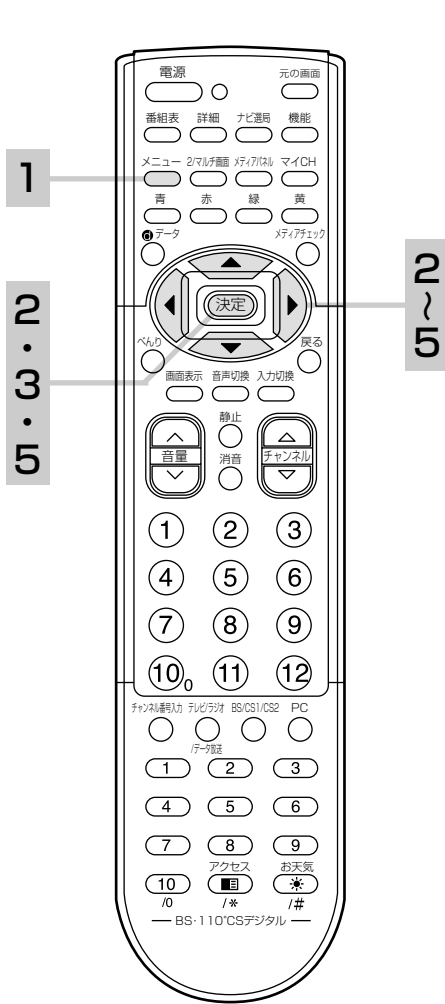
外部機器の設定

メディアパネル 58 で操作するお手持ちの外部機器を登録します。また、リモコンの画面表示ボタンを押したときのビデオ入力表示を書き換えることもできます。

メーカーの設定

メディアパネル 58 で操作する外部機器のメーカーを設定します。リモコン信号のタイプを登録します。

テスト送信

メディアパネル 58 で外部機器を操作するためには、メディアコントローラーの接続と取り付け 130 を行います。
メディアコントローラーを取り付けるときは、外部機器の動作テストを行います。

メディア操作設定画面の使いかた

1　メニューボタンを押す

2　（◎）で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

映像設定 / 音声設定 / 他の設定 / 初期設定 / BS・CSメニュー — 受信設定 / 外部機器接続設定 / ＰＣ入力設定
選択　決定 決定　戻る 前画面

3　（◎）で「メディア操作設定」を選び、決定ボタンを押す

メディア操作設定画面

4 で「入力端子」の項目を選び、 で設定したいビデオ入力またはPC入力端子を選ぶ

入力端子「テレビ」はテレビ放送とBS・CSデジタル放送画面を意味します。

5 入力スキップの設定

例）ビデオ6を入力スキップさせたいとき

手順 4 で入力端子「ビデオ6」を選び、 で「スキップ」の項目を選び、決定ボタンを押す

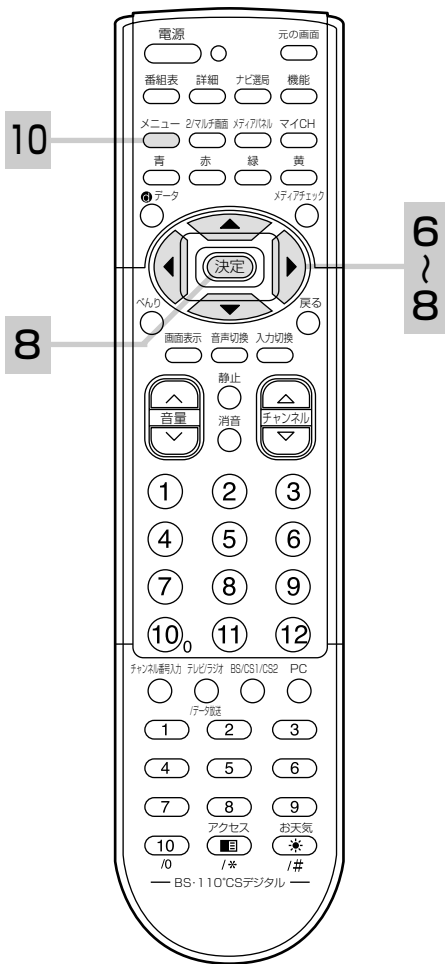
決定ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

□：飛び越ししない（スキップしない）

☑：飛び越しする（スキップする）

- お買い上げ時はスキップしない状態に設定されています。
- 入力端子「テレビ」は入力スキップ設定することはできません。
- テレビ放送の空きチャンネルの飛び越し選局（チャンネルスキップ）については 146 をBS・CSデジタル放送のチャンネルスキップについては 158 をご覧ください。

外部機器を接続するときに便利な設定（つづき）

外部機器	対応メーカー
VTR1	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、シャープ、サンヨー、NEC、ゼネラル、フナイ
VTR2	日立、三菱、松下、ビクター、ソニー、東芝、シャープ、サンヨー、NEC、ゼネラル、フナイ
CATV	日立、東芝、松下、NEC、パイオニア、SA（サイエンティフィック・アトランタ）、富士通、DXアンテナ
DVD	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝、パイオニア
CSデジタル	日立、松下、ビクター、ソニー、東芝
HDDレコーダー	日立、松下
DVDレコーダー	日立、松下
AVアンプ	デノン、パイオニア

6 外部機器の設定

例）ビデオ4にDVDを設定したいとき

手順 4 で入力端子「ビデオ4」を選び、◁▷で「外部機器」の項目を選び、△▽で接続する外部機器を設定する

	入力端子	スキップ	外部機器	メーカー	テスト
映像設定					
音声設定					
他の設定	ビデオ1	□	VTR1	日立1	送信
初期設定	ビデオ2	□	VTR2	日立2	送信
BS・CSメニュー	ビデオ3	□	CATV	日立	送信
	ビデオ4	□	DVD	—	送信
	ビデオ5	□	—	—	—
	ビデオ6	☑	—	—	—
	PC	□			
	テレビ		AVアンプ	デノン	送信

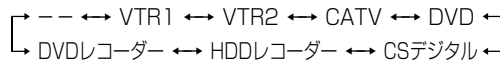
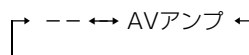
項目選択　設定　戻る 前画面

△▽を押すたびに次のように切り換わります。

【ビデオ1〜ビデオ6のとき】

→ −− ⟷ VTR1 ⟷ VTR2 ⟷ CATV ⟷ DVD ⟷ DVDレコーダー ⟷ HDDレコーダー ⟷ CSデジタル ←

【テレビのとき】

→ −− ⟷ AVアンプ ←

【PCのとき】：外部機器を設定することはできません。

- メディアパネル操作 58 するためには「外部機器」設定と手順 7 のメーカー設定が必要です。また、「外部機器」設定は、ビデオ入力の表示書き換え機能の設定も兼ねています。
- 設定を解除するときは「−−」を選択します。

7 メーカーの設定

例）ビデオ4のDVDのメーカーを日立1に設定したいとき

手順 4 で入力端子「ビデオ4」を選び、◁▷で「メーカー」の項目を選び、△▽で外部機器のメーカーを設定する

	入力端子	スキップ	外部機器	メーカー	テスト
映像設定					
音声設定					
他の設定	ビデオ1	□	VTR1	日立1	送信
初期設定	ビデオ2	□	VTR2	日立2	送信
BS・CSメニュー	ビデオ3	□	CATV	日立	送信
	ビデオ4	□	DVD	日立1	送信
	ビデオ5	□	—	—	—
	ビデオ6	☑	—	—	—
	PC	□			
	テレビ		AVアンプ	デノン	送信

項目選択　設定　戻る 前画面

△▽を押すたびにメーカーが切り換わります。

メーカーには「日立1」〜「日立3」などのように複数の番号がついているものがあります。番号の数は機器やメーカーによって異なります。手順 8 のテストを「1」から順に行い、正しく動作するものを選んでください。

- 「メーカー」を設定すると「テスト」の項目に送信ボタンが表示されます。
- 外部機器の対応メーカーは、左の一覧表を参考にしてください。
  表に記載しているメーカーでも対応できない機種や機能もあります。
- メディアパネル操作 58 するためには、手順 6 の「外部機器」設定とともに「メーカー」設定が必要です。
- 「外部機器」の項目を設定していない場合は、「メーカー」を設定することができません。また、「外部機器」の項目を変更したときは「メーカー」の設定もクリアされます。
- PCのときメーカーを設定することはできません。

8 テスト送信のしかた

例）ビデオ4のDVD（日立1）でテスト送信したいとき

まず、テスト前に 130 のメディアコントローラーの接続と取り付けを行い、テスト送信する外部機器の電源をリモコンで切っておきます。

次に手順 4 で入力端子「ビデオ4」を選び、 で「テスト」の項目を選び、決定ボタンを押す

外部機器の電源が入ったらテスト完了です。

- 決定ボタンを押すとメディアコントローラーのリモコン発光部から外部機器の電源信号が１回送信されます。
- 外部機器の電源が入らない場合は、手順 7「メーカーの設定」に戻って、次の番号についてテスト送信してください。

9 複数の「入力端子」について設定する場合は手順 1 ～ 8 をくり返す

10 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

手順 7 、8 で外部機器の電源が入らないときは、メディアコントローラーの取り付け場所を変えて、テスト送信を行ってみてください。何度かくり返しても電源が入らない場合は、対応できない機器と思われますので、「メーカー」の設定を「－－」にして設定を終了してください。

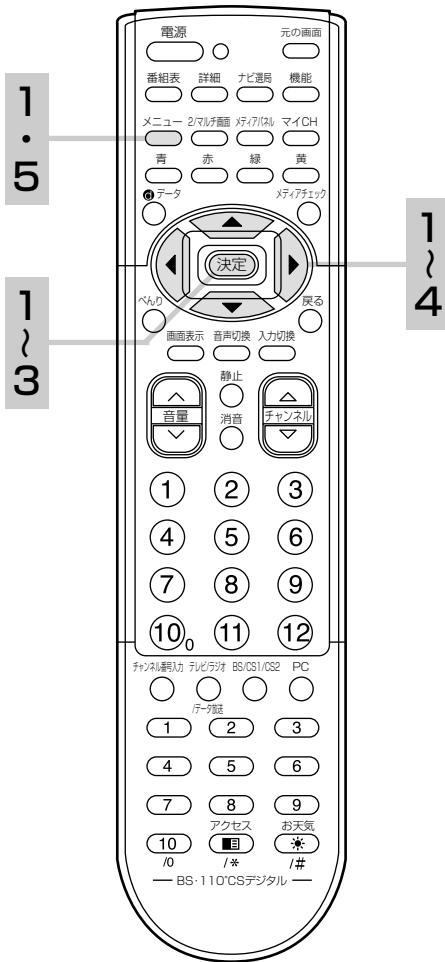
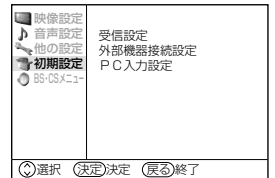
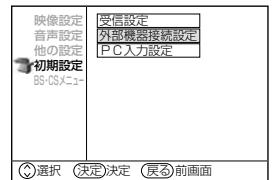
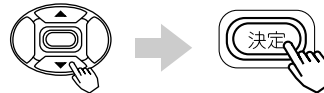
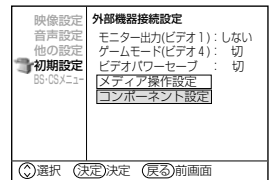
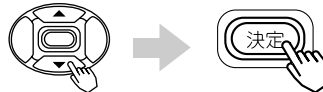
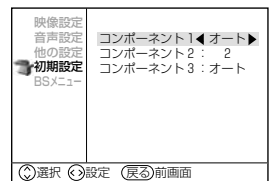
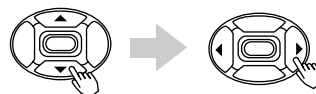
お守りください

手順 8 でテスト送信するとき、リモコンの決定ボタンを長押ししないでください。決定ボタンを長押しすると、リモコンとメディアコントローラーからのリモコン信号が干渉して、外部機器が正しく動作しないことがあります。また、テスト送信中は、他の機器のリモコン操作も行わないでください。

メ モ

入力端子「テレビ」で外部機器に「AVアンプ」を設定すると、入力端子「ビデオ1」～「ビデオ6」でも共通で使用することができます。
AVアンプの接続については 177 をご覧ください。

コンポーネントの設定

コンポーネント1（ビデオ4）、コンポーネント2（ビデオ5）、コンポーネント3（ビデオ6）に接続する機器を設定します。

1 メニューボタンを押し、で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

2 で「外部機器接続設定」を選び、決定ボタンを押す

3 で「コンポーネント設定」を選び、決定ボタンを押す

4 で設定したい項目を選び、で設定する

設定項目		設定のポイント
コンポーネント1（ビデオ4）	オート↔1↔2↔MUSE	コンポーネント1入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント2（ビデオ5）	オート↔1↔2↔MUSE	コンポーネント2入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。
コンポーネント3（ビデオ6）	オート↔1↔2↔MUSE	コンポーネント3入力端子に接続する機器や信号により設定します。通常は「オート」でお使いください。

5 設定が終了したらメニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

メ モ

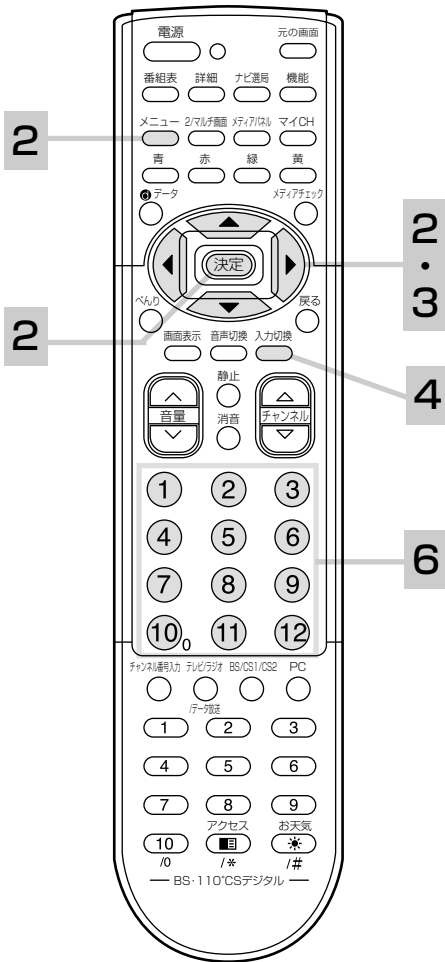
コンポーネント設定について

コンポーネント信号は、接続する機器や信号によって色合いが異なる場合があります。通常は「オート」でお使いください。色合いが正しく再現できない場合は、「1」または「2」に設定してください。また、W-VHSビデオを接続する場合は「MUSE」に設定してください。

録画中に本機のチャンネルを変えても、ご希望のBS・CSデジタル放送が確実に録画できるようにBS・CSチャンネルを固定します。

BS・CSデジタル放送を録画しながらテレビ放送を見たいとき

準備

お手持ちのビデオを本機と接続する。127

1 録画したいBS・CSチャンネルを選ぶ 28

2 BS・CSch固定について

メニューボタンを押し、（上下ボタン）で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

映像設定
音声設定
他の設定
初期設定
BS・CSメニュー

EDTV II 識別 : する
BS・CSch固定 : 切
BS・CS出力(ch固定) : フル
メディア操作 : 切
スクリーンセーバー

選択 決定 決定 戻る 終了

3 （上下ボタン）で「BS・CSch固定」を選び、（左右ボタン）で「入」にする

映像設定
音声設定
他の設定
初期設定
BS・CSメニュー

EDTV II 識別 : する
BS・CSch固定 ◀ 入 ▶
BS・CS出力(ch固定) : フル
メディア操作 : 切
スクリーンセーバー

選択 決定 決定 戻る 前画面

- ●BS・CSch固定「入」を設定すると「BS・CSchが固定されました」の表示が出ます。
- ●テレビ放送やビデオ入力でBS・CSch固定を選ぶと「切換できません」の表示が出て設定できません。

4 入力切換ボタンを押して、「ビデオ1」にする

ビデオを「ビデオ2」に接続している場合は、「ビデオ2」にします。

5 ビデオを外部入力に合わせて、録画したいチャンネルが映ることを確認し、録画をはじめる

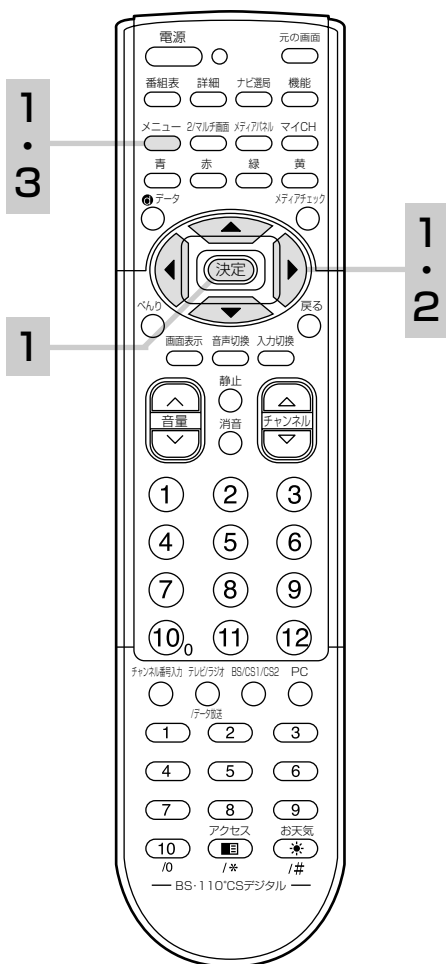
6 ご覧になりたいテレビ放送のチャンネルを選ぶ

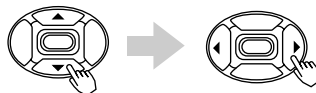
BS・CSch固定を解除したいときは、固定されているBS・CSチャンネルを選び、手順 3 の操作で「切」を選びます。
「BS・CSch固定を解除しました」の表示が出ます。

お知らせ

録画予約を実行中はBS・CSch固定状態になります。

BS・CS録画出力の設定

BS・CSデジタル放送をビデオで録画するときの映像出力モードを設定することができます。

1 メニューボタンを押し、　で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

2 　で「BS・CS出力（ch固定)」を選び、　で映像出力モードを選ぶ

フル	ワイド放送の番組は、スクイーズ映像（横圧縮映像）が出力されます。
画面と同じ	テレビ画面と同じ信号が出力されます。

3 メニューボタンを押す

元の画面ボタンを押しても、設定画面が消えます。

お知らせ

●BS・CS出力（ch固定）が「フル」の設定のとき、BS・CS/モニター出力端子からデータ放送の画面や字幕などは出力されません。
またこのとき、次の画面でBS・CSデジタル放送を選んだときも表示されません。
　［2画面・マルチ画面・静止画面・メディアチェック画面・メディアパネル・PCウィンドウ］
BS・CSch固定してデータ放送や字幕を録画したい場合や、マルチ画面等でご覧になりたい場合は、BS・CS出力（ch固定）の設定を「画面と同じ」にしてください。
●「画面と同じ」に設定した場合、BSch固定 73 を設定する前に、録画するときのワイドモードを選択します。34
また、BS・CSch固定が「入」のときは、BS・CSデジタル放送の標準放送525i(480i)でのワイド切換はできません。
●BS・CSch固定「入」のとき、BS・CS出力（ch固定）の切り換えはできません。

画面表示の意味について

1 アイコン表示

画面表示ボタンを押す

（例）

ドラマスペシャル ○○○ BS 275
○○○○○○
PM 5:30–PM 7:30 PM 7:24

●画面表示ボタンを押したときや各種一覧画面を出したときなど、画面上部にシンボルマークによる情報表示としてアイコンが表示されます。

●アイコンの種類と意味は 193 をご覧ください。

機能メニュー画面について

機能メニュー画面は、BS・CSデジタルの各機能を操作する入り口です。

（番組表、ナビ選局、番組説明（詳細）はリモコンボタンでも直接呼び出せます。）

1 機能ボタンを押す

BS・CSデジタル放送のとき機能ボタンを押すと、機能メニュー画面が表示されます。

- 番組表
- ナビ選局
- 番組説明
- 予約一覧
- 信号切換
- サービス切換
- 操作パネル

■番組表 78

BS・CSデジタル放送の番組を新聞のテレビ欄のように一覧表示します。

■ナビ選局 85

現在視聴しているBS・CSデジタル番組の画面上に、放送中のBS・CSチャンネルの番組タイトルが一覧表示されます。

■番組説明 82

番組概要や項目毎の詳細な解説を表示します。

■予約一覧 98

予約した番組の確認、取り消しができます。

■信号切換 108

番組により映像や音声などの信号を切り換えて楽しむことができます。

■サービス切換 91

テレビ（BS・CS）、ラジオ、データ放送を切り換えることができます。

■操作パネル 113

i.LINK機器を操作する操作パネル画面が表示されます。BS・CSメニューの操作パネルと同一機能です。

お知らせ

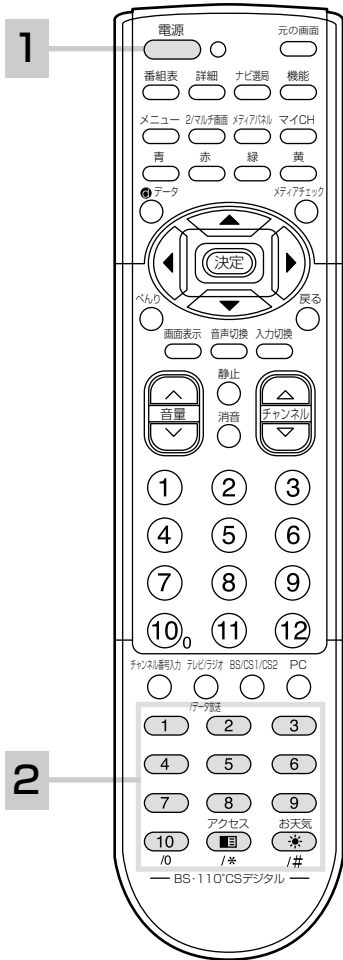
メニュー画面等に表示されているリモコンボタン表示は、操作をわかりやすくするための表示であり、実際のリモコンとはボタン形状、配置等が異なる場合があります。

メ　モ

●機能メニューは、BS・CSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。

●2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに、機能ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。

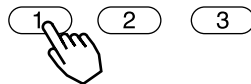
●機能メニューを表示しているときに、2画面、マルチ画面、静止画面ボタンを押すと、機能メニューは解除されます。

BS・CSデジタル番組の楽しみかた

1 電源ボタンを押す

2 番組を選ぶ

あらかじめ設定されているチャンネルを選局する場合

ワンタッチ選局

本機では、あらかじめ 1 ～ 10/0 アクセス /* お天気 /# ボタンにBSチャンネルを設定（プリセット）しています。

ボタン			ボタン		
1	101	NHK1	7	171	BSジャパン
2	102	NHK2	8	181	BSフジ
3	103	NHKh	9	191	WOWOW
4	141	BS日テレ	10 /0	200	スターチャンネル
5	151	BS朝日	アクセス /*	755	BS朝日データ
6	161	BS-i	お天気 /#	910	ウェザーニュース

放送局名は実際の表示と異なる場合があります。

番組やチャンネルその他の選びかた

■チャンネル番号選局 29
（チャンネル番号を入力して選局できます。）

■アップダウン選局 29
（チャンネルを順送りして選局できます。）

■マイCH選局 83
（登録しておいたチャンネルからすばやく選局することができます。）

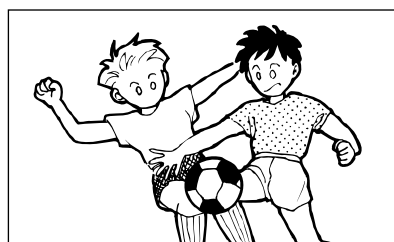
■番組表 78
（番組表を見ながら選局できます。）

■番組予約 95
（番組の一覧を見ながら選局や予約ができます。）

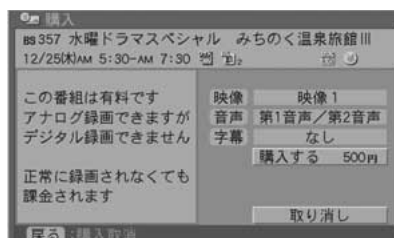
■ナビ選局 85
（放送中の番組、次に放送される番組、あらかじめ登録したジャンル、キーワードが含まれる番組の一覧から選べます。）

3 番組を楽しむ（視聴する）

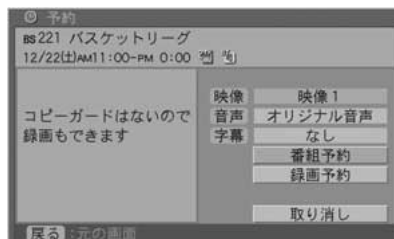
無料の番組や契約済みの番組
（追加料金のかからないもの）

（例）

そのまま楽しむことができます。

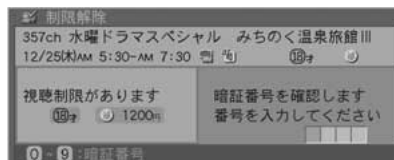
ペイ・パー・ビューなどの有料番組や追加料金が必要な番組

（例）

ご覧になるには、購入操作が必要です。
番組の購入については 92 をご覧ください。

現在時刻以降の番組

（例）

ご覧になるには、予約登録が必要です。
予約の方法については 95 をご覧ください。

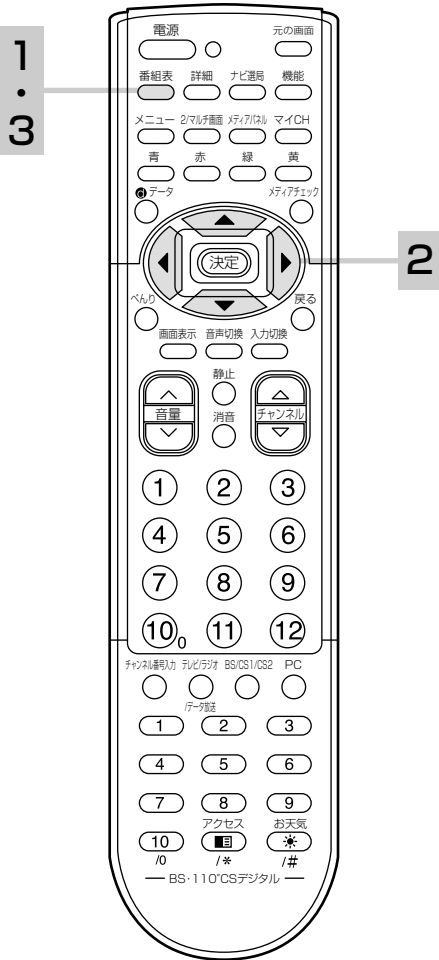
視聴制限対象になる番組

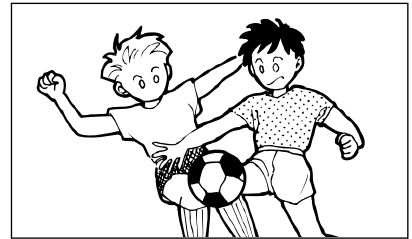
（例）

ご覧になるには、暗証番号の入力が必要です。
視聴制限の対象になる番組を選んだ場合 105 をご覧ください。
設定方法については、視聴制限の設定 102 をご覧ください。

お知らせ

- ペイ・パー・ビューとは、見たい番組を画面操作により購入を申し込み、見た分だけ料金を支払うものです。ペイ・パー・ビューの視聴には電話回線の接続が必要です。
- お買い上げ時、視聴制限は「切」に設定されています。

番組表を表示する

本機はデジタル各放送の番組を、新聞のテレビ欄のように表示できます。
また、BS放送、CS放送の内容に切り換えることもできます。

1 番組表ボタンを押す

デジタル放送を見ているときに番組表ボタンを押すと、受信しているサービスの番組表画面が表示されます。

2 で番組を選ぶ

- ●BS/CS1/CS2ボタンで各放送サービスの内容に切り換わります。
- ●テレビ/ラジオ/データ放送ボタンで各サービスの内容に切り換わります。
- ●放送中の番組を選び、決定ボタンを押すと選局されます。
- ●これから放送される番組を選び、決定ボタンを押すと、予約画面になります。予約の方法については 95 をご覧ください。
- ●左右端から で1チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
- ●上下端から で1時間ごとに、表示時間が切り換わります。
- ●詳細ボタンを押すと、番組説明が表示されます。
- ●何日か先の内容を見る場合などの便利な使い方については 80 をご覧ください。

3 番組表ボタンを押す

終了します。

メ モ

- ●子画面で、BS・CSデジタル放送をご覧になることができます。80
- ●放送局の都合により、番組が変更になることがあります。このようなときは、実際の放送と番組表の内容が一致しないことがあります。

4 番組表画面について

お知らせ

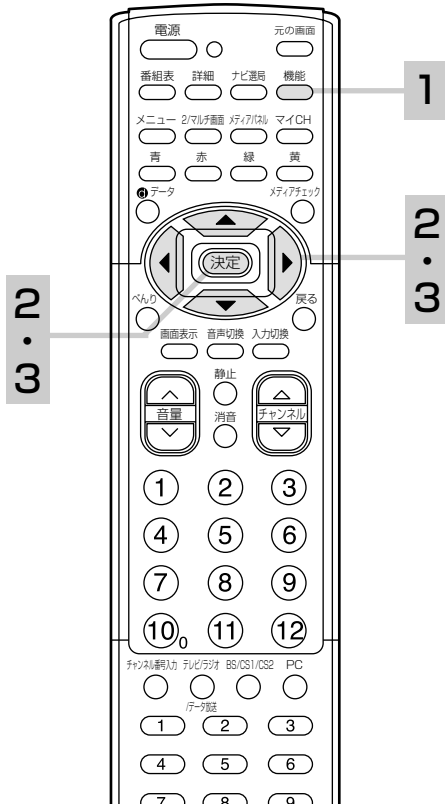
- ●番組情報は送られていない場合もあります。番組情報が表示されていないときは、放送中の時間でも選局できません。
- ●番組予約した番組は、番組名が青で表示されます。
- ●録画予約した番組は、番組名が赤で表示されます。
- ●番組間が赤く表示されている部分には、番組名を表示できない放送時間の短い番組が存在します。
- ●テレビ放送の場合、NHK BS1・BS2・ハイビジョンはそれぞれ別のチャンネルとしてチャンネル番号表示されますが、BS日テレやWOWOWなどは1番小さいチャンネル番号だけが表示されます。（表示方法を変更することはできません。）
- ●現在時刻より数時間前までの番組を表示することができます。
- ●チャンネル設定で「スキップ」をチェックマークにしたチャンネルは表示されません。
- ●CS放送の内容を表示しているときは、映像と音声がでないことがあります。

メ モ

- ●番組表は、BS・CSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。
- ●2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに番組表ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。
- ●番組表をご覧になっているときに、2／マルチ画面、静止ボタンを押すと、番組表は解除されます。

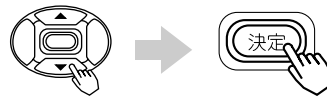
番組表を便利に使うための設定や機能を選択することができます。

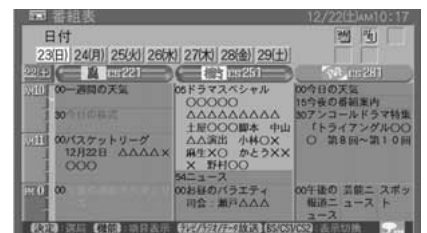
何日か先の内容を見る

番組表画面を表示させます。 78

1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。

2 で「日付」を選び、決定ボタンを押す

選択できる「日付」が表示されます。

3 で見たい日付を選び、決定ボタンを押す

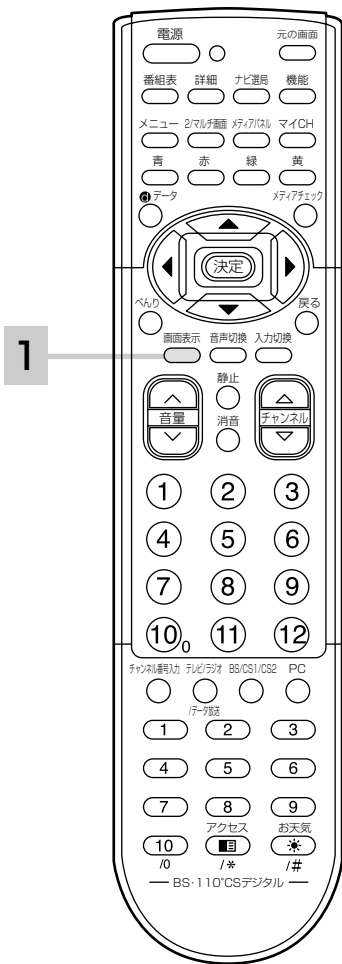
選択した日付の内容が表示されます。

お知らせ

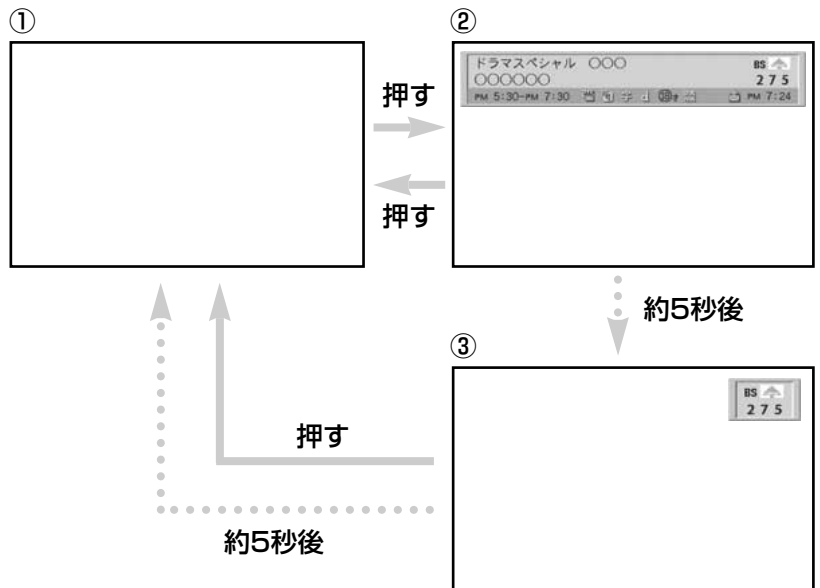
- ラジオやデータ放送の番組では、子画面表示にならないことがあります。また、子画面表示の設定もできません。
- テレビ番組に連動したデータ放送の場合、番組表を表示すると、データ放送の画面が消えて、映像は元の状態に戻ります。

その他の便利な機能

現在時刻へ	現在時刻からの表示に戻ります。
ジャンル色分け	スポーツ（薄い黄色）・映画（薄い黄緑）・ドラマ（薄い水色）を色分けして表示します。
子画面表示	右上に子画面状態で受信中の番組の映像を表示します。 チャンネルボタンなどで表示を切り換えることはできません。
番組説明	選択中の番組の詳細を表示します。（詳細ボタンを押した場合と同じです。）
予約一覧	予約一覧画面を表示します。（予約一覧ボタンを押した場合と同じです。）

見ている番組のタイトルなどを表示する

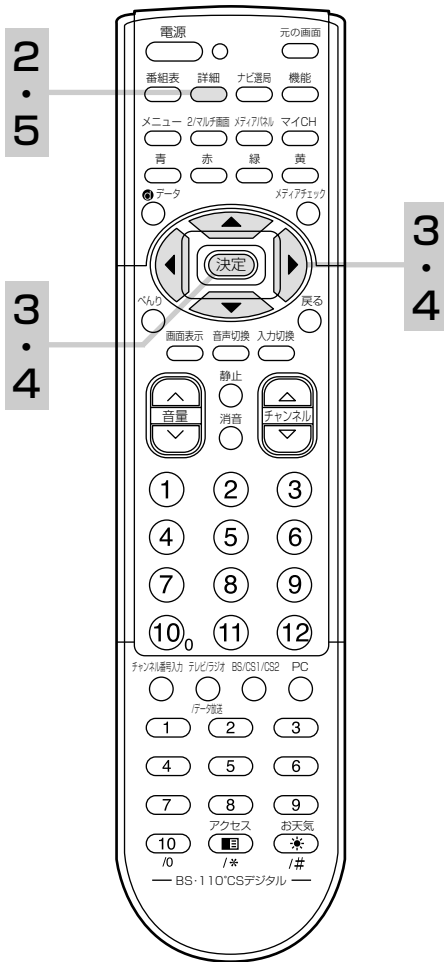
本機はBS・CSデジタル各放送局の番組データを利用し、現在ご覧になっている番組の画面上に、番組タイトルや放送時間などの情報を表示することができます。

1 画面表示ボタンを押す

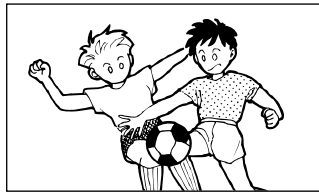
チャンネルを切り換えると自動的に画面表示を約5秒間表示します。

BS・CSデジタル放送の楽しみかた

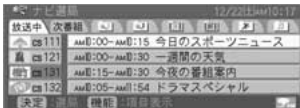
メ モ

- 現在時刻の表示は衛星電波で送られてきます。本機で時刻設定をする必要はありません。
- BS・CSデジタル放送の録画予約を実行中（BS・CSch固定「入」）は、BS・CSデジタル放送の番組のタイトルなどの情報は画面表示されません。

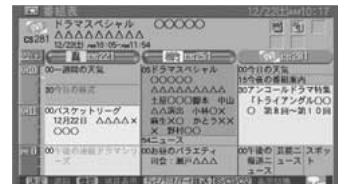
番組の詳細内容を表示する

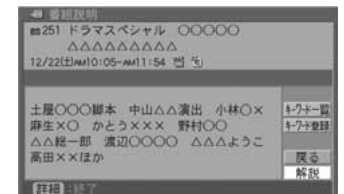
選局中の番組や番組表、ナビ選局画面などで選んでいる番組の詳しい内容を知ることができます。

1 次のいずれかの状態にする

■BS・CSデジタル番組の視聴中 28

■番組表表示中 78

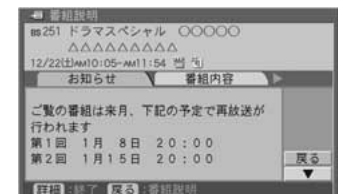
■ナビ選局表示中 85

2 番組表やナビ選局などで、番組名を選び、詳細ボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

視聴中に詳細ボタンを押すと、ご覧になっている番組の番組説明が表示されます。

3 で「解説」を選び、決定ボタンを押す

解説項目が表示されます。

4 で見る項目を切り換える

選択された項目の解説内容が表示されます。

内容の続きを見るときは、[▼] を選び、決定ボタンを押します。

5 詳細ボタンを押す

終了します。

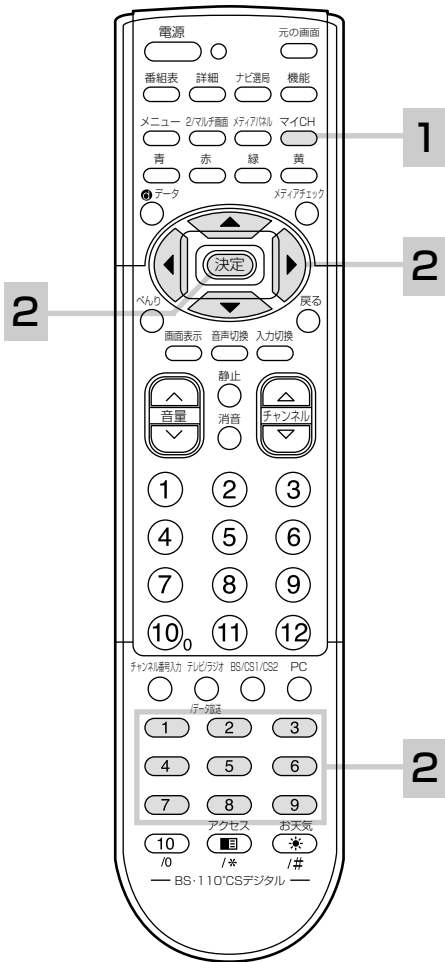
お知らせ

- 解説がない場合や、解説を表示できない場合があります。
- 番組内容やお知らせなどの解説項目は、番組によって異なることがあります。

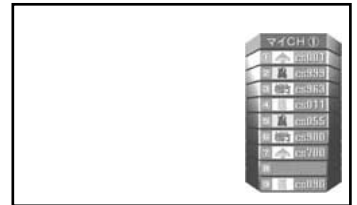
メ モ

- 番組説明はBS・CSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。
- 2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときに詳細ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。
- 番組説明をご覧になっているときに、2／マルチ画面、静止ボタンを押すと、番組説明画面は解除されます。

マイCHから選局する

**よくご覧になるチャンネルをマイＣＨとして登録しておくと便利です。
マイＣＨは①から⑤の5グループあり、各グループに9チャンネルまで登録できます。**

1 マイCHボタンを押す

マイＣＨ画面が表示されます。

2 でチャンネルを選び、決定ボタンを押す

- でマイCH①からマイCH⑤を切り換えることができます。
- 選局しない場合は、マイCHボタンを押すと表示が消えます。
- マイCH画面が表示されているときは、1～9でマイCHに登録したチャンネルを直接選局することができます。
- 本機は、お買い上げ時にあらかじめチャンネルを設定してあるところがあります。

お買い上げ時の設定

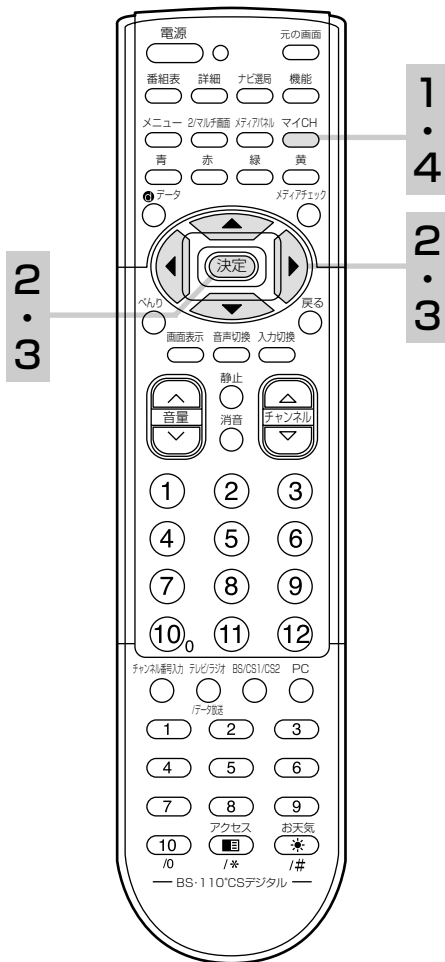
	マイCH①	マイCH②	マイCH③	マイCH④	マイCH⑤
1	CS001	CS100	CS190	BS933	–
2	CS999	CS110	CS135	BS940	–
3	CS963	CS123	BS316	BS955	–
4	CS011	CS128	BS322	BS963	–
5	CS055	CS250	BS444	BS999	–
6	CS900	CS160	BS455	BS900	–
7	CS700	CS170	BS471	BS766	–
8	–	CS182	BS488	BS777	–
9	CS090	CS194	BS489	BS491	–

－部分は未設定の部分です。

お知らせ

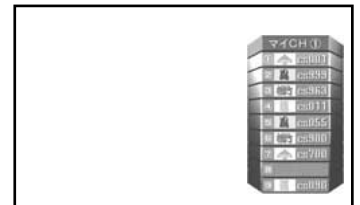
あらかじめ設定されているチャンネルでも、放送開始前またはチャンネル変更などにより選局できない場合もあります。

マイCHへ登録する

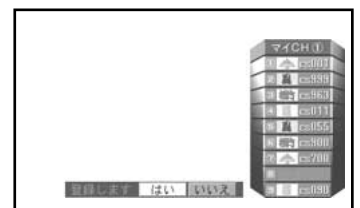
視聴しているチャンネルをマイＣＨへ登録することができます。

1 登録したいチャンネルを選局し、マイCHボタンを押す

マイCH

マイCH画面が表示されます。

2 で登録したい場所を選び、決定ボタンを押す

●視聴中のチャンネルのみ登録することができます。
●他のチャンネルを登録するときは、一度、そのチャンネルを選局してから登録してください。
●登録を削除するときは削除したいチャンネルを選択し、10/0を押します。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

マイCHへ登録されます。

4 マイCHボタンを押す

マイCH登録を終了します。

お知らせ

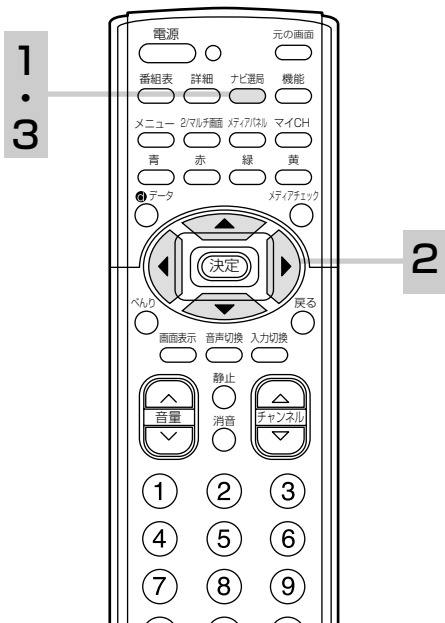
登録チャンネルを変更するときは、一度削除してから登録を行ってください。

ナビ選局から番組を選ぶ

**放送中の番組と次に放送される番組、あらかじめ設定したキーワードやジャンルが含まれる番組を表示します。
テレビ、ラジオ、データ放送などサービスごとに表示します。**

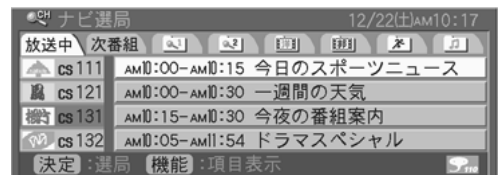
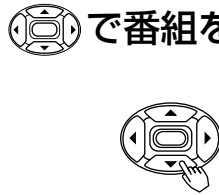
電源 元の画面 番組表 詳細 ナビ選局 機能 メニュー 2/マルチ画面 メディアパスル マイCH 青 赤 緑 黄 データ メディアチェック 決定 べんり 戻る 画面表示 音声切換 入力切換 静止 音量 消音 チャンネル

1・3

2

1 ナビ選局ボタンを押す

受信しているサービスのナビ選局画面が表示されます。

2 で番組を選ぶ

ナビ選局 12/22(土)AM10:17
放送中 次番組
CS111 AM10:00-AM10:15 今日のスポーツニュース
CS121 AM10:00-AM10:30 一週間の天気
CS131 AM10:15-AM10:30 今夜の番組案内
CS132 AM10:05-AM11:54 ドラマスペシャル
決定 :選局 機能 :項目表示

- ●表示されているチャンネルは、受信している放送サービスごとになります。他の放送サービスのチャンネルを表示したいときは、BS/CS1/CS2ボタンで受信する放送サービスを切り換えてから行ってください。
- ●テレビ/ラジオ/データ放送ボタンで各サービスの内容に切り換わります。
- ●放送中の番組を選び、決定ボタンを押すと選局されます。
- ●これから放送される番組を選び、決定ボタンを押すと予約画面になります。
- ●上下端から で1チャンネルごとに表示チャンネルが切り換わります。
- ● で放送中、次番組、キーワード検索、マイジャンル検索に表示を切り換えることができます。
- ●詳細ボタンを押すと、番組説明が表示されます。

3 ナビ選局ボタンを押す

終了します。

4 ナビ選局の見かた

表示しているサービス
・テレビ／ラジオ／データ放送ボタンで切り換えができます。
・テレビの場合は、なにも表示されません。

現在時刻

チャンネル表示
(契約していないチャンネルは、背景が暗く表示されます。)

CS放送サービスアイコン
CS放送の内容を表示しているときは、放送サービスのロゴが表示されます。

表示タグ
・ 放 送 中 ： 現在放送されている番組
・ 次 番 組 ： 次に放送される番組
・ 、 (キーワード検索) ： キーワード一覧に登録したキーワード 88 が番組説明に含まれる番組
・ 、 、 、 (マイジャンル検索) ： ジャンル設定 86 で、設定したジャンルが含まれる番組

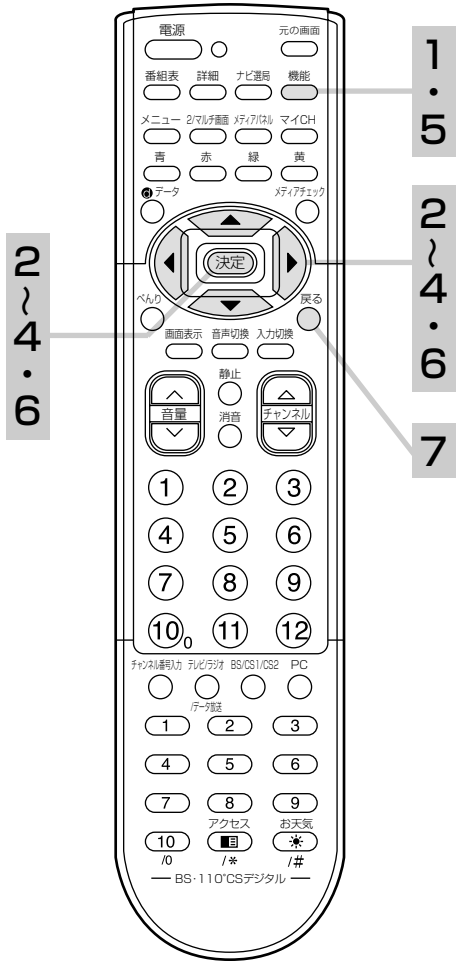
お知らせ

- ●キーワード検索、マイジャンル検索で表示される番組には、現在時刻より数時間前までの番組が表示されることがあります。
- ●チャンネル設定で「スキップ」をチェックマークにしたチャンネルは表示されません。158

メ モ

- ●キーワードを新しく登録した後は、検索した番組がしばらく表示できません。検索が終るまで5分程度かかることがあります。登録したキーワードが含まれている番組が表示されないこともあります。
- ●基本的な選局方法については 28 をご覧ください。
- ●ナビ選局画面は、BS・CSデジタル放送をご覧になっているときに表示できます。
- ●2画面、マルチ画面、静止画面をご覧になっているときにナビ選局ボタンを押すと、2画面、マルチ画面、静止画面は解除されます。
- ●ナビ選局画面のときに、2画面、マルチ画面、静止ボタンを押すと、ナビ選局画面は解除されます。

お好みのジャンルの番組を選ぶ

4つのマイジャンルにそれぞれ12個のジャンルを設定することができます。お買い上げ時、[洋]に洋画、[邦]に邦画、[スポーツ]にスポーツ、[音楽]に音楽が設定してあります。

ナビ選局画面を表示させます。85

1 機能ボタンを押す

2 ◎で「ジャンル設定」を選び、決定ボタンを押す

ジャンル設定画面が表示されます。

3 ◎でマイジャンルを選び、決定ボタンを押す

ジャンル選択ができます。

4 ◎で「ジャンル名」を選び、決定ボタンを押す

選択したジャンルの略称が表示されます。

●登録できる「ジャンル項目」は12個までです。
●設定内容を削除するときは、設定されている「ジャンル名」をもう一度選び、決定ボタンを押します。
●他のマイジャンルを設定するときは、戻るボタンを押し手順 3 へ戻ります。

お知らせ

メインジャンルのジャンル名を選択した場合、サブジャンルを全て選択したのと同じことになります。略称は全選択となります。

マイジャンルアイコンを変更する

戻るボタンを押して、手順 3 に戻ります。

5 機能ボタンを押す

アイコン選択画面が表示されます。

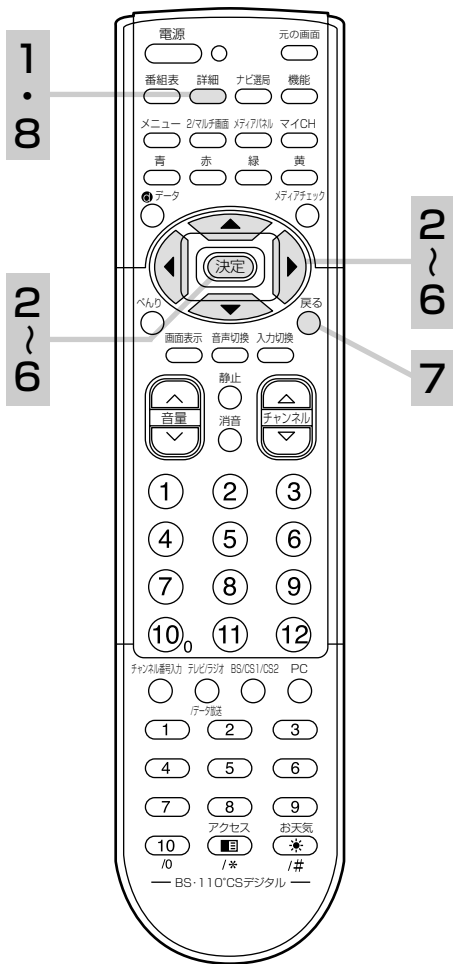
6 でアイコンを選び、決定ボタンを押す

表示アイコンが変更されます。

7 戻るボタンを2〜3回押す

ナビ選局画面に戻ります。

キーワードの含まれる番組を選ぶ

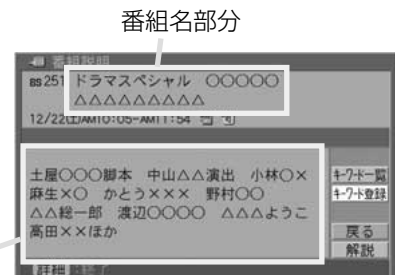
指定したキーワードが番組説明に含まれる番組を検索して表示できます。
キーワードは 、 にそれぞれ8個まで登録できます。

1 番組表やナビ選局などで、番組名を選び、詳細ボタンを押す 82

番組説明画面が表示されます。

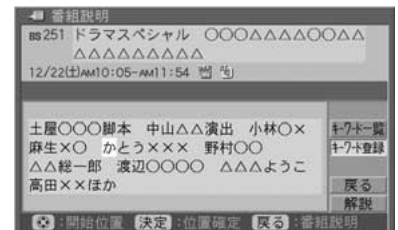
2 で「キーワード登録」を選び、決定ボタンを押す

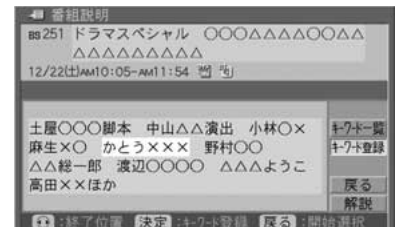
カーソルが番組説明部分に移動します。

番組名部分

番組説明部分

番組名部分の文字も選択することができます。

3 で登録するキーワードの先頭の文字を選び、決定ボタンを押す

登録するキーワードの先頭が確定します。

4 で登録するキーワードの末尾の文字を選び、決定ボタンを押す

キーワード一覧画面が表示されます。

●キーワードの先頭を変えるときは、戻るボタンを押します。
●先頭の文字より左側にある文字を選択することはできません。
●末尾の位置は で修正することができます。

お知らせ

●それぞれのタグに登録してあるキーワードのいずれかが含まれている番組が検索されます。
●登録できるキーワードは、全角で10文字までです。

5 で登録する場所を選び、決定ボタンを押す

登録確認が表示されます。

6 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

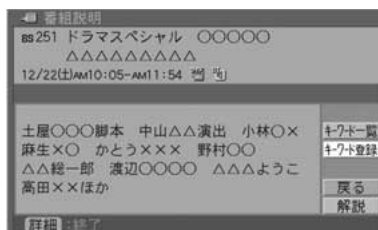
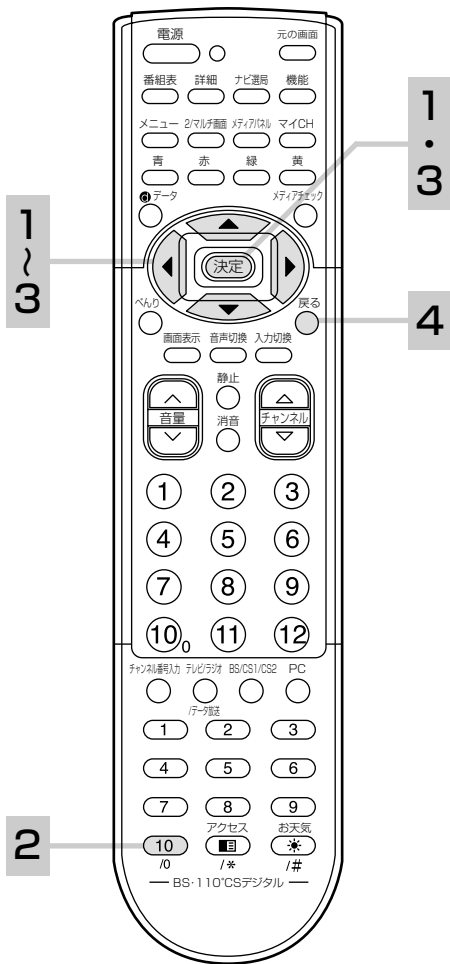
キーワードが登録されます。

7 戻るボタンを押す

番組説明画面が表示されます。

8 詳細ボタンを押す

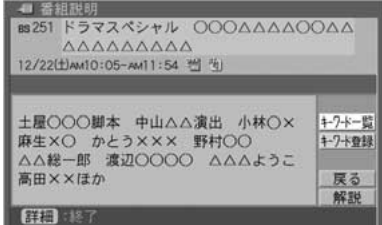
終了します。

BS・CSデジタル放送の楽しみかた

キーワードを削除する

登録したキーワードを確認し、削除ができます。

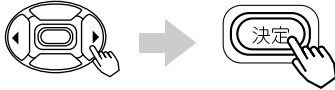
番組説明画面を表示させせます。82

1 で「キーワード一覧」を選び、決定ボタンを押す

キーワード一覧画面が表示されます。

2 で削除するキーワードを選び、10/0ボタンを押す

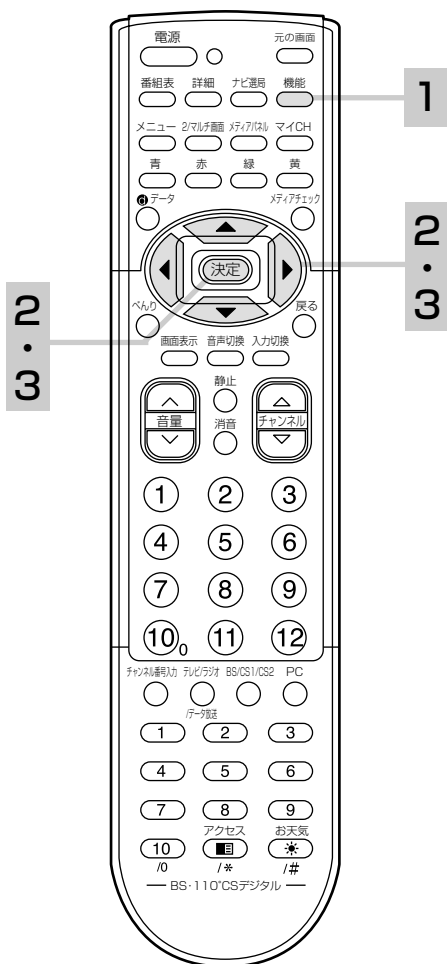
変更確認が表示されます。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

キーワードが削除されます。

4 戻るボタンを押す

番組説明画面に戻ります。

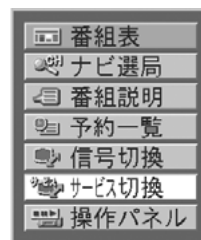
サービスを切り換える

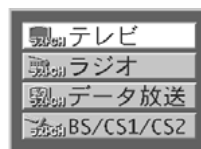
選んだサービス（テレビ・ラジオ・データ放送・BS/CS1/CS2）の最後に見ていたチャンネルを選局することができます。

1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。

2 で「サービス切換」を選び、決定ボタンを押す

サービス切換画面が表示されます。

番組表
ナビ選局
番組説明
予約一覧
信号切換
サービス切換
操作パネル

3 でサービス名を選び、決定ボタンを押す

選んだサービスの最後に見ていたチャンネルが選局されます。

テレビ　：テレビ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
ラジオ　：ラジオ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
データ放送：データ放送で最後に見ていたチャンネルを選局します。
BS/CS1/CS2：各放送サービスで最後に見ていたチャンネルを選局します。（BS→CS1、CS1→CS2、CS2→BS）

サービスを切り換えるのは、リモコンのテレビ／ラジオ／データ放送ボタンでも行えます。29

テレビ／ラジオ／データ放送ボタン：
テレビ（BS・CS）放送、ラジオ放送、データ放送で最後に見ていたチャンネルを順送りに選局します。

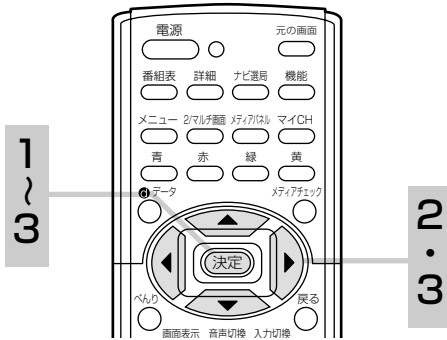
お知らせ

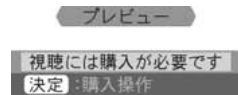
ラジオ放送には映像のない番組があります。このときは、画面には何も表示されませんので、本機の電源の切り忘れ等にご注意ください。

有料番組（ペイ・パー・ビュー）を購入する

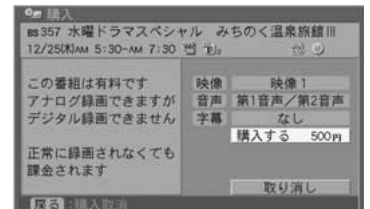
デジタル放送には無料と有料のものがあります。有料のものには、事前に申し込みが必要な契約チャンネルと、画面上で購入操作が必要になるペイ・パー・ビュー番組があります。

ペイ・パー・ビュー番組を選びます。

1 決定ボタンを押す

購入画面が表示されます。

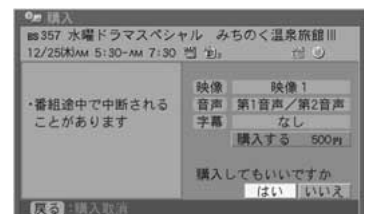
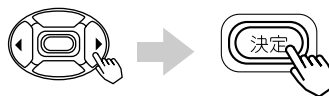
プレビュー
視聴には購入が必要です
決定：購入操作

番組によっては、プレビュー（購入する前に無料で数分間視聴できる期間のこと）が表示されます。
プレビューの時間は番組で異なることがあります。
プレビューのない番組もあります。

2 で「購入する」、「視聴購入」、「録画購入」、「取り消し」の何れかの項目を選び、決定ボタンを押す

購入確認が表示されます。

購入する	番組を購入します。但し、コピーガードにより録画できないことがあります。
取り消し	番組は購入しません。

追加料金を支払えば録画できる場合には、次の項目が表示されます。

視聴購入	番組を購入します。番組をご覧になれますが、コピーガードにより録画はできません。
録画購入	番組を購入します。番組をご覧になることも、録画することもできます。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

購入しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

これで購入操作は完了しました。購入操作が完了した時点で課金されます。これ以後、実際に視聴しなかった場合でも料金が請求されます。

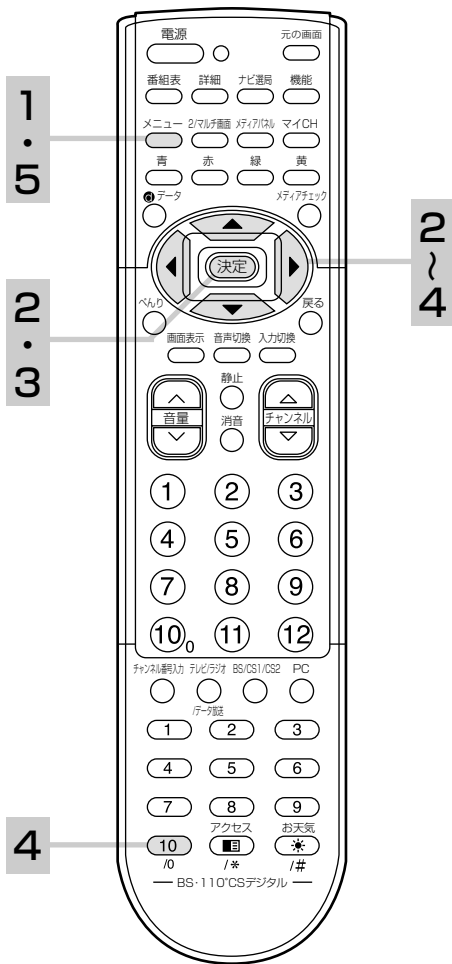
メモ コピーガードについて

BS・CSデジタル放送の中にはビデオデッキなどで録画できないようにコピーガードをかけている番組があります。コピーガードがかかっている番組を正常に録画することはできません。
コピーガードを解除できない番組の場合は録画購入の選択項目が表示されません。

お知らせ

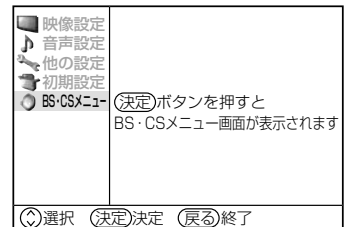
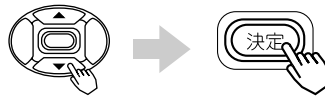
- 画面に表示される購入項目は番組により異なります。例えば「購入する」が表示されているときは、「視聴購入」「録画購入」は表示されません。
- 「購入する」「視聴購入」「録画購入」の項目に表示される金額は、購入金額です。
- 購入した番組を視聴していても他のチャンネルに切換えたり、再度購入した番組のチャンネルに戻すことができます。ただし、有料番組は購入操作が終了した時点で購入したことになり、実際には番組を視聴していなくても料金が請求されます。
- 視聴制限の対象になる番組を選局したときは、暗証番号の入力の画面が表示されます。視聴制限の設定や解除の方法は 105 をご覧ください。
- 購入した番組を録画する場合は、録画機器側の録画操作が必要です。
- 番組に追加購入の必要な信号のある場合は、追加購入の画面が表示されます。画面の説明に従って操作を行ってください。
- 2画面、4画面および静止画面でBS・CSデジタル放送をご覧のときは、 および決定ボタンで、1，2 の操作ができないことがあります。
  - ・このときは、2画面、4画面、静止画面を解除して操作してください。
  - ・2画面、4画面、静止画面時、べんり機能の「◎ボタン機能」をデータ放送に設定 54、56 することによって、操作することもできます。
- 購入情報が自動送信できなかった場合は、番組を購入できません。この場合、「視聴履歴を送信する」をご覧になり、購入情報を送信してください。

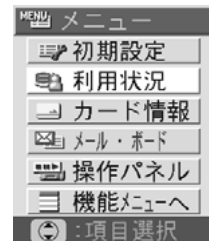
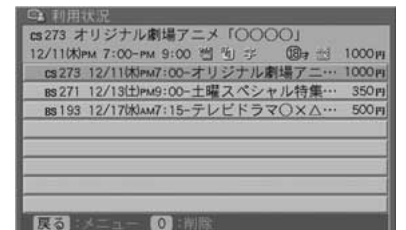
有料番組（ペイパービュー）の利用状況を確認する

購入したペイパービューの記録を25番組まで確認することができます。不要になった記録を削除することもできます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「利用状況」を選び、決定ボタンを押す

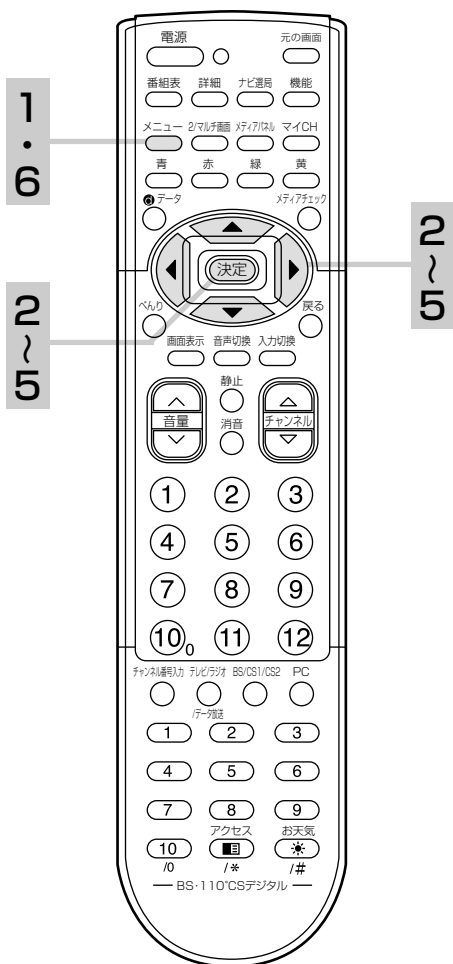
利用状況画面が表示されます。

4 内容を確認する

記録を削除したい場合、削除したい内容の番号を で選び、10/0ボタンを押します。削除確認では「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

5 メニューボタンを2回押す

終了します。

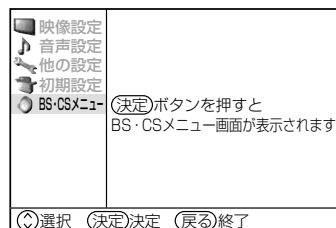
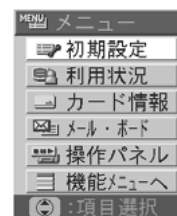
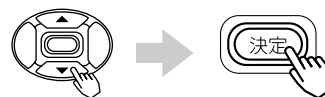
お知らせ

- ●削除した記録は戻すことができません。
- ●表示される金額は、実際に請求される金額と異なることがあります。

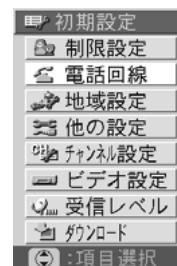
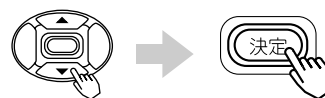
通常、購入情報は電話回線を通じて自動的にご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ送信されます。何らかの理由で自動送信できなかった場合、お客様の操作により購入情報を送信することができます。

1 メニューボタンを押す

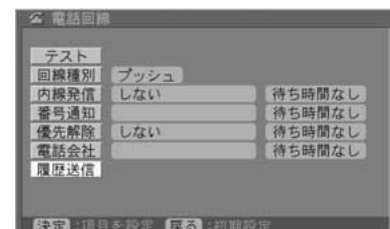
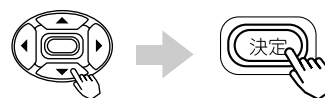
メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

4 で「電話回線」を選び、決定ボタンを押す

電話回線画面が表示されます。

5 で「履歴送信」を選び、決定ボタンを押す

購入情報が送信されます。送信が終了するまで約1分かかります。

送信を開始すると、初期設定画面に自動的に戻ります。

6 メニューボタンを2回押す

終了します。

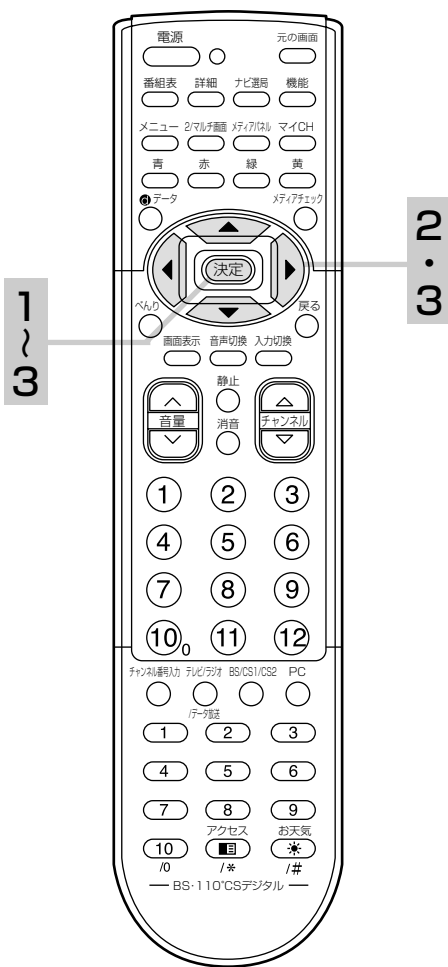
お守りください

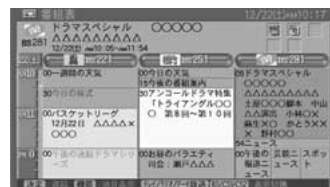
●B-CASカードが挿入されていないと履歴送信はできません。

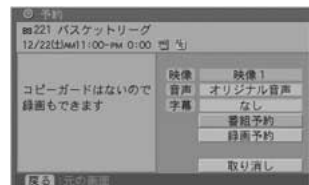
お知らせ

●購入情報の送信が終わると、メールが発行されますので内容をご確認ください。

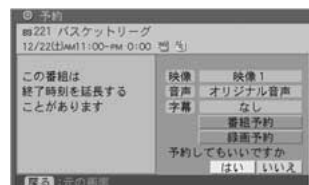
番組を予約する

まだ放送が始まっていない番組を予約することができます。予約できる番組は25番組までです。ビデオコントローラーやi.LINKを使用すれば、予約とビデオの録画を連動させることもできます。

1 番組表 78 やナビ選局 85 などで、予約する番組を選び、決定ボタンを押す

予約画面が表示されます。

2 で「番組予約」または「録画予約」を選び、決定ボタンを押す

予約確認が表示されます。

番組予約	本機の電源をオン（受像）にしておけば、開始時刻になると予約されたチャンネルを選局します。以降は通常の操作が行えます。
録画予約	開始時刻になると予約されたチャンネルを選局し、終了時刻まで番組固定状態（操作できない状態）になります。電源スタンバイ状態から予約開始した場合、予約終了後は電源スタンバイ状態に戻ります。ビデオ録画を連動させることができます。

3 で「はい」を選び、決定ボタンを押す

予約登録され、元の画面に戻ります。

予約しないときは「いいえ」を選び、決定ボタンを押します。

お知らせ

- ●録画予約をするには、ビデオコントローラーを設定する 164 または、i.LINK対応D-VHSの場合、操作パネルの機器設定 113 により、操作パネルへの登録を行ってください。
- ●予約する番組が、ペイ・パー・ビュー番組の場合、「視聴購入」、「録画購入」が表示されます。視聴購入を選ぶと番組予約、録画購入を選ぶと録画予約として登録されます。番組によっては録画購入できない場合があります。
  また、予約実行時、B-CASカードが挿入されていない、またはB-CASカードの条件によっては予約実行されません。実際に課金されるのは、予約実行時になります。
- ●予約する番組が視聴制限の対象になる場合、制限解除画面が表示されます。
- ●すでに予約した番組と放送時間が重なる場合は予約できません。また、放送開始時刻の30秒前からは予約できません。
- ●予約実行時の「映像」、「音声」、「字幕」を選択できる場合があります。但し、追加購入が必要になる場合や、選択するものがない場合は選択できません。
- ●録画予約ではi.LINK接続された機器が優先されます。録画機器を変更する場合などは、マニュアル予約する 99 をご覧ください。

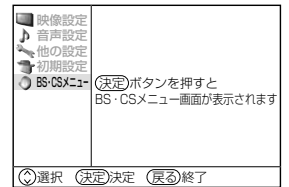
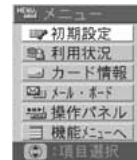
番組を予約する（つづき）

その他の予約設定

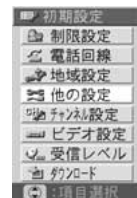
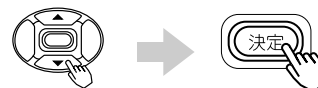
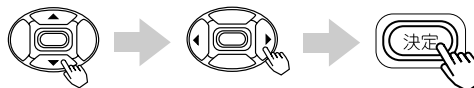
マルチビュー録画の設定

i.LINK接続のD-VHSビデオデッキでデジタル録画する場合、予約画面がマルチビュー放送のときは、副番組も同時に録画する設定ができます。お買い上げ時は「する」に設定されています。

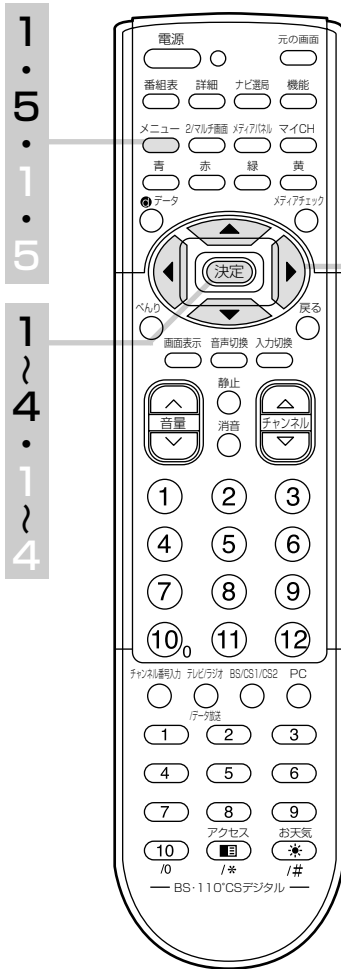
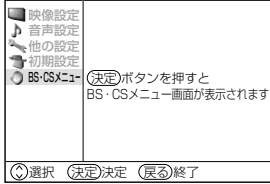
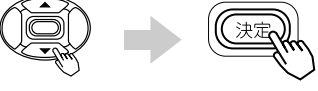
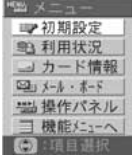
1 メニューボタンを押し、 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

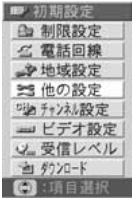
BS・CSメニュー画面が表示されます。

2 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

3 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

他の設定画面が表示されます。

4 で「マルチビュー録画」を選び、 で選択し、決定ボタンを押す

する	マルチビュー放送の場合、主番組と副番組が一緒に出力されます。
しない	マルチビュー放送の場合でも、ご覧になっている内容だけが出力されます。

5 メニューボタンを2回押す

終了します。

終了時間延長の設定

野球中継などで放送終了時間が延長された場合、自動的に予約終了時刻を延長します。

1 メニューボタンを押し、(◎)でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

2 (◎)で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

3 (◎)で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

他の設定画面が表示されます。

4 (◎)で「終了時間延長」を選び、決定ボタンを押す

する	終了時刻にあわせて予約時間を延長します。
しない	予約登録した時刻で終了します。

5 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。

お知らせ

- 「録画」で予約を設定後、テレビ（地上波）放送などを視聴中に予約時間になると、自動的にBS・CSデジタル放送の画面に切換わります。（これは有料番組の課金操作が必要な場合などに備えるためのものです。）
  引き続き元のテレビ放送などをご覧になる場合は、再度選局してご覧ください。
- 録画機器側で別の予約を設定されて予約が重なった場合などは、ご希望の番組が録画できない場合があります。
- BS・CSch固定状態では、BS・CS/モニター出力端子からの映像出力モードを設定することができます。74

予約後の注意点

番組を予約したあとは、次の点にご留意ください。

- 有料番組を予約した場合は、予約が実行されると自動的に番組が購入されます。
- 有料番組の予約が実行されると実際には視聴や録画されていなくても料金が請求されます。
- 番組によっては放送時間が変更される場合があります。
- 録画予約したときは、リモコンで電源を切ってください。また番組予約は本機の電源がオン（受像）しているときに動作します。予約した番組が始まる20〜30秒前には、本機の電源をオンにしておいてください。

録画を選んだ場合

- 「録画」で予約をしても、コピーガードがかかっている番組は録画機器で正しく録画することができません。
- ビデオコントローラーを使用して録画機器に予約録画する場合は下記の点にご留意ください。
  1.録画機器の電源は「切」にし、予約録画の待機状態にはしないでください。
  2. 166 で「入力切換：しない」に設定した場合は、録画機器の入力を本機に接続した入力に切り換えてください。また、録画機器にロック機能がある場合は、解除しておいてください。
  3.予約実行中は、録画機器の操作は行わないでください。録画が中止されるなどにより、正常に録画できません。
- i.LINK接続を使用して録画機器に予約録画を設定した場合、録画機器は予約録画の待機状態のままにしておいてください。
- ビデオコントローラーやi.LINK接続を使用できない録画機器で録画する場合は、録画機器側で録画予約の設定を行ってください。

視聴を選んだ場合

予約した番組が始まる20〜30秒前には本機の電源をオン（受像）にしておいてください。電源をオフ（機能待機）にしていると予約が無効になります。

予約の確認、取り消しをする

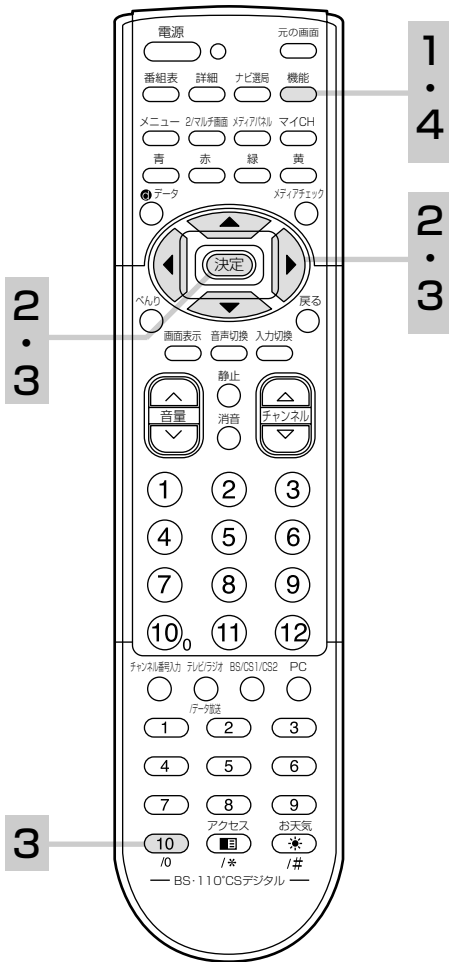
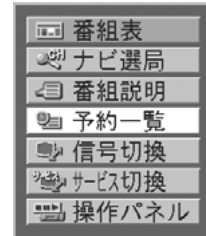
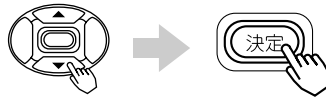
「予約一覧」画面では、予約された番組の確認、取り消しができます。

1 機能ボタンを押す

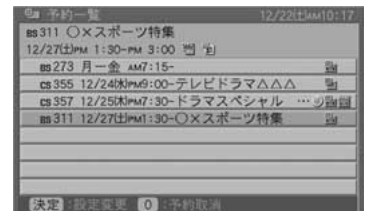
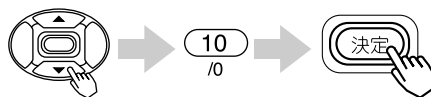
機能メニュー画面が表示されます。

2 で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

予約一覧画面が表示されます。

番組表
ナビ選局
番組説明
予約一覧
信号切換
サービス切換
操作パネル

3 内容を確認する

予約を取り消しする場合、取り消しする予約の番号を で選び、10/0ボタンを押します。取り消し確認では「はい」を選択し、決定ボタンを押します。

予約一覧 12/22(土)AM10:17
BS311 ○×スポーツ特集
12/27(土)PM 1:30-PM 3:00
BS273 月一金 AM7:15-
CS355 12/24(水)PM9:00-テレビドラマ△△△
CS357 12/25(木)PM7:30-ドラマスペシャル …
BS311 12/27(土)PM1:30-○×スポーツ特集
決定:設定変更 0:予約取消

4 機能ボタンを2回押す

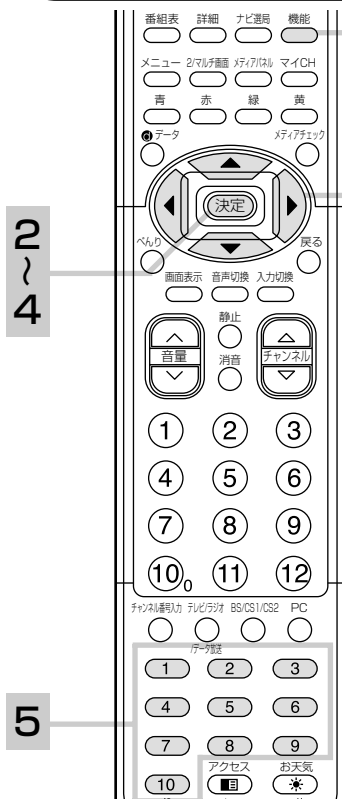
終了します。

お知らせ

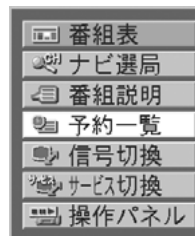
- 削除した記録は戻すことができません。
- は番組予約を、
  は録画予約を、
  はi.LINK接続されたD-VHSで録画予約されていることを示します。
- マニュアル予約の場合、番組名は表示されません。
- 予約開始20秒前から、開始後10秒の間は、予約一覧画面を表示することができません。

マニュアル予約する

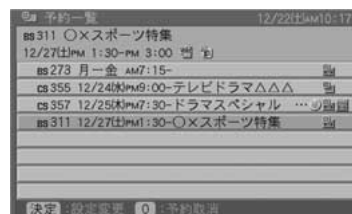
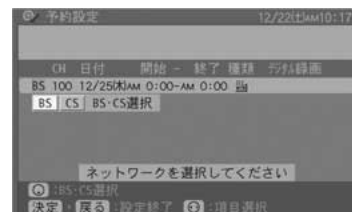
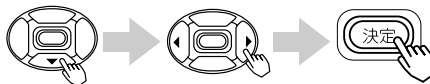
予約したいチャンネル、開始・終了時刻、開始日などを直接指定して予約します。現在より1年先までの番組を予約することができます。

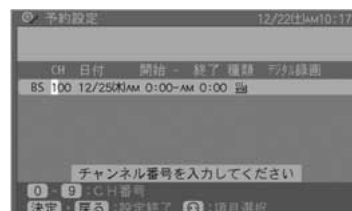
重要 マニュアル予約では、ペイ・パー・ビュー番組や視聴制限の対象になる番組は、ご覧になることができません。

1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。

2 で「予約一覧」を選び、決定ボタンを押す

予約一覧画面が表示されます。

3 で登録したい番号を選び、決定ボタンを押す

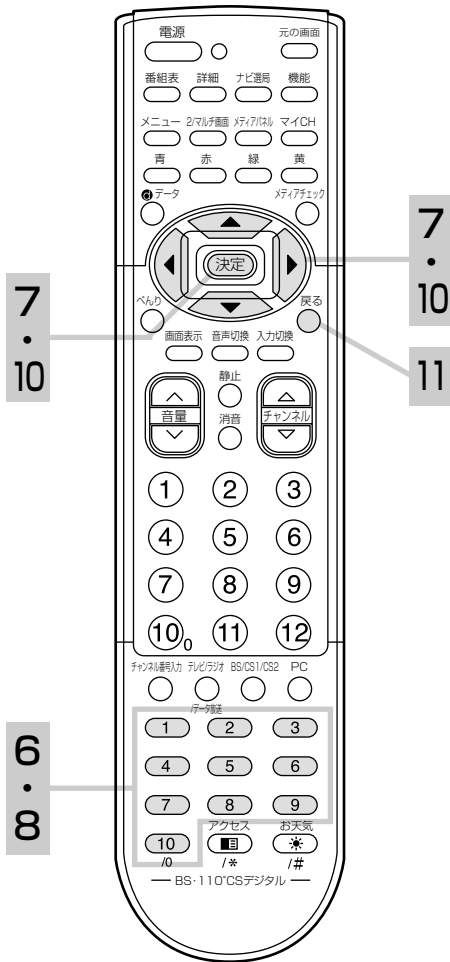
予約設定画面が表示されます。

4 を押し、で「BS」または「CS」を選び、決定ボタンを押す

5 チャンネル番号を数字ボタンで押す

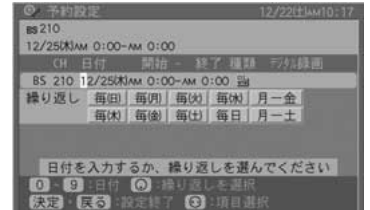
例）210チャンネルのとき

お知らせ

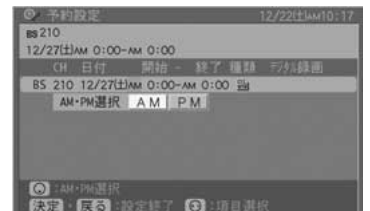
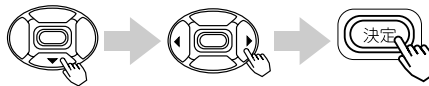
- 予約している途中で修正するときは、ボタンを繰り返し押して、修正したいところまで戻して行ってください。
- 昼の12時は「PM00:00」、夜の12時は「AM00:00」に合わせてください。
- ひとけたの数字を合わせるときは、初めに「0」ボタンを押してください。
- i.LINK接続したD-VHSの設定については 113 をご覧ください。

予約実行について

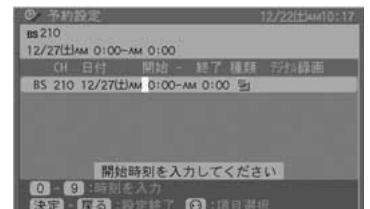
- 予約開始時刻の10秒前に、予約開始のメッセージが画面下側に表示されます。
- 録画予約実行中は、BS・CSch固定状態 73 になります。
- 録画予約実行中にBS・CSch固定を「切」にすると 73 、予約が解除されます。予約を解除しても、ビデオは録画状態のまま終了時刻になっても停止しません。
- 電源スタンバイ状態から予約実行される場合、開始時刻の約20秒前に電源が入ります。番組終了後、電源スタンバイ状態に戻ります。
- 録画予約した番組が登録してある場合、i.LINK待機を「しない」に設定 169 していても「する」と同じ動作になります。
- 録画予約の場合、接続しているビデオによっては、開始と終了部分が数秒録画できない場合があります。

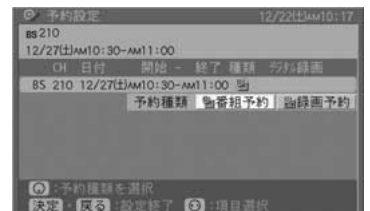
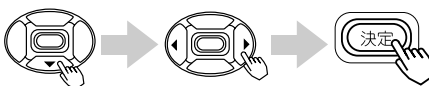
予約する（つづき）

6 日にちを数字ボタンで押す

例）2月9日のとき

●日にちを合わせると曜日は自動的に表示されます。
●繰り返しを設定するときは、　を押し、　で選び、決定ボタンを押します。

7 を押し、で「AM」または「PM」を選び、決定ボタンを押す

選択しない場合は「▶」を押します。

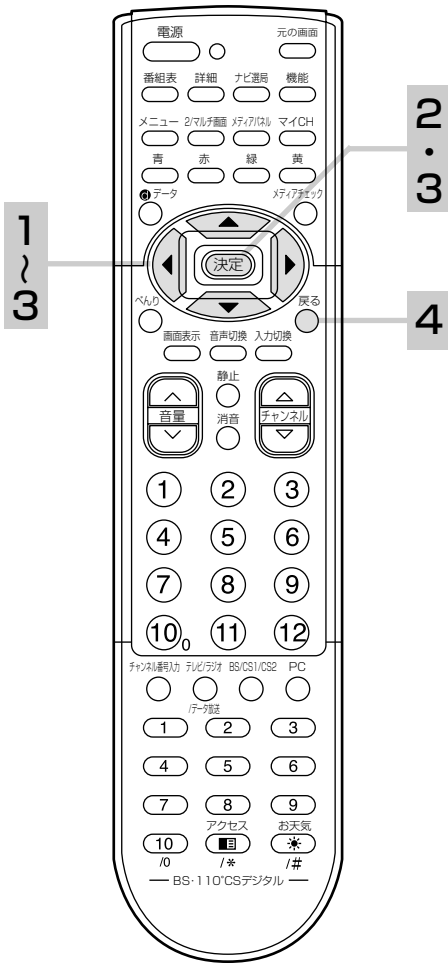
8 開始時刻を数字ボタンで押す

例）10時30分のとき

9 手順 7 、8 と同様に終了時刻を設定する

10 を押し、で予約種類を選び、決定ボタンを押す

「番組予約」を設定すると、終了時刻の指定はできません。

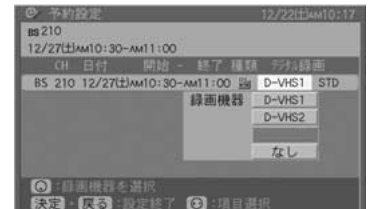
11 設定が終了したら、戻るボタンを押す

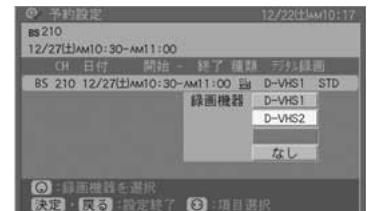
予約内容を確認し、予約一覧画面に戻ります。

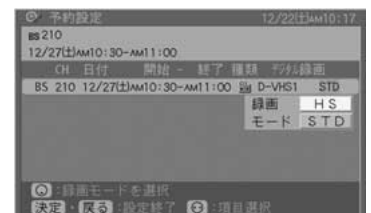
i.LINK接続したD-VHSビデオで録画予約する場合、操作パネルに登録した機器を選択することができます。

D-VHSビデオを選択する

予約設定画面を表示させます。99

1 でデジタル録画の項目を選ぶ

録画機器が表示されます。

2 で使用する機器を選び、決定ボタンを押す

録画機器が設定されます。

3 で録画モードを選び、決定ボタンを押す

録画モードが設定されます。

番組を選んで予約した場合、録画モードの設定はできません。

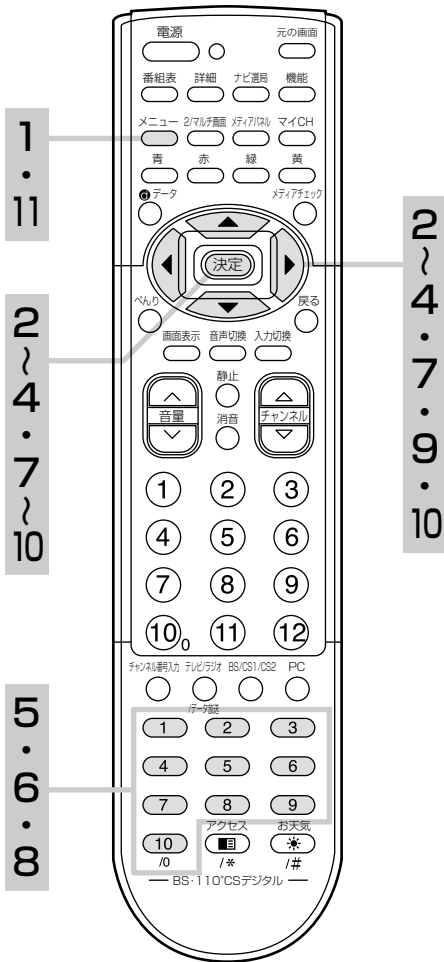
4 設定が終了したら、戻るボタンを押す

予約内容を登録し、予約一覧画面に戻ります。

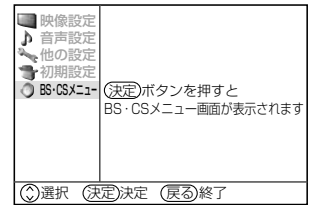
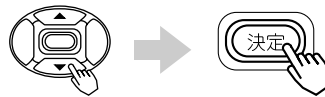
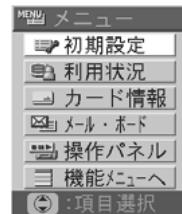
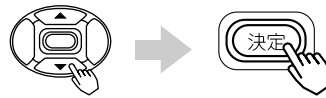
お知らせ

- ●アナログ録画する場合は、録画機器の「なし」を設定してください。
- ●予約実行時にi.LINK接続した他の機器で録画していた場合、録画予約は実行されません。
- ●マニュアル予約した場合、録画モードの設定が正しくないと録画できない場合があります。

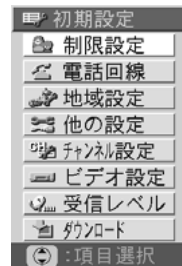
視聴制限を設定する

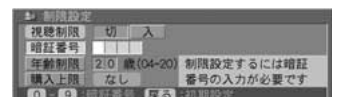
視聴制限（年齢制限・一番組購入上限）をご使用になるには、暗証番号の登録が必要です。
視聴制限を「入」に設定すると、視聴制限（年齢制限・一番組購入上限）の対象になる番組は暗証番号を入力しないと視聴したり、購入したりできません。
お買い上げ時は、視聴制限は「切」に設定されています。

1 メニューボタンを押す

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

4 で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

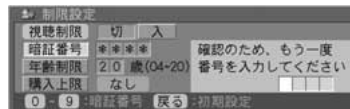
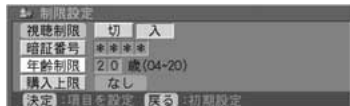
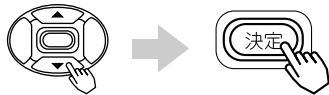
制限設定画面が表示されます。

5 設定する暗証番号を数字ボタンで押す

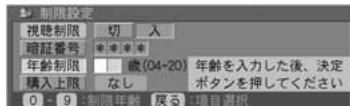
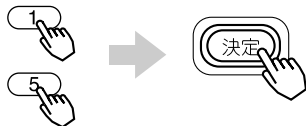
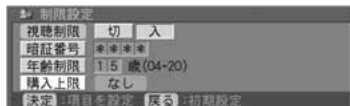
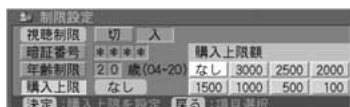
例：1234のとき

数字ボタンを押しても画面には「*」と表示されます。

お知らせ

登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。
万一忘れてしまった場合は、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合せください。

6 確認のために、もう一度、暗証番号を数字ボタンで押す

視聴制限が「入」になります。

7 で「年齢制限」を選び、決定ボタンを押す

8 設定する年齢を数字ボタンで押し、決定ボタンを押す

例）15のとき

9 で「購入上限」を選び、決定ボタンを押す

10 で金額を選び、決定ボタンを押す

11 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。

お知らせ

年令制限について

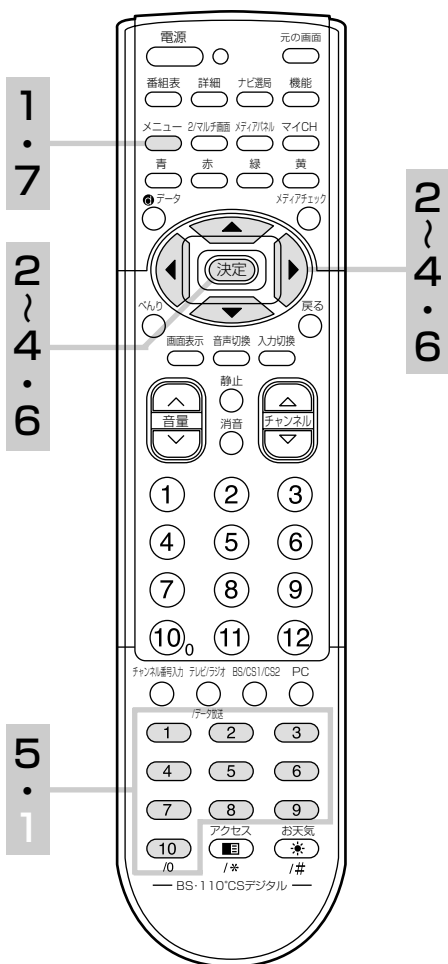
- 年齢制限は4～20まで1才単位に設定できます。
- 「20」に設定すると番組の対象年齢に関係なく、そのまま視聴できます。
- お買い上げ時は「20」に設定されています。
- 番号を入力している途中で修正するときは、ボタンでくり返し押して、修正したいところまで戻して行ってください。

購入上限について

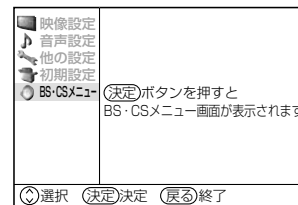
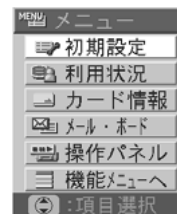
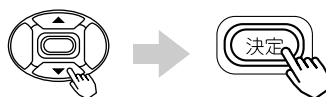
- 購入上限は、有料番組などを購入するとき、暗証番号による確認なしに購入できる上限金額を設定するものです。
- 購入上限を「なし」に設定すると番組の料金に関係なく、そのまま購入できます。
- お買い上げ時は「なし」に設定されています。

視聴条件の設定（つづき）

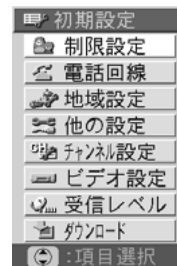
視聴制限を変更する

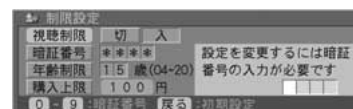
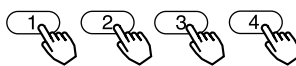
視聴制限を変更するには、暗証番号の入力が必要です。

1 メニューボタンを押す

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

4 で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

制限設定画面が表示されます。

5 暗証番号を数字ボタンで押す

例：1234のとき

数字ボタンを押しても画面には「＊」と表示されます。

お知らせ

- 登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。
  万一忘れてしまった場合は、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
- で「切」を選び、決定ボタンを押すと、視聴制限が解除になり、BS・CSメニューの初期設定画面へ自動的に戻ります。
  視聴制限を解除しても、年齢制限、購入上限の設定は保存されます。

6 ⊙で変更する設定を選び、決定ボタンを押す

102、103 の手順5～10に従い設定を変更します。

7 メニューボタンを2回押す

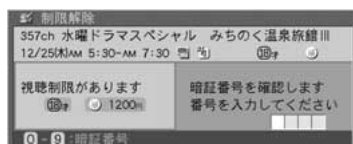
設定を終了します。

視聴制限を一時的に解除したいとき

視聴制限の対象になる番組を選んだとき

視聴制限の対象になる番組を選んだ場合、制限解除画面が表示されます。
暗証番号を入力して、視聴制限を一時的に解除する必要があります。

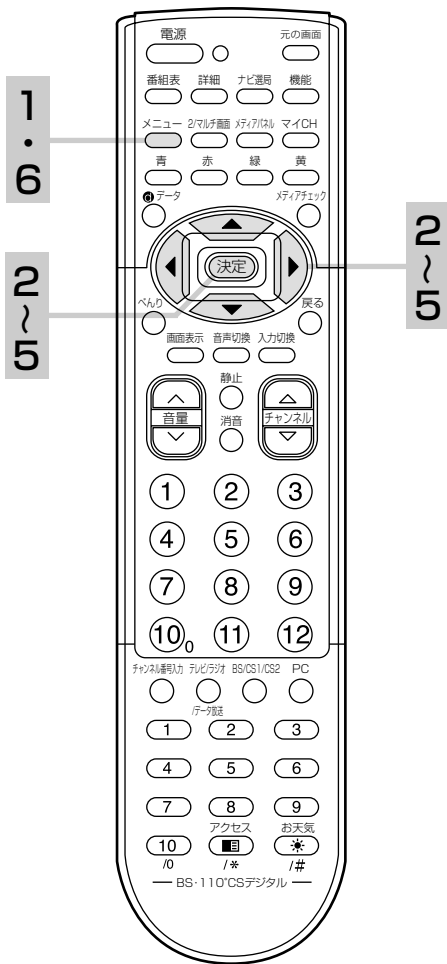
1 暗証番号を数字ボタンで押す

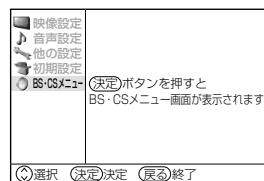
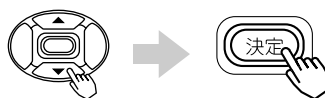
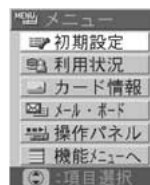
例）1234のとき

視聴制限は一時解除されますが、チャンネルを切り換えると制限状態に戻ります。

お知らせ

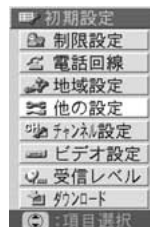
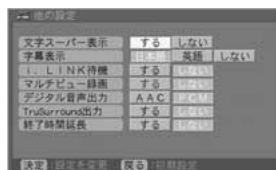
暗証番号を間違えると、もう一度、制限解除画面が表示されます。3回間違えると、制限解除画面は表示されません。始めから操作をやり直してください。

字幕や文字スーパーを見たいとき

字幕のある番組、文字スーパーのある番組での表示設定ができます。

1 メニューボタンを押す

2 で BS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

4 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

他の設定画面が表示されます。

5 で設定する項目を選び、決定ボタンを押す

文字スーパー表示

する	文字スーパーを表示します。ただし、表示地域が指定されたときは、「地域設定」の県域番号 156 に従い表示します。
しない	文字スーパーを表示しません。ただし、強制的に表示するよう指定されたときは、この設定は無効になります。

字幕表示

日本語	日本語の字幕を表示します。
英語	英語の字幕を表示します。
しない	字幕を表示しません。ただし、強制的に表示するよう指定されたときは、この設定は無効になります。

6 メニューボタンを2回押す

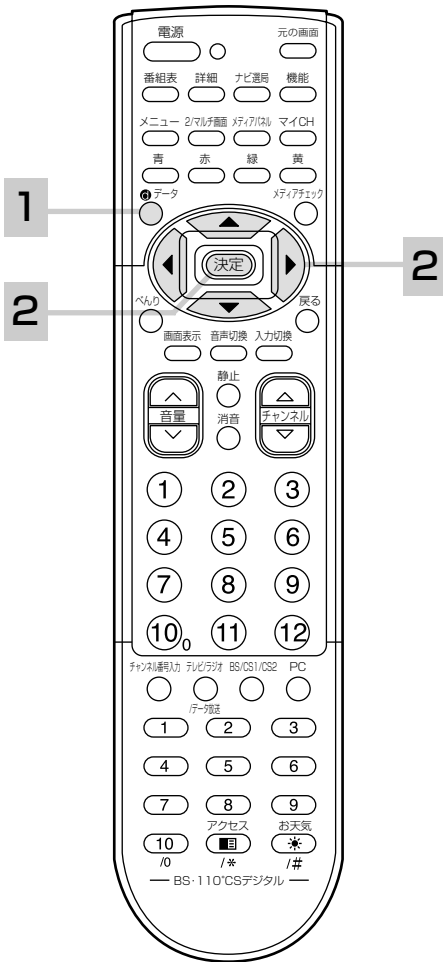
設定を終了します。

お知らせ

- ●設定しても送られてくる情報によっては設定が無効になる場合があります。
- ●お買上げ時は、「文字スーパー表示」は「する」、「字幕表示」は「しない」に設定されています。
- ●文字スーパーは視聴者にお知らせしたいことを番組放送中の画面上に文字で表示します。
- ●字幕表示は 108 でも選択ができます。

BS・CSデータ放送を見たいとき

BS・CSデータ放送では、放送局より送られてくる画面情報に従い操作することで、いろいろな情報をご覧になることができます。
BS・CSデータ放送には、次のようなものがあります。
●テレビ放送やラジオ放送と一緒にデータ放送が行われるもの。
●番組自体がデータ放送のもの。（データ放送画面が自動的に表示されます。）

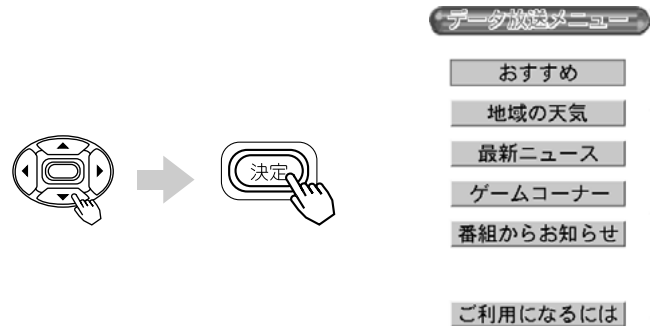
画面表示に 、 、 いずれかが表示されます。

データ放送画面で操作できる内容は放送局により変わります。ここでは、テレビ番組に関連したデータ放送が行われた場合を例に説明しています。

1 データボタンを押す

データ放送画面が表示されます。

画面表示以外のメニュー画面などを表示している場合、メニュー画面などを終了させてからデータボタンを押してください。

2 で項目を選び、決定ボタンを押す

データ放送メニュー
おすすめ
地域の天気
最新ニュース
ゲームコーナー
番組からお知らせ
ご利用になるには

項目の選択方法や選択状態を示す方法、操作するボタンなどは番組によって異なります。
画面の指示に従って操作してください。

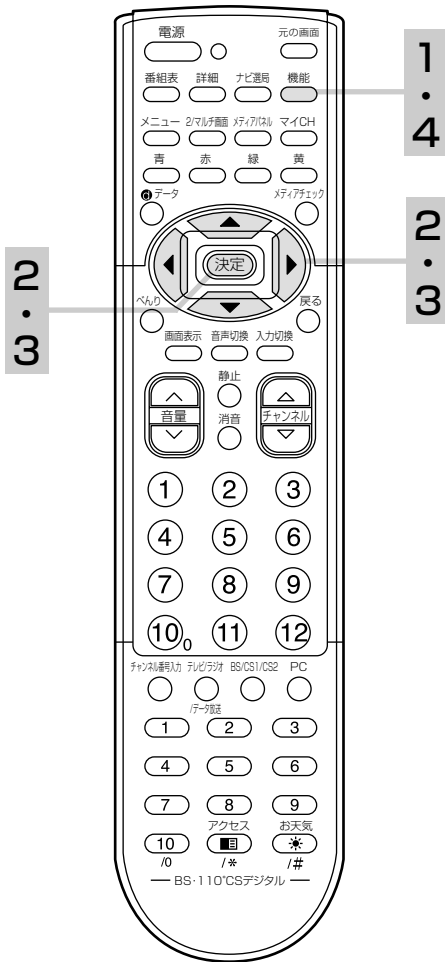
3 BS・CSデータ放送を終了したい場合は、画面の指示に従って操作する

指示がない場合は、データボタン、戻るボタンで終了できる場合もあります。

お知らせ

●データ放送画面は、チャンネルや画面内容によっては、表示されるまでにかなり時間がかかる場合（2分位）がありますが、故障ではありません。
●テレビ放送に連動したデータ放送画面を表示しているときに、番組表を表示すると、データ放送画面の一部または全てが表示されなくなることがあります。
●BS・CSデータ放送では、本機に接続された電話回線を使って通信を行う場合があります。通信中は電源ボタン以外の操作ができなくなることがあります。
●操作のしかたは番組の内容によって異なります。画面の指示に従って次のボタンを使用します。
カーソルボタン ／ 戻るボタン ／ 数字ボタン（1～10/0）／ 赤、青、緑、黄ボタン

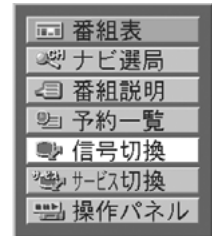
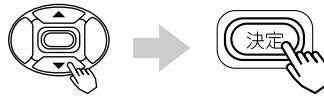
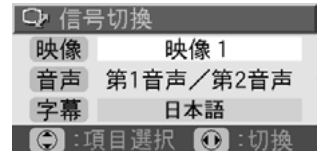
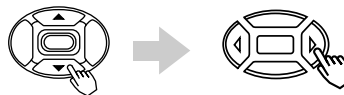
複数の映像、音声からお好みのものを選ぶ

番組により、映像や音声などの信号を切換えて楽しむことができます。
切り換え可能な信号の内容は番組によって異なります。切り換えた信号が有料な場合もあります。

1 機能ボタンを押す

機能メニュー画面が表示されます。

2 で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

信号切換画面が表示されます。

番組表
ナビ選局
番組説明
予約一覧
信号切換
サービス切換
操作パネル

3 で項目を選び、 で切り換える

映像	複数の映像がある場合は切り換えができます。 マルチビュー放送の場合、映像の切り換えに連動して音声も自動で切り換わります。
音声	複数の音声がある場合は切り換えができます。

例）音声1が二重音声のとき

音声1（主） → 音声1（副） → 音声1（主+副） → 音声2（ステレオ）

切り換えた信号が有料の場合、購入画面が表示されます。92 と同様に購入操作を行ってください。

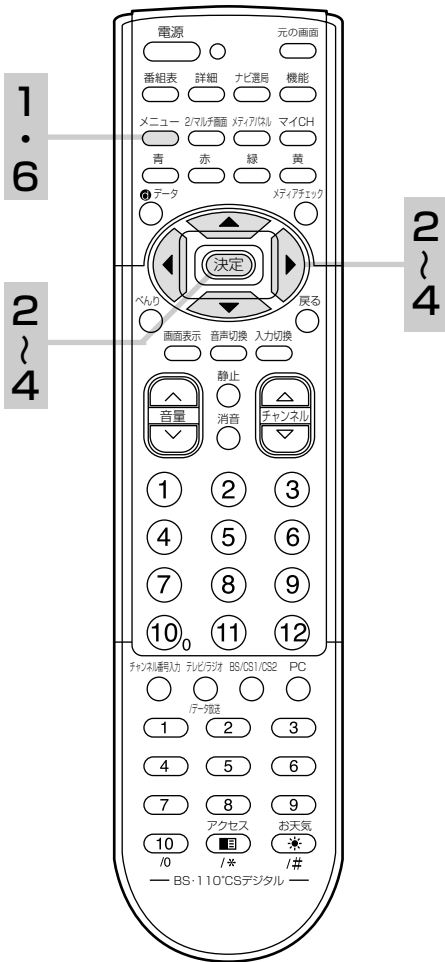
4 機能ボタンを2回押す

切り換えを終了します。

お知らせ

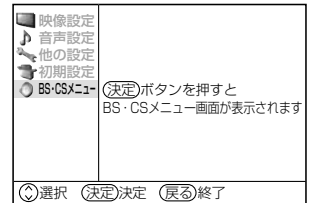
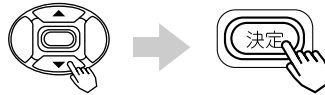
- 映像や音声の名称が放送局側から送られている場合は、送られてきた名称を表示します。
- 字幕のある番組のときは、3 で切り換えができます。電源をスタンバイ状態にすると、106 の字幕表示で設定した状態に戻ります。

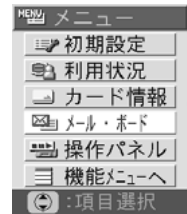
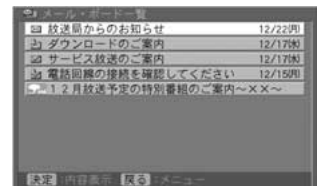
メールを見る

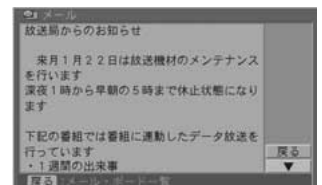
メールはBS・CSデジタル放送局からお客さまへ送られるメッセージです。メール内容には、電話回線の接続異常やソフトウェアを書き換えるためのダウンロード情報などもあります。メール内容は必ず確認してください。
ボードは、CS放送での「放送局からのお知らせ」です。メールと同じ操作でご覧になれます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 で BS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「メール・ボード」を選び、決定ボタンを押す

メール・ボード一覧画面が表示されます。

4 で見たいメールを選び、決定ボタンを押す

●メールの種類については 193 をご覧ください。
●ボードの場合は、CS放送サービスのロゴが表示されます。

5 内容を確認する

続きの内容を見るときは、［▼］を選び、決定ボタンを押します。

6 メニューボタンを2回押す

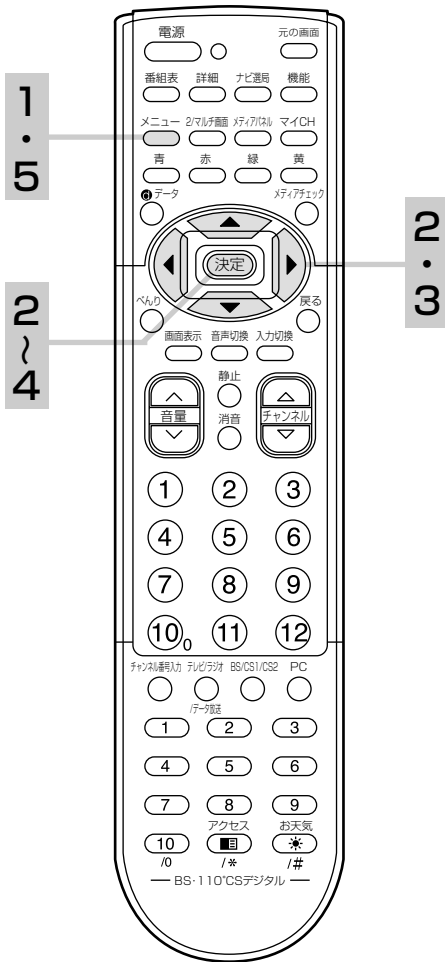
終了します。

お知らせ

放送局から送られてくるメールは24通まで記録されます。24通を超えた場合、古いメールから自動的に削除されます。

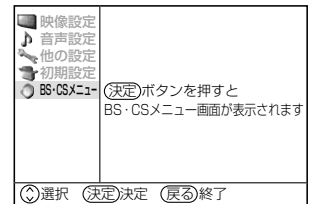
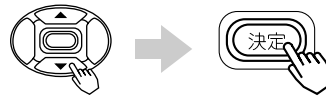
お守りください

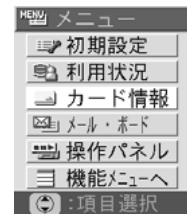
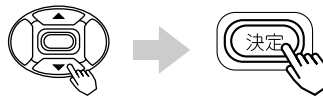
B-CASカードが挿入されていないとメールは受信できません。

カード情報を見る

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「カード情報」を選び、決定ボタンを押す

カード情報が表示されます。

4 カードテストを行う場合は、決定ボタンを押す

「カードテストを行う」161 もご覧ください。

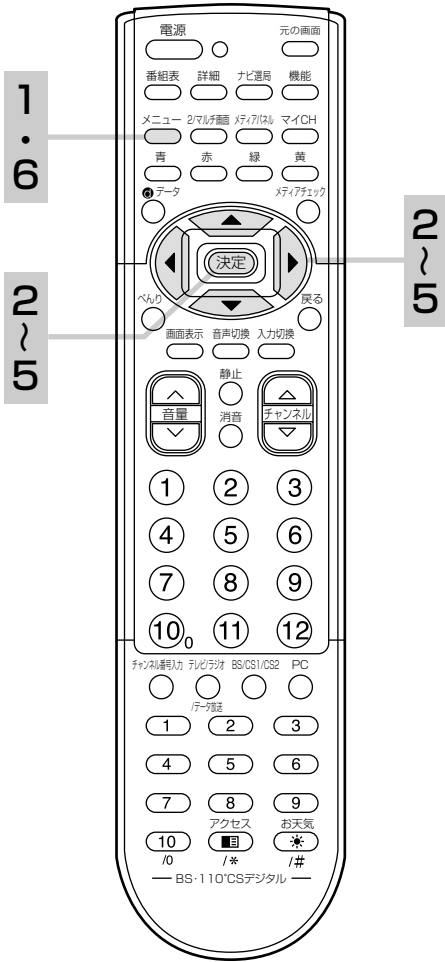
5 メニューボタンを2回押す

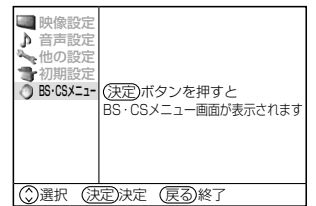
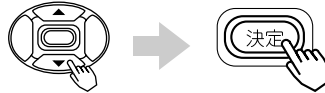
終了します。

お知らせ

グループIDは表示されないことがあります。

TruSurround出力の設定

左右のスピーカーのみで、手軽にBS・CSデジタル放送の臨場感あふれるサラウンドをお楽しみいただけます。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

初期設定画面が表示されます。

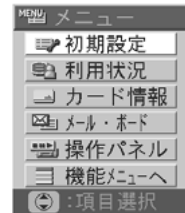
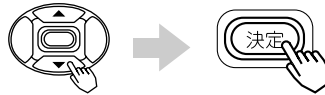
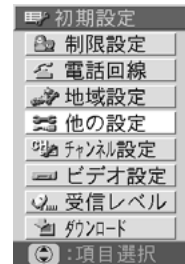
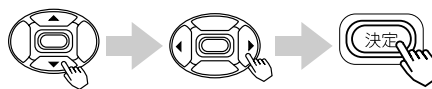
4 で「他の設定」を選び、決定ボタンを押す

他の設定画面が表示されます。

5 で「TruSurround出力」を選び、で選択し、決定ボタンを押す

他の設定

文字スーパー表示	する	しない	
字幕表示	日本語	英語	しない
i．LINK待機	する	しない	
マルチビュー録画	する	しない	
デジタル音声出力	AAC	PCM	
TruSurround出力	する	しない	
終了時間延長	する	しない	

決定 :設定を変更　戻る :初期設定

する	サラウンド効果のある音声が出力されます。
しない	サラウンド効果のない、そのままの音声が出力されます。

6 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。

お知らせ

- TruSurround出力の設定は、サラウンドの設定 49 より優先されます。
- サラウンド効果は、放送されている音声モードによって異なります。
  番組がモノラル放送のときなどでは、サラウンド効果が得られない場合もあります。
- 光デジタル音声出力端子からの信号には、サラウンド効果は得られません。

i.LINKについて

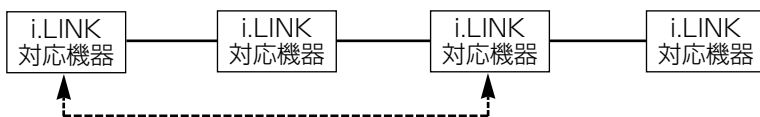
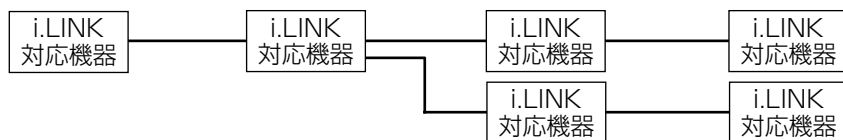
i.LINKの規格や特長について説明します。i.LINKを使って操作する前にお読みください。
なお、i.LINKを使った接続や操作には、機器によって異なるものがあります。本機でできる操作については次頁をご覧ください。

重要 本機に搭載されている i.LINK端子（MPEG(TS)）と、DVカメラやDVビデオデッキに付いているDV端子とはお使いになるケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることはできません。DV端子を備えた機器はDV圧縮データを、本機はMPEG2圧縮TS（トランスポート・ストリーム）データをやりとりします。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であってもTSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続すると、デジタルデータのやりとりはできません。

i.LINKとは

i.LINK（アイリンク）とは、デジタル映像やデジタル音声などのデータ転送や、接続した機器に対して、操作なども行えるシリアル転送方式のデジタルインターフェースIEEE1394の呼称です。IEEE1394は米国電子電気技術者協会（IEEE）によって標準化された国際標準規格です。
現在、100Mbps／200Mbps／400Mbpsの転送速度があり、転送速度はi.LINK端子の周辺にそれぞれS100、S200、S400と表示されます。本機では最大200Mbpsの転送が可能なため、S200と表示されています。また、i.LINKは直接つないだ機器だけでなく、他の機器を中継して接続した機器に対してもデータの転送や制御が行えるので、順序を気にせずに機器を接続していくことができます。ケーブル1本で簡単に接続でき、高速で大量のデータを転送できるi.LINKは、今後さまざまなデジタルAV機器やパソコン周辺機器に採用され、デジタルネットワークを実現するようになると考えられています。
ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作のしかたが異なったり、接続しても操作やデータのやりとりができない場合があります。

i.LINKの接続方法

●i.LINK対応機器の接続はi.LINKコードで接続します。最大17台まで接続することができます。

●i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続の場合は、最大63台まで接続することができます。

接続についてのご注意

●本機は最大転送速度が200Mbpsのため、S200対応以上の4ピンi.LINKコード（別売り）をご使用ください。
●i.LINK対応機器と接続してご使用中のときは、使用していない機器のi.LINKコードを外したり、接続したり、電源のオン／オフは行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
●接続が輪（ループ接続）にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。128
●i.LINK対応機器の中には、電源が切られているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もご覧ください。また、本機では「i.LINK待機」の設定で電源オフ時のi.LINK制御の設定を切換えできます。169
●パソコンやパソコン周辺機器を接続していると誤作動を起こす場合があります。
●i.LINKコードをモニターに近付けると、映像・音声が乱れたり、誤動作を起こす場合があります。
iLINKコードは、モニターからできるだけ離して配線してください。

本機と接続して動作するi.LINK対応機器

本機では、下記のi.LINK対応機器と接続したときの動作を確認しています。（2002年3月現在）

D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ：DT-DRX100（日立製）

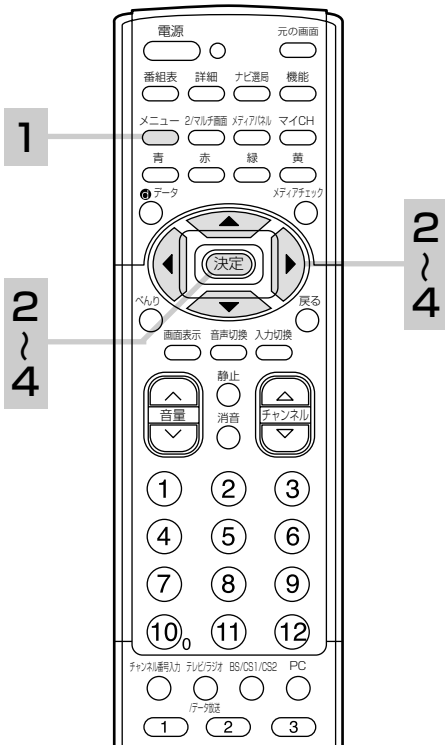
本機とi.LINK対応機器との接続については、「i.LINK対応のD-VHSビデオデッキとの接続」128 をご覧ください。

お知らせ **日立製D-VHSデジタルハイビジョンデッキの110度CSデジタル放送対応状況について**
●一部のDT-DRX100では、110度CSデジタル放送の録画再生においてブロックノイズが発生する場合があります。
詳しくは、198 記載のお客様ご相談窓口にお問い合わせいただきますようお願いします。
●DT-DR20000はBSデジタル放送のみの対応であり、110度CSデジタルの録画再生には対応しておりません。

D-VHSビデオデッキを操作する

i.LINKケーブルでつないだi.LINK対応D-VHSビデオを本機で操作したり、映像や音声などのデータをやりとりするには、必ず操作したい機器をリンクしてください。

リンク（LINC）とは

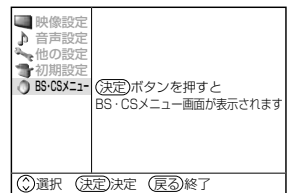
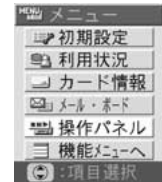
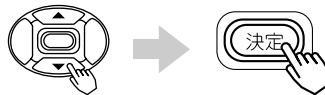
「リンクする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。
本機はケーブルで接続しただけではi.LINK対応機器からの映像や音声を見たり録画したりすることはできません。
操作する前に、必ず見たり、録画したい相手の機器をリンクしてください。

お知らせ

- ●本機で登録できるi.LINK対応のD-VHSビデオは3台までです。
- ●3台以上の機器が接続されている状態でも、機器設定画面 115 で操作パネルへの登録を解除していて、登録台数が3台に満たないときは、新たに接続して機器が自動的に登録されます。
- ●機能メニューの「操作パネル」画面で選ぶこともできます。75

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「操作パネル」を選び、決定ボタンを押す

操作パネル画面が表示されます。

4 で操作したい機器を選び、決定ボタンを押す

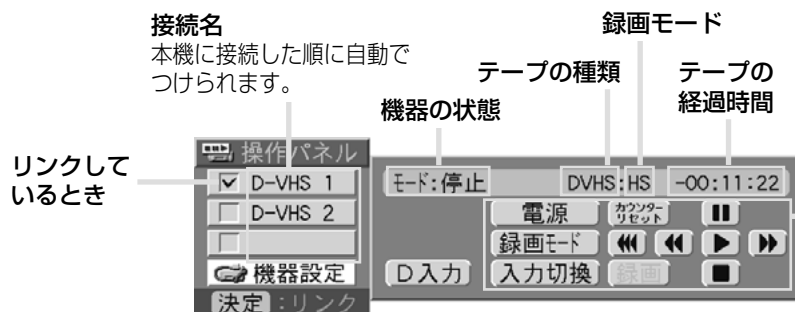
接続名の前に✔が表示され、相手の機器とリンクされます。

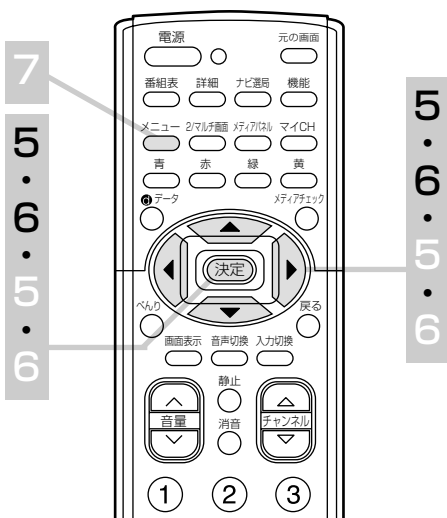
- ●登録した機器が3台までのときは、自動的に操作パネルに登録されます。操作パネルに表示される名称（接続名）は、本機に接続した順に自動でつけられます。
- ●操作パネルに表示されている機器がリンクできない場合、機器設定画面 115 で実際に接続されているかをご確認ください。

BS・CSデジタル放送の楽しみかた

操作パネルの見かた

操作ボタンは で選び、決定ボタンを押すと、操作が始まります。

接続名
本機に接続した順に自動でつけられます。

操作ボタン
- ・電源
- ・録画モード
- ・入力切換
- ・カウンターリセット
- ・録画
- ・⏪⏪：高速巻戻し
- ・⏪：巻戻し
- ・❚❚：一時停止
- ・▶：再生
- ・■：停止
- ・⏩：早送り

重要
- i.LINK対応機器の録画中に、i.LINKで接続している他の機器の電源を切ったり、別の機器をi.LINKで接続したりしないでください。録画中のデータが途切れることがあります。
- リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。

お知らせ

- 接続する機器によっては、接続する機器の電源が入っていないと正しく接続できない場合があります。そのような時は、接続機器の電源を入れてから接続してください。
- リンクしている機器が再生中の場合は、録画モードを変更することはできません。
- 操作ボタンを選んで決定ボタンを押してから、実際に表示が現れるまで数秒かかる場合があります。
- 操作ボタンを使用して操作する場合と、ビデオのリモコンで操作する場合とで動作が異なる場合があります。
- デジタル録画モード（HS/STDなど）以外の録画モード（標準/3倍など）は＊＊＊と表示されます。
- 登録機器がないときは、操作ボタンなどが表示されている部分は表示されません。
- リンクしている機器がないときは、操作ボタンなどは選択できません。操作したい機器は、必ずリンクしてください。
- リンクしているD-VHSビデオを、ビデオのリモコンなどで直接操作したい場合、操作内容に応じて表示が変わります。ただし、操作パネルにないものは、正しく機器の状態が表示されないことがあります。
- 録画モードはリンクしている機器が再生中のときは、テープに録画されたデジタル録画モードを示し、停止や録画中などの場合は、デジタル録画時に使用する録画モードを示します。
- 高速巻戻しは、接続するビデオによっては、操作できない場合があります。
- リンクしている機器が録画中や再生中のときは、リンクする機器を変更できない場合があります。
- リンクしていない機器を操作することはできません。
- 操作する機器の取扱説明書をよくお読みください。

録画する場合

5 で「入力切換」を選び、決定ボタンを押す

リンクしている機器が、本機からの信号を録画できる状態になっているかは、D-VHSビデオの取扱説明書をご確認ください。

6 で「録画」を選び、決定ボタンを押す

録画が開始されます。

録画した番組を見る場合

5 で「D入力」を選び、決定ボタンを押す

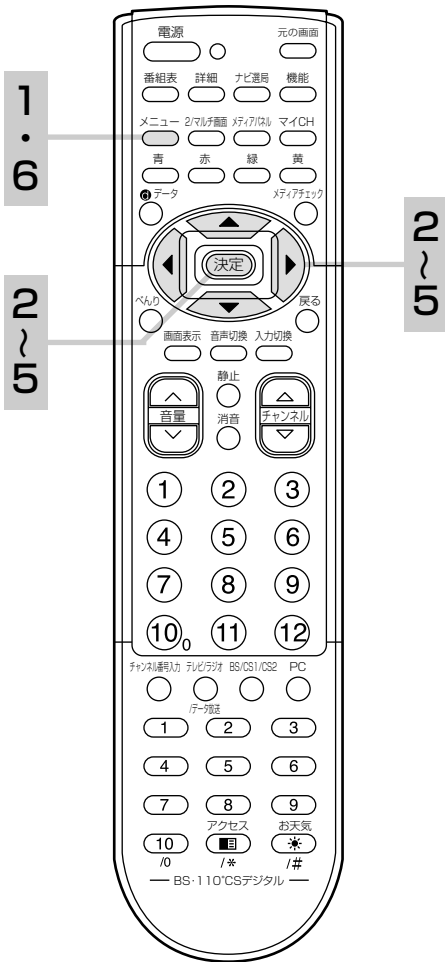
6 で「▶」を選び、決定ボタンを押す

録画した番組が再生されます。

7 メニューボタンを2回押す

終了します。

D-VHSビデオを登録する

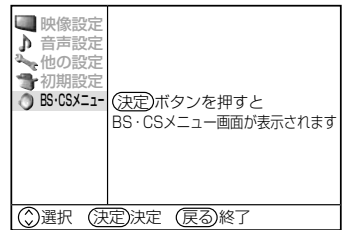
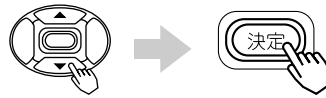
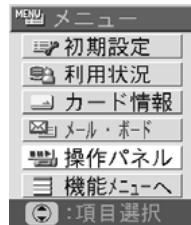
i.LINK対応D-VHSビデオを操作したり、録画予約を行うには操作パネルに登録されている必要があります。登録できるi.LINK対応D-VHSビデオは3台です。

お知らせ

●メーカー名や機種名が表示されないときや正しく接続できないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続した機器によってはメーカー名や機種名を表示できないときがあります。
●リンクしている機器は登録解除できません。
●前に接続したことがあり、現在、接続していない機器は背景が暗く表示されます。
●D-VHSビデオ以外の機器は表示されません。
●機器設定に表示されるD-VHSビデオは7台までです。

1 メニューボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 でBS・CSメニューを選び、決定ボタンを押す

BS・CSメニュー画面が表示されます。

3 で「操作パネル」を選び、決定ボタンを押す

操作パネル画面が表示されます。

4 で「機器設定」を選び、決定ボタンを押す

機器設定画面が表示されます。

5 で登録する機器を選び、決定ボタンを押す

操作パネルに登録されます。

●操作パネルに登録されている機器には①～③が表示されます。
●リンク中の機器には、iが表示されます。
●登録されている機器を選び、決定ボタンを押すと、登録が解除され数字が消えます。
●3台登録されているときは、4台目は登録できません。登録されている機器を、解除すれば登録できます。

6 メニューボタンを2回押す

設定を終了します。